

NEO NEO PLUS MiniNeo

NEO / NEO plus / miniNEO

取扱説明書

安全にご使用いただくために



- *ご使用前に、本書を最後までよくお読みください。
- *お子様が使用される場合は、保護者の方が本書をよくお読みになり、万全なご指導をお願いします。
- *日頃の点検を怠ると、思わぬ事故や車いすの破損のおそれがあります。

はじめに

この度は、オーエックス製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

この取扱説明書には、お買い上げいただいた製品が十分にその性能・機能を発揮できるように、また、安全にご使用いただけるように、正しい取扱い方法や点検・整備などについて必要な事柄を記載してあります。車いすの取扱いを十分ご存じの方も、この製品独自の装備・取扱いがありますので、必ずご使用前に本書をよくお読みになっていただき、正しく、安全で、快適にご使用ください。また、お子様が使用される場合は、保護者の方と一緒に本書をお読みいただき、保護者の方の万全なご指導をお願いします。なお、本書は紛失しないように大切に保管してください。

* 本書を紛失してしまった場合は再発行(有料)いたしますので販売店、または下記までご連絡ください。

* お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に保管してください。

* 落丁・乱丁がありましたらお取替えいたしますので、下記までご連絡ください。

株式会社 オーエックスエンジニアリング 営業部 お客様ご相談窓口
〒265-0043 千葉県若葉区中田町2186-1
TEL043-228-0777/FAX043-228-3334

<シリアルナンバー表示位置>

アフターサービスについてのご相談に対しの確な判断・処置をするため、シリアルナンバーを正確にご連絡ください。なお、シリアルナンバーはメインフレーム右側及び保証書に貼られています。

あなたの車いすのシリアルナンバー



シリアルナンバーをご記入ください。

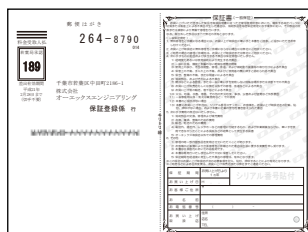
* 仕様変更や各機種共通仕様などにより図や内容が一部実物と異なる場合がありますのでご了承ください。

<付属品> ※：車いすの仕様により工具が付属します

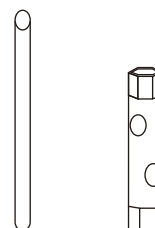
付属品は次の通りですのでご確認ください。



本書



保証書 / 延長保証登録ハガキ



※：付属工具

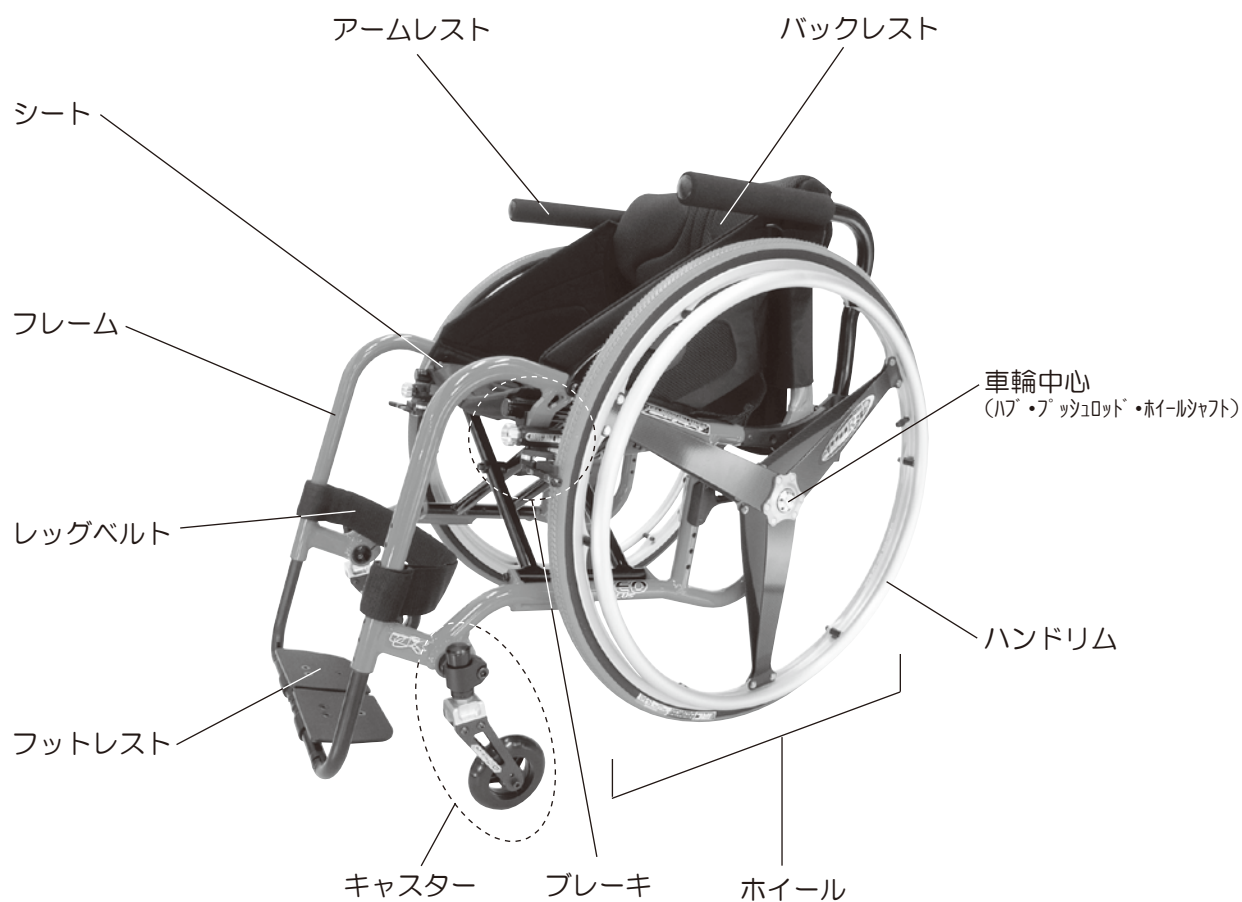
NEO plus アップグレード

miniNEO オプション

キャスターフォーク「SFR2」選択時

・ボックスレンチ (10-12mm) 1セット

<各部の名称>



○ はじめに	2
シリアルナンバー表示位置	2
付属品	3
各部の名称	3
○ もくじ	4
○ 安全上のご注意	5

1 章 総説

基本的な操作方法	12
お手入れについて	12
保管について	12
調整・点検について	12
調整可能な箇所	12

2 章 車いすに乗る前に

車いすの折りたたみ	
折りたたむ	14
開く	15
ホイールの着脱・点検	
ホイールの取外し	16
ホイールの取付け	16
ホイールの点検	16
ブレーキの種類・操作	
アジャスタブルブレーキ	17
ブレーキのかけ方	17
ブレーキの解除	17
ブレーキの調整・点検	
ダイヤルアジャストの調整	18
アウターノブの調整	18
ノブボルトアジャストの調整	18
ステア取付け位置の調節	19
ブレーキの点検	19
バックレスト角度の調整・点検	
バックレストの角度調節 (NEO plus/miniNEO)	20
バックレストの角度調節 (NEO)	22
バックレストの点検	22
乗車・安全な介助	
乗車姿勢	23
安全な介助のために	23
介助ブレーキの調整・点検・操作	
介助ブレーキのロック・解除方法	24
介助ブレーキの調整	24

3 章 各部の調整・点検

フットレストの調整・点検	
フットレストの種類	26
フットレスト長の調節 (スリット)	27
フットレスト長の調節 (ハイマウント)	28
ハイマウントフットレストの調節可能範囲	29
フットプレートの角度調整	30
セパレートフットレストの角度修正	31
プレートセパレートフットレスト (ター) の操作	
開く	32
戻す	32
フットレストの点検	32

バックレスト及びレザー類の調整・点検

アウターレザーの着脱 (NEO/miniNEOホーザ)	33
アウターレザーの取外し (NEO plus/miniNEO)	33
アウターレザーの取付け (NEO plus/miniNEO)	33
ランバーパッドの交換 (NEO plus/miniNEO)	33
ヒップレザーの取外し	34
ヒップレザーの取付け	34
サイドレザーの取外し	35
サイドレザーの取付け	35
インナーレザーの調整	36
インナーレザーの取外し	37
インナーレザーの取付け	37
バックレスト高の調整	38
シートレザーの張り調整	39
レザーの点検	39

車軸位置の調整・点検

前後調節穴の変更	40
後座高の調節 (アスラックの上下移動)	41
トーン法の修正 (miniNEOキャンバー付きのみ)	42
ホイール取付け間隔の調整 (miniNEOキャンバー付きのみ)	42
ホイール取付け間隔の調整	43

キャスター (前座高) の調整・点検

前座高の調節	44
キャスター角の調整	45
トレッドの調整	45
ハイトの調整	46
キャンバー角の調整	46
キャスターの点検	46

アームレストの調整・点検

固定式の調節	47
着脱式の調節	47
アームレストの点検	47

miniNEOの調整

車軸位置変更時のサイドガードの調整	48
ブッシュハンドルの調整	49

その他の調整・点検

SFR2の調整	50
SFR2の調整範囲	50
ゴムダンパーについて	50
レッグベルトの着脱	51
「LPC4」キャスターホイールのゴム交換	51
タイヤの点検	52
ホイール回りの点検	52
その他の点検	52

日常・定期点検

日常点検	53
定期点検	53

4 章 その他

仕様諸元

NEO	55
NEO plus	56
miniNEO キッズ	57
miniNEO ジュニア	58

お客様ご相談窓口のご案内

お客様ご相談窓口	59
アフターサービスの実施	59
パンクでお急ぎの場合には	59

安全上のご注意

<絵表示について>

この取扱説明書では、この製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぐために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は、次のとおりです。内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を指しています。



この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が損傷を負う可能性が想定される内容及び物的損害のみの発生が想定される内容を指しています。



この表示は、増し締め箇所を示しています。
定期的に、緩みがないか点検・増し締めをして下さい。



この表示は、注油箇所を示しています。
定期的(1か月に1度が目安)に、注油をして下さい。



この表示の示す箇所には、絶対に潤滑油などの油分は塗布してはいけません。
万が一、油分などが付着した場合は、十分に脱脂してください。



自操用車いす以外の目的に使用しない。

事故や転倒などのおそれがあります。また、車いすを損傷させるおそれがあります。
この製品は、自操・平坦地専用です。補助動力装置などを取付けると保証の適用は除外されますので取付けしないでください。

壊れたままや異常がある時は使用しない。

事故や転倒などのおそれがあります。
故障や異常を見つけたら、車いすの使用をやめ販売店にご相談ください。

改造・分解しない。

改造すると安全性が低下して、部品が破損したり、外れたり、車いすを損傷させたりし、事故や転倒などのおそれがあります。
改造・分解は行わず、整備が必要な時は販売店にご相談ください。

調整作業に不安がある時は調整しない。

部品が破損したり、外れたり、車いすを損傷させて、事故や転倒などのおそれがあります。
不安な時は販売店にご相談ください。

不十分な調整状態で使用しない。

身体に無理をかけたり、褥瘡^{じよくそう}などになるおそれがあります。
身体の状態に合わせて、正しい乗車姿勢が保て、麻痺部位と車いすの固い部分（フレームなど）が接触しないように調整します。

ホイールの装着後、固定を確認せずに使用しない。(P.16)

ホイールが外れて転倒などのおそれがあります。
必ず乗る前に点検してください。

乗車中はプッシュロッドには触れない。(P.16)

ホイールが外れて転倒などのおそれがあります。

車軸前後位置及び座面の高さは、身体の状態に合わせ無理をしない。(P.40～42)

転倒、転落のおそれがあります。

高温になる場所（炎天下の自動車内、暖房器具の近くなど）に置かない。

車いすが加熱され火災ややけどなどのおそれがあり、また、パンクなど部品を著しく傷めるおそれがあります。

車いすに巻き込まれやすい服装は避ける。

ホイールやキャスターなどに巻き込まれ、事故や転倒などのおそれがあります。

他の乗り物につかまりながらの移動はしない。

車いすを損傷させたり転倒・転落などのおそれがあります。

車いすを踏み台にしたり、車いすの上で立ち上がったりしない。

バランスを崩し転倒・転落のおそれがあります。



フットレストに乗ったり、立ったりしない。

転倒や転落などのおそれがあります。また車いすが損傷します。

掃除する時などに、タイヤやハンドリムにワックスなどの油分を付けない。

ワックスなどの油分が付くと、タイヤやハンドリムが滑り十分なスピード調整ができなくなり、事故や衝突・転倒などのおそれがあります。

ワックスなどの油分が付いた時には、十分脱脂してください。

雨などでハンドリムが水に濡れた時は、スピードを出さない。

ハンドリムが滑り、十分なスピード調整ができなくなり、事故や衝突・転倒などのおそれがあります。水分が付いた時には、乾いた布で十分拭き取ってください。

下り坂などではスピードを出さない。

衝突や転倒などの事故をおこしやすく危険です。

ハンドリムとの摩擦によるやけどに注意し、ハンドリムでスピード調整してください。

急坂などの自操は避ける。

事故や転倒のおそれがあります。

介助してもらいましょう。

ブレーキはスピード調整に使用しない。

タイヤがロックし、事故や転倒のおそれがあります。ブレーキは駐停車時専用です。

ハンドリムを使ってスピード調整してください。

悪路・荒地には入らない。

事故や転倒などのおそれがあります。また、車いすを損傷させるおそれがあります。この製品を山岳・荒地・砂地・河原・水中・泥地などのオフロードでは使用しないでください。

凹凸の激しいところ(踏切、歩道などの段差や溝)は自操を避ける。

キャストが挟まり車いすを損傷させ、事故や転倒などのおそれがあります。

段差の飛び降りなど、乱暴・無理な取扱いをしない。

車いすを損傷させ、事故や転倒などのおそれがあります。

ペットを連れて使用しない。

ペットに車いすごと引きずられ、事故や転倒のおそれがあります。

滑りやすいところは、自操を避ける。

降雪時、凍結路、工事用の鉄板やぬかるみ、軌道敷などはスリップしやすく事故や転倒などのおそれがあります。

介助してもらいましょう。

傘をさして使用しない。

レインコート・帽子などを使用してください。また、ハンドリムが濡れて滑りますので十分注意してください。



ブレーキをかけたまま走行しない。

ブレーキを損傷させ、事故や転落のおそれがあります。
ブレーキを解除してから走行しましょう。

未使用時の車いすに乳幼児を近づけない。

車いすを倒して下敷きになったり、けがのおそれがあります。

運動機能が低下するもの（アルコールや風邪薬など）を摂取した時は自操しない。

事故や転倒・転落などのおそれがあります。

ウイリー（キャストアップ）は十分熟練するまで一人でやらない。

転倒のおそれがあります。

ハンドリム以外の回転部（タイヤ、スポークなど）に手を触れない。

手を巻き込まれるおそれがあります。

バックレストにバッグなどを取付ける場合、中身を入れすぎない。

後方へ転倒のおそれがあります。

エスカレーターは使用しない。

事故や転倒・転落のおそれがあります。

点検・整備をする。

点検・整備を怠ると、故障や事故などのおそれがあります。
日常の点検・整備、及び1か月に1回、各部の点検・整備をしてください。

車いすをこぎだす時、また走行中は周囲に気を付ける。

子供などが車いすの回転部・可動部に手などをはさまれるおそれがあります。

身体の状態に適したクッションを使用して車いすに着座する。

褥瘡^{じよくそう}になるおそれがあります。

自動車の座席として使用しない。

車いすに移乗したまま、自動車の座席として車いすを固定して使用すると、車いすが破損し事故のおそれがあります。
自動車の座席、またはそれに耐えられる車いすに乗り換えてください。

夜間走行は避ける。

事故に遭うおそれがあります。
明るい道の利用、視認性の高い服装・機器などで自衛しましょう。

移乗時・停車時・未使用時はブレーキをかける。

車いすが動き出して落下・転落・転倒などのおそれがあります。
少しの間の停車、駐車でも必ずブレーキをかけてください。

道路交通法上車いすは歩行者です。歩道を通りましょう。



素足で使用しない。

けがのおそれがあります。

靴下をはき、底のある履き物をはいて使用してください。

タイヤをにぎって走行しない。

タイヤとサイドレザー、ブレーキ、アームレストの間に、指をはさむおそれがあります。

ハンドリムを使って走行してください。

屋外に放置しない。

気象変化や気温変化により、車いすが著しく劣化します。

必ず屋内に保管してください。

シートパイプをにぎって車いすを開かない。(P.15)

フレームとシートパイプの間に指をはさめます。

サイドレザーと回転部(タイヤ、スポークなど)を接触させない。

サイドレザーが破損します。

クッションの種類、サイズによっては、サイドレザーと回転部が接触するおそれがありますので接触しないものを使用してください。

貴重品は車いすのポケットに入れない。

紛失・盗難のおそれがあります。

面ファスナーは、確実に貼付ける。

固定力が低下して、調整状態が変わります。

面ファスナーに付着したほこり・砂・糸くずなどは取除く。

固定力が低下して、調整状態が変わります。

<安全に介助されるために>



走行時に回転部・可動部には触れさせない。

介助者がホイールなどに巻き込まれるおそれがあります。

アームレストが確実にボルト固定状態であることを確認する。

介助時にアームレストを持ち、アームレストが抜けて転倒・転落のおそれがあります。

固定状態の確認後、介助を受けてください。

また、着脱式アームレストの場合は、アームレストを持って介助しないでください。

持つ位置を指定する。(P.23)

転倒・転落のおそれがあります。また、介助者がけがをするおそれがあります。

介助者がメインホイールの装着を行ったときは、必ずプッシュロッドが完全に戻っていることを自ら確認する。

ホイールが外れ事故や転倒のおそれがあります。

この取扱説明書を読んでいない方がホイールの着脱や車いすの開閉などの介助をする場合は、あなたがその都度、説明してください。

1章 総説

この章では、基本的な操作方法とお手入れや保管方法及び調整・点検について説明しています。

基本的な操作方法

お手入れについて

保管について

調整・点検について

調整可能な箇所



基本的な操作方法

- 車いすのシート部にクッションを敷き、クッションに着座してください。
- 足はフットレストに乗せてください。
- 走行する時は、ハンドリムを手動で回転させて走行します。
- 停止する時は、ハンドリムの回転を手で止めて停止します。
- 駐停車時、移乗する時は、必ずブレーキをかけてください。

お手入れについて

- こまめに清掃することをお勧めします。
こまめに清掃することにより、車いすの異常を早期に発見することにもつながります。
- ※有機溶剤を含んだ油污れ取りは使用しないでください。
塗装面がはがれるおそれがあります。

保管について

- 必ず屋内で保管してください。
- 長期間ご使用にならない場合は、タイヤを接地させないようにして、タイヤの空気を抜いて保管してください。
- 再びご使用の際は点検・整備をしてください。

調整・点検について

- この車いすは、各所に調整機構がありますのであなたの状態に合わせて各所の調整を行ってください。
- 調整作業上、ホイールを外した方が作業しやすい場合がありますので、作業に合わせてホイールの着脱を行ってください。
- 最適な姿勢で使用できるように各部の調整を行って下さい。
- 調整作業に不安がある場合は、ご自分では調整しないで、販売店に依頼してください。
- 日常の点検・整備を行ってください。
- 1か月に1回を目安にして、定期点検を行ってください。

調整可能な箇所

- この車いすは、次の箇所に調整機構があります。
- ☐ ブレーキ：効き具合・前後位置
- ☐ バックレスト：高さ・角度・張り(バックレザー)
- ☐ フットレスト：長さ・角度(フットプレート)
- ☐ アームレスト：高さ
- ☐ 車軸：ホイール取付け間隔・後座高・車軸前後位置
- ☐ キャスター：前座高・トレッド

2章

車いすに乗る前に

この章では、この車いすの基本的な機能について説明しています。ご使用になる前に次の各説明を必ずお読みください。

車いすの折りたたみ

ホイールの着脱・点検

ブレーキの種類・操作

ブレーキの調整・点検

バックレスト角度の調整・点検

乗車・安全な介助

介助ブレーキの調整・点検・操作

車いすの折りたたみ
(P.14～15)



バックレスト角度の
調整・点検(P.20～22)

ブレーキの
種類・操作・調整・点検
(P.17～19)

ホイールの着脱・点検
(P.16)

車いすの折りたたみ

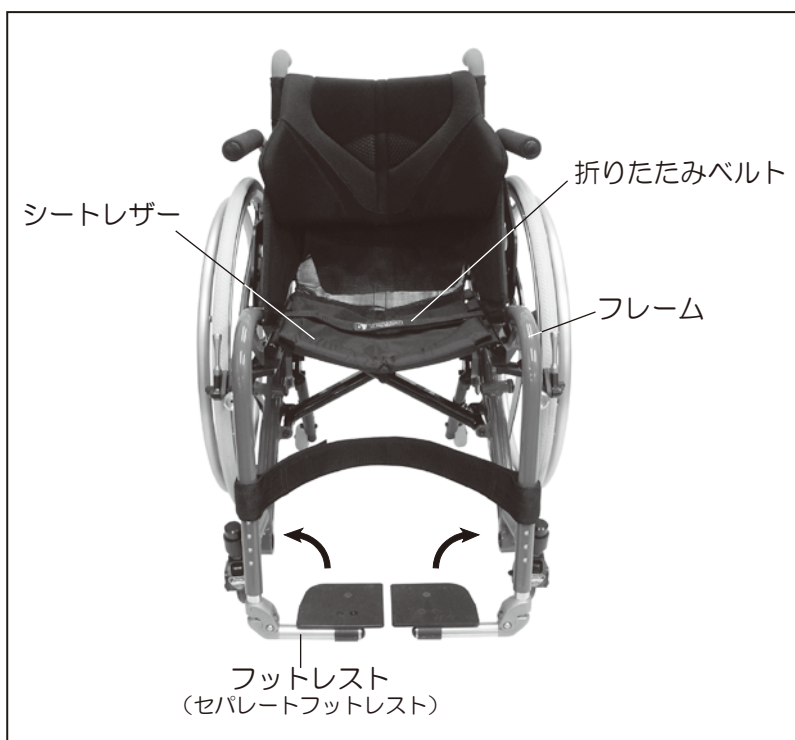
＜折りたたむ＞【図1-1】【図1-2】【図1-3】【図1-4】

- 1) セパレートフットレストの場合は、左右のフットレストを折り上げる。【図1-2】
- 2) 折りたたみベルト中央部を、上に引き上げる。【図1-3】
- 3) シートパイプ先端部の左右を合わせて折りたたむ。【図1-4】

⚠注意

折りたたみベルトで車いすを持ち上げない。

* 車いすの重さで折りたたみベルトが外れ、事故のおそれがあります。



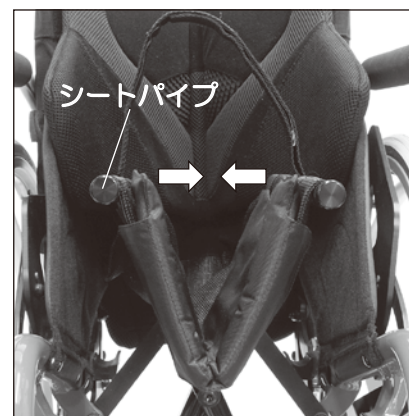
【図1-1】



【図1-2】



【図1-3】



【図1-4】

車いすの折りたたみ

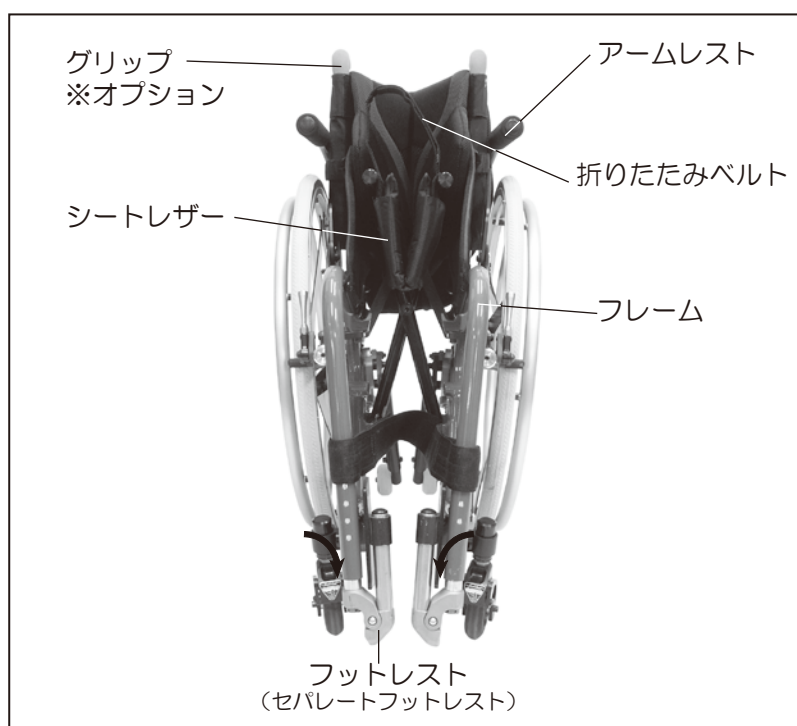
＜開く＞【図1-5】【図1-6】【図1-7】

- 1) フレームを持って少し開く。
- 2) 片手でアームレストまたはグリップ（バックレスト）を押さえながら、手をはさまないように注意して、もう一方の手でシートパイプを押し広げる。
- 3) シートパイプが「受け」に確実にハマるまで広げる。【図1-6】
- 4) セパレートフットレストの場合は、左右のフットレストを下げる。【図1-7】

⚠注意

シートパイプをにぎって車いすを開かない。

*シートパイプとフレームの間に手や指をはさみ、ケガをするおそれがあります。



【図1-5】



【図1-6】



【図1-7】

ホイールの着脱・点検

＜ホイールの取外し＞【図1-8】

- 1) ブレーキを「解除」する。(P.17)
- 2) ホイール中心部のプッシュロッドを押しながら、ホイールを手前に引く。

＜ホイールの取付け＞【図1-8】

- 1) ブレーキを「解除」の状態にする。(P.17)
- 2) ホイール中心部のプッシュロッドを押しながら、ホイールシャフトを軸穴に差込む。
- 3) 確実に軸穴に差込まれ、プッシュロッドが【図1-8】の「○」の状態であることを確認する。

＜ホイールの点検＞【図1-8】

- 装着時にプッシュロッドが戻らないなどの異常が無いかを確認する。
 - * 異常があれば使用を止めて販売店にご相談ください。
- タイヤの減り具合、空気圧を見る。
 - * タイヤから布地が少しでも見えたら交換してください。
 - * タイヤの空気圧はP.52を参照してください。

- 固定ホイールは定期的(1か月に1回程度)に増し締めする。

⚠警告

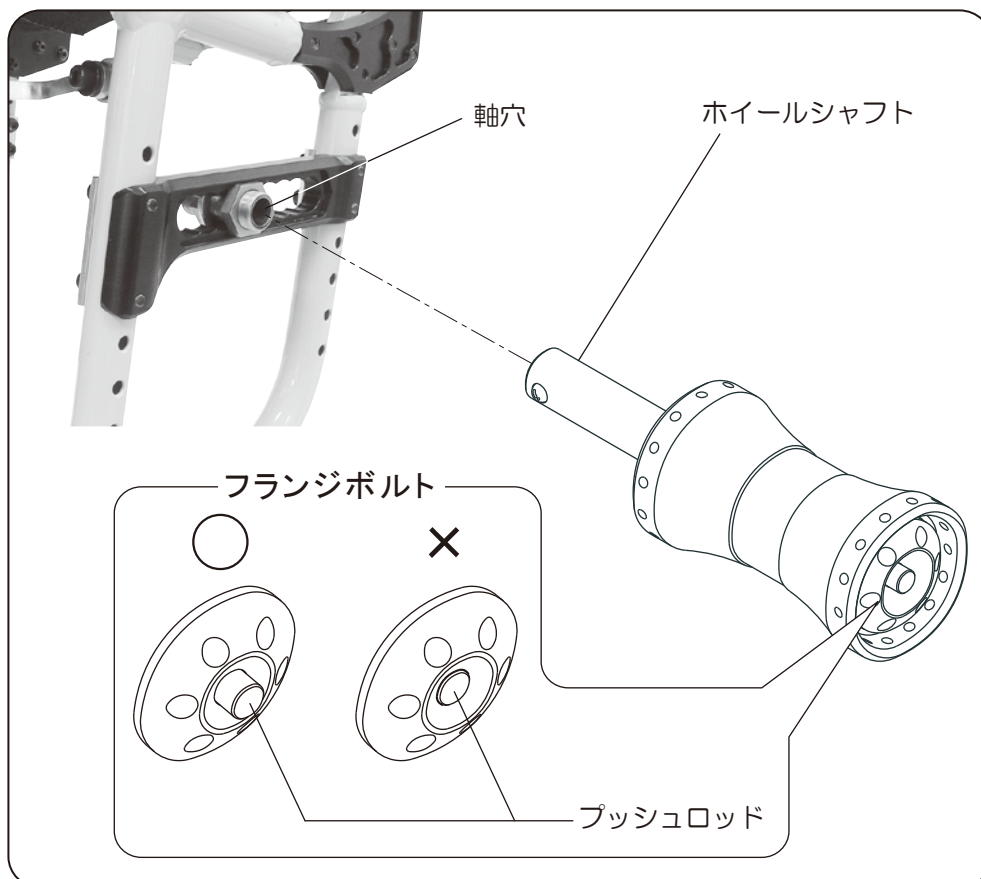
乗車中はプッシュロッドに触れない。
* 乗車中にホイールが外れ事故や転倒などのおそれがあります。

⚠警告

フランジボルトの中心からプッシュロッドが十分突き出していることを確認する。
* 確実に固定されていないとホイールが外れ事故や転倒などのおそれがあります。
* プッシュロッドが戻らないなどの異常がある場合は、車いすの使用を止めて販売店にご相談ください。

⚠警告

ホイールシャフトや軸穴は精密加工されているので、傷を付けない。
* 傷が付くとホイールシャフトが入らなかったり、入りにくくなったりして危険です。
* ホイールシャフトが入らなかったり、入りにくなるなどの異常がある場合は、車いすの使用を止めて販売店にご相談ください。



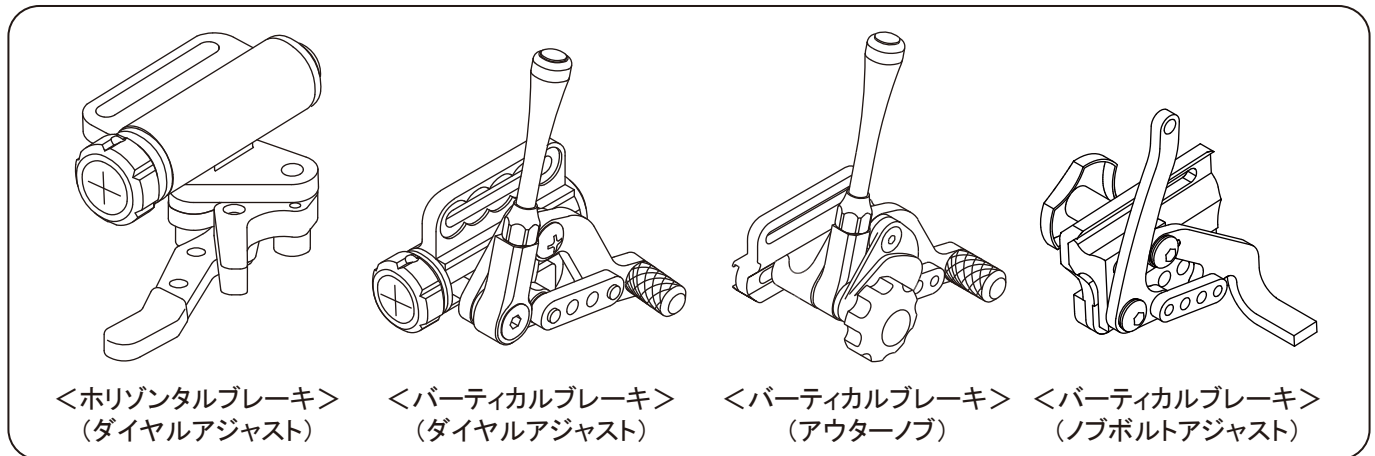
【図1-8】

ブレーキの種類・操作

ブレーキの種類には次の4つがありますので、ご自分の車いすに装着されているブレーキをご確認の上、「ブレーキの操作」「ブレーキの調整・点検」をお読みください。

＜アジャスタブルブレーキ＞【図1-9】

ダイヤル操作によるブレーキ位置の微調整が可能で、次のものがあります。



【図1-9】

＜ブレーキのかけ方＞【図1-10】

- 1) 左右のブレーキレバーを後方（タイヤ側）にロックするまで引く。
 - 2) 車いすが動かないことを確認する。
- ※ブレーキをかけた状態で車いすが動く場合やブレーキが固くてかけられない場合は、「ブレーキの調整・点検」(P.18～19)を行ってください。

⚠警告

ブレーキをかけた状態で、車いすが動かないことを確認する。

＊転倒・転落のおそれがあります。

＊「ブレーキの調整・点検」(P.18～19)をこまめに行いブレーキの効き具合を最適に保ってください。

＜ブレーキの解除＞【図1-10】

- 1) 左右のブレーキレバーを前方（進行方向）に押す。
- 2) ブレーキが完全に解除されたことを確認する

⚠警告

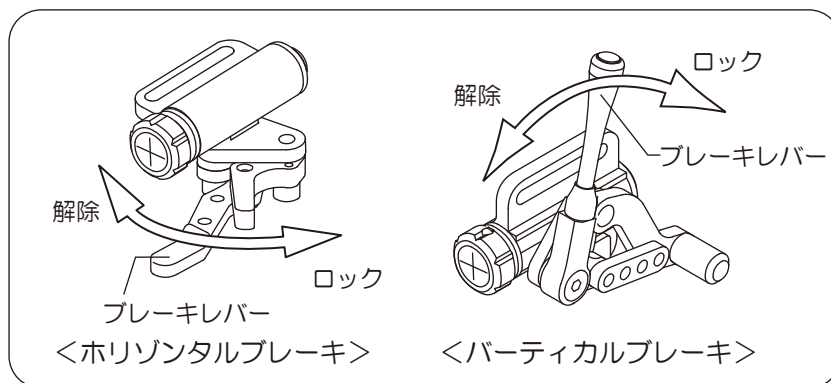
ブレーキはスピード調整に使用しない。

＊タイヤがロックし、事故や転倒のおそれがあります。ブレーキは駐停車時専用です。

⚠注意

ブレーキの解除をする時はブレーキレバーを最後まで戻す。

＊タイヤとブレーキの隙間に指をはさむおそれがあります。



【図1-10】

ブレーキの調整・点検

「水平ブレーキ」「垂直ブレーキ」のどちらもタイヤの空気圧が適正な状態 (P.49) で、ブレーキをかけた時のタイヤの凹み「A」【図1-11】が3～5mmになるように調整してください。

警告

ブレーキの効きは必要以上に強くしない。
*ブレーキが破損し事故や転倒・転落のおそれがあります。

警告

注油は、ブレーキとタイヤの接触する箇所には行わない。
*ブレーキが効かず転倒・転落のおそれがあります。油分が付着してしまったときは、十分に脱脂してください。

警告

アウターノブ・ノブボルト調整後は「ノブ」が締まっているか確認してから使用する。
*「ノブ」がしっかりと締まっていない状態で使用しますとブレーキが前後にスライドし非常に危険です。

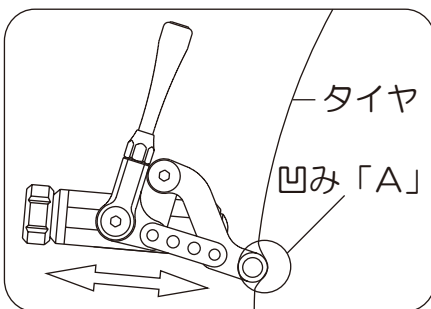
＜ダイヤルアジャストの調整＞【図1-11】【図1-12】

- 1) ブレーキを解除する。(P.17)
- 2) ダイヤルを回して調整する。
 - a の方向(反時計回り)
タイヤの凹みを増やし、ブレーキの効きを強くする。
 - b の方向(時計回り)
タイヤの凹みを減らし、ブレーキの効きを弱くする。
- 3) 左右同様に調整する。

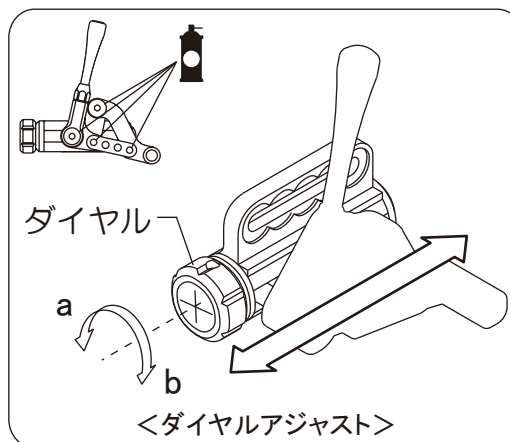
＜アウターノブ・ノブボルトアジャストの調整＞

【図1-11】【図1-13】【図1-14】

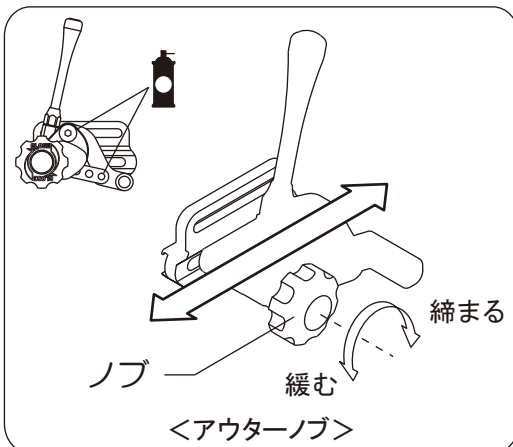
- 1) ブレーキを解除する。(P.17)
- 2) ノブを回して緩める。
- 3) 最適な位置にスライドさせる。
- 4) ノブを回して締める。
- 5) 左右同様に調整する。



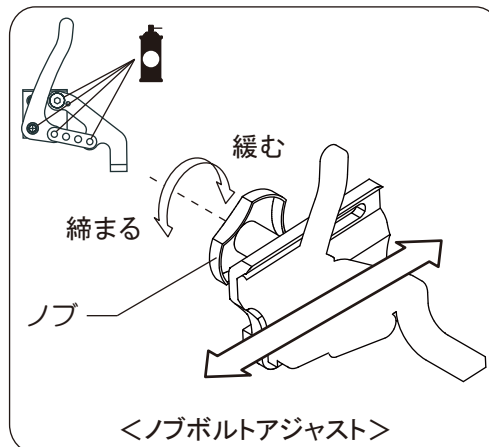
【図1-11】



【図1-12】



【図1-13】



【図1-14】

ブレーキの調整・点検

＜ステー取付け位置の調節＞【図1-15】

車軸前後位置の調整やホイールサイズの変更を行うと、ダイヤルやノブによる微調整では調整しきれない場合があります。このような場合にはブレーキ本体もしくはブレーキステーの取付け位置を移動して調節を行ってください。

※下図は一例です。ご自分の車両に装着されているブレーキの部品構成をよく確認した上で調節してください。

警告

ボルトを締めるときにワッシャーが確実に加工溝に収まっていることを確認する。

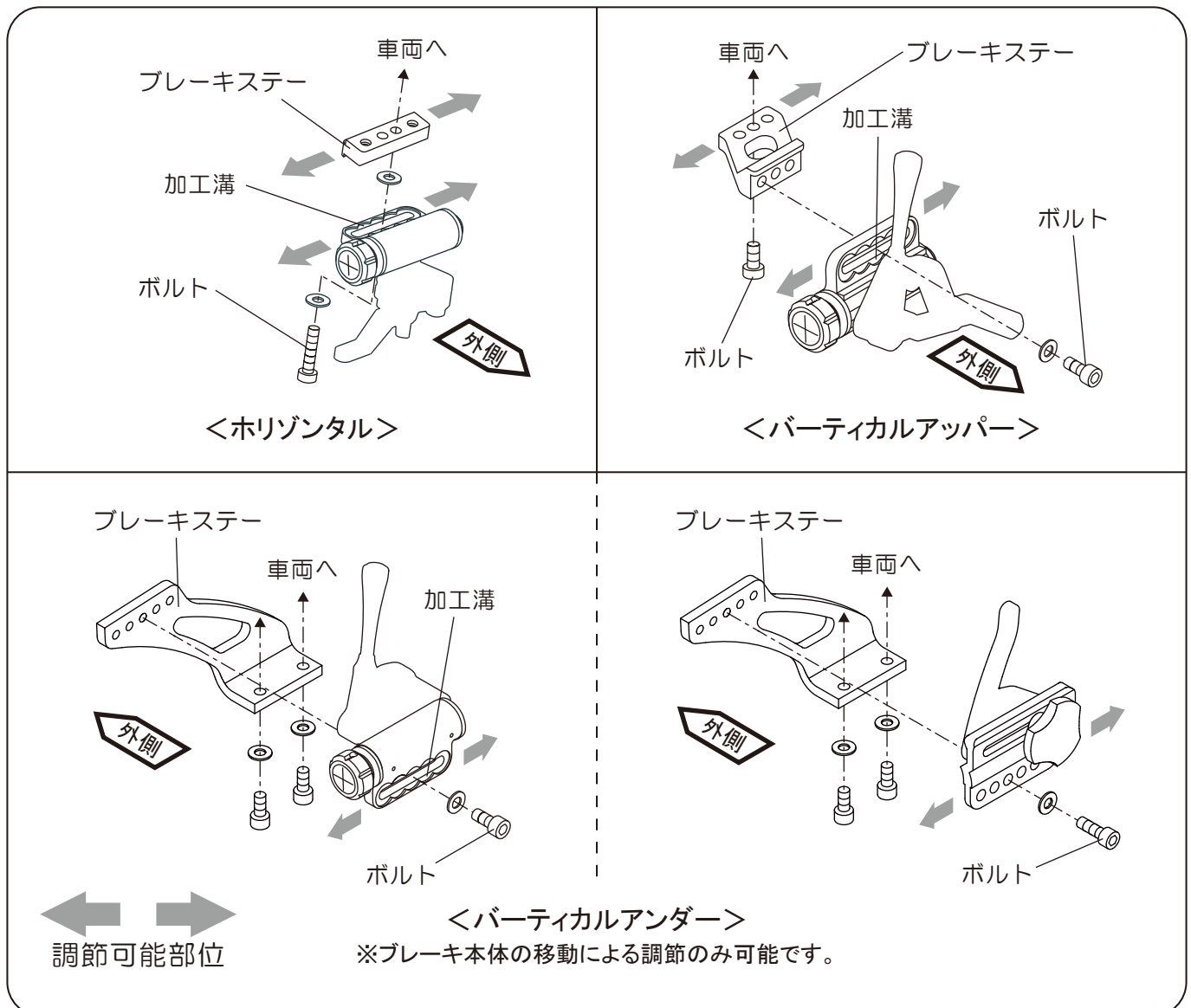
*ブレーキが外れ事故や衝突、転倒・転落のおそれがあります。

*ブレーキにガタつきや異常な動きなどを見つけたら増し締めを行ってください。増し締めを行っても異常があるときは、車いすの使用を止め、販売店にご相談ください。

＜ブレーキの点検＞

毎日乗車前にブレーキの効き、ボルト・ナット類の緩み、脱落がないか点検してください。

ボルト締付けトルク 10N・m(1.0kgf・m)



【図1-15】

バックレスト 角度の調整・点検

＜バックレストの角度調節（NEO plus/miniNEO）＞

【組合せ表1】 【図1-16】

「調節可能範囲」は次の通りです。（機種により異なります）

オフセット（シート奥行調節バックレスト） 0の場合：70° ～106° （4° ピッチ）

オフセット（シート奥行調節バックレスト） -20の場合：78° ～114° （4° ピッチ）

オフセット（シート奥行調節バックレスト） -40の場合：86° ～126° （4° ピッチ）

※角度調節の際、オフセット寸法（シート奥行調節バックレスト寸法）や設定する角度によって使用する穴の組合せが異なります。

次の【組合せ表1】を参照し、最適な角度になる固定穴と調節穴の組合せを選択し、下記の方法で調節してください。

オフセット 0の場合			オフセット -20の場合			オフセット -40の場合		
角度	固定穴	調節穴	角度	固定穴	調節穴	角度	固定穴	調節穴
70°	= A	+ 3	78°	= A	+ 3	86°	= A	+ 3
74°	= B	+ 5	82°	= B	+ 5	90°	= B	+ 5
78°	= A	+ 2	86°	= A	+ 2	94°	= A	+ 2
82°	= B	+ 4	90°	= B	+ 4	98°	= B	+ 4
86°	= A	+ 1	94°	= A	+ 1	102°	= A	+ 1
90°	= B	+ 3	98°	= B	+ 3	106°	= B	+ 3
94°	= C	+ 5	102°	= C	+ 5	110°	= C	+ 5
98°	= B	+ 2	106°	= B	+ 2	114°	= B	+ 2
102°	= C	+ 4	110°	= C	+ 4	122°	= C	+ 4
106°	= B	+ 1	114°	= B	+ 1	126°	= B	+ 1

【組合せ表1】

- 1) アウターレザーを取外す。(P.33)
- 2) サイドレザー後部の面ファスナーとベルトをはがす。(P.35)
- 3) ②ボルトを2～3回転緩める。
- 4) ①ボルトを取外す。
※①ボルトの位置は、ご選択されたバックレスト角度により異なります。
- 5) 【組合せ表1】を参照しながら、最適な角度になる固定穴と調節穴の組合せを選択する。
※調節時、固くて動かしづらい場合は、無理に動かさず、③④ボルトも緩めてください。
- 6) 5) で選択した固定穴と調節穴に①ボルトを取付ける。
※③④ボルトも緩めた場合は、③④ボルトを締める。
- 7) ②ボルトを締める。
- 8) 反対側も同様に調節する。
- 9) サイドレザー後部及びベルトを最適な張りになるように貼付ける。(P.35)
- 10) アウターレザーを取付ける。(P.33)

⚠警告

「調節可能範囲」を越えた調節をしない。
* 後方への転倒・転落、車いすの破損のおそれがあります。
必ず調節可能範囲内で調節を行ってください。

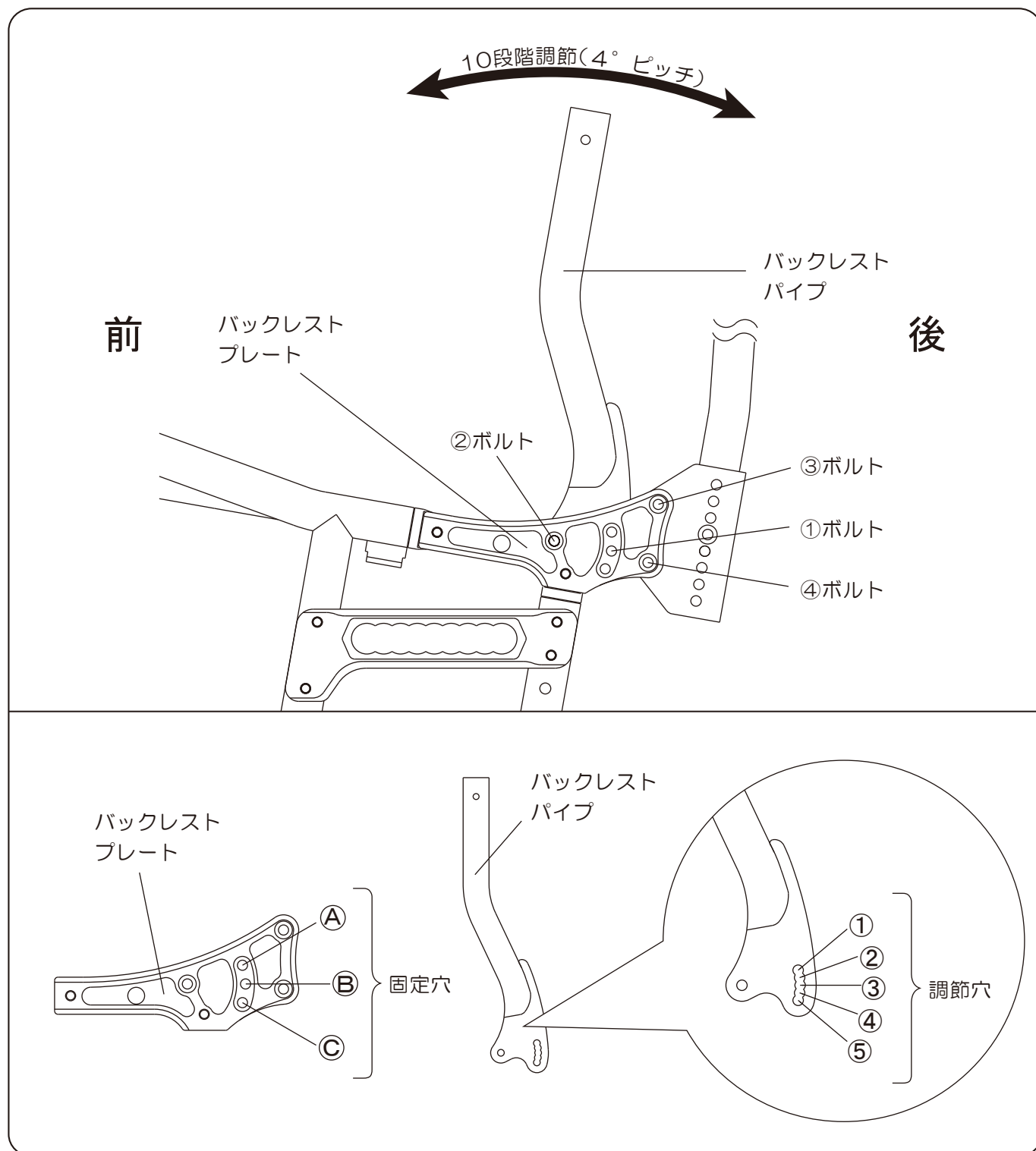
⚠注意

必ず左右のバックレスト角度は同じ角度にする。
* バックレストに負荷がかかり車いすが破損するおそれがあります。

⚠注意

サイドレザーは、たるまないように貼付ける。
* ホイールへの干渉や、巻き込みのおそれがあります。

①～④ボルト締付けトルク 12N・m(1.2kgf・m)



【図1-16】

バックレスト 角度の調整・点検

＜バックレストの角度調節（NEO）＞【図1-17】

- 1) アウターレザーを取外す。(P.33)
- 2) サイドレザー（サイドガード）後部の面ファスナーとベルトをはがす。
- 3) ②ボルトを2～3回転緩める。
- 4) ①ボルトを取外す。
- 5) バックレストを最適な角度に調節する。
※調節時、固くて動かしづらい場合は、無理に動かさず、③④ボルトも緩めてください。
- 6) ①ボルトを取付ける。
- ※③④ボルトも緩めた場合は、③④ボルトを締める。
- 7) ②ボルトを締める。
- 8) 反対側も同様に調節する。
- 9) サイドレザー（サイドガード）後部のベルトを最適な張りになるように貼付ける。
- 10) アウターレザーを取付ける。(P.33)

⚠注意

必ず左右のバックレスト角度は同じ角度にする。

* バックレストに負荷がかかり車いすが破損するおそれがあります。

⚠注意

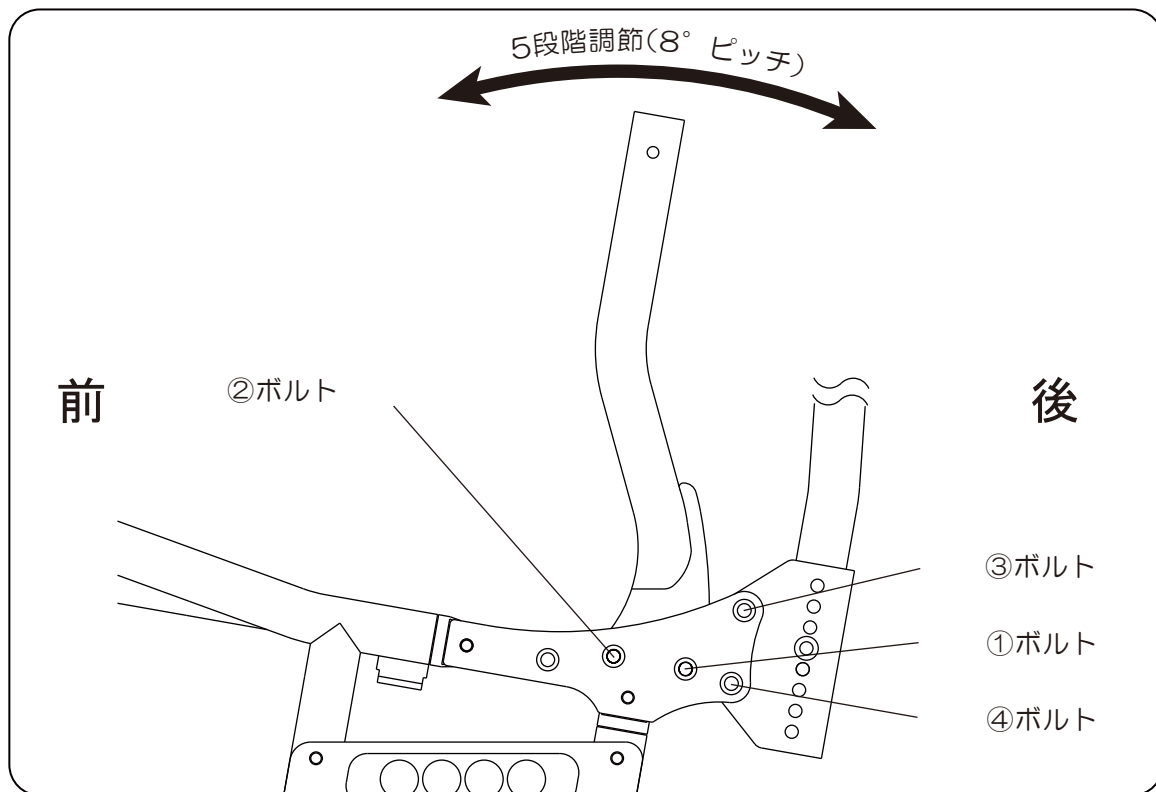
サイドレザーは、たるまないように貼付ける。

* ホイールへの干渉や、巻き込みのおそれがあります。

＜バックレストの点検＞

ボルト・ナット類の緩み、脱落、極端に大きなガタつきがないか点検してください。

①～④ボルト締付けトルク 12N・m(1.2kgf・m)



【図1-17】

乗車・安全な介助

＜乗車姿勢＞

車いすのシート部にクッションを敷き、着座してください。足はフットレストに乗せてください。

最適な姿勢で使用できるように、フットレストの調整、バックレストの調整を行ってください。3章各部の調整・点検参照。

＜安全な介助のために＞【図1-18】

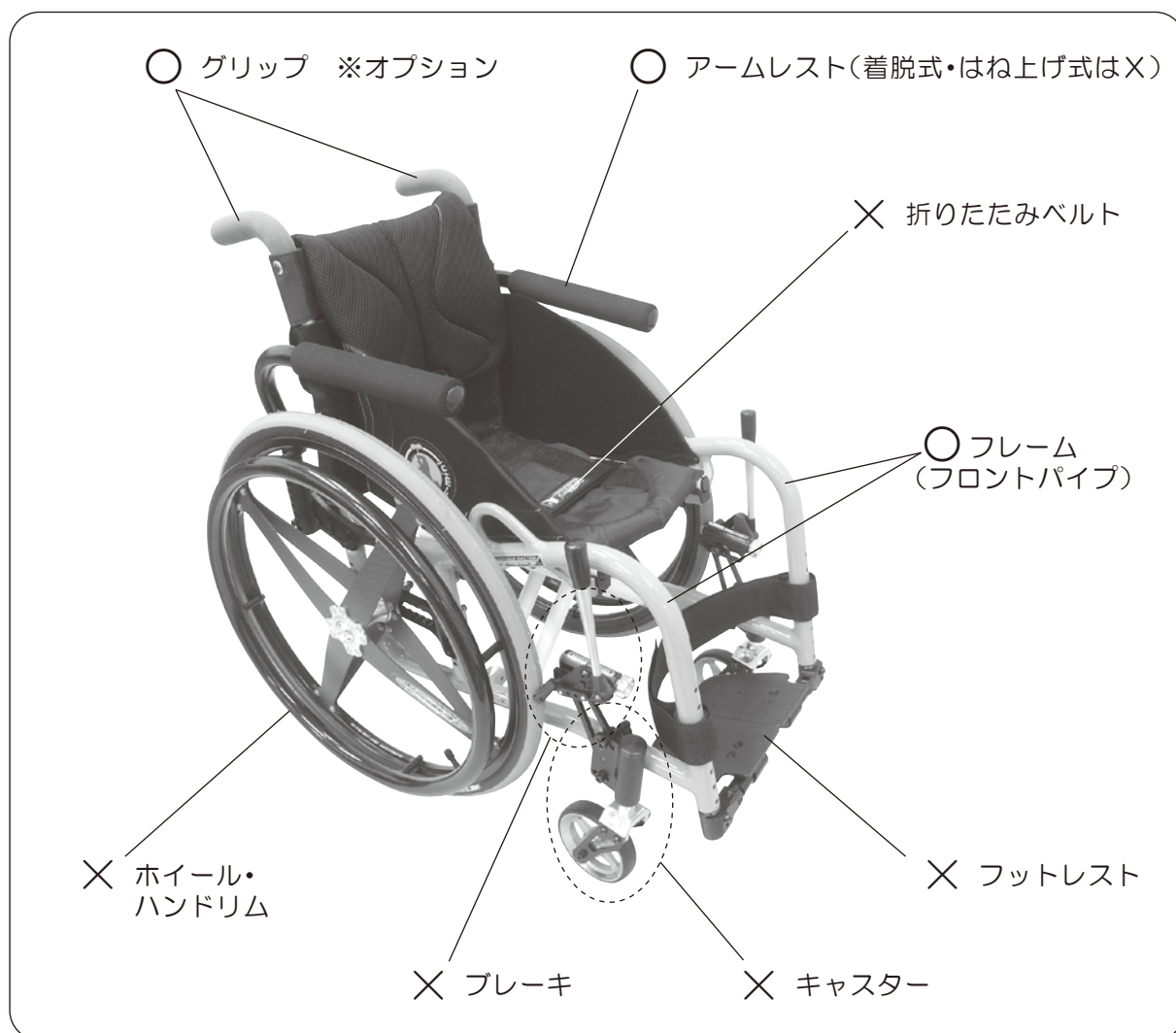
介助を受ける際には、車いすを持つ箇所を介助者に指示してください。
下図に示す×印の箇所は非常に危険です。

⚠警告

車いすを持ち上げるときは必ず○印の箇所を指定する。

* ○印以外の箇所を持つと部品が外れたり破損したりして落下・転落・転倒のおそれがあります。

* 車いすの介助に不慣れな方が、ホイールや着脱可能な状態のアームレストを持つことがあります。非常に危険ですので、あなたが安全な箇所を指定してください。



【図1-18】

介助ブレーキの操作・調整・点検

介助ブレーキは、グリップに装着されたレバーをにぎり操作することで、介助する方が容易に減速、停車を行えるようにするものです。車いすから離れる場合や車いすを止めておく場合は、必ず車いすのブレーキ(P.17)をかけてください。

⚠警告

車いすから離れる時は、必ず車いすのブレーキ(P.17)をかける。

* 介助ブレーキのロックは補助的なものです。ロックが外れ、事故のおそれがあります。

* 必ず平坦な場所でブレーキ(介助ブレーキではありません)をかけてください。

⚠注意

②ナットの締付けトルクには十分注意する。

* ③が破損します。

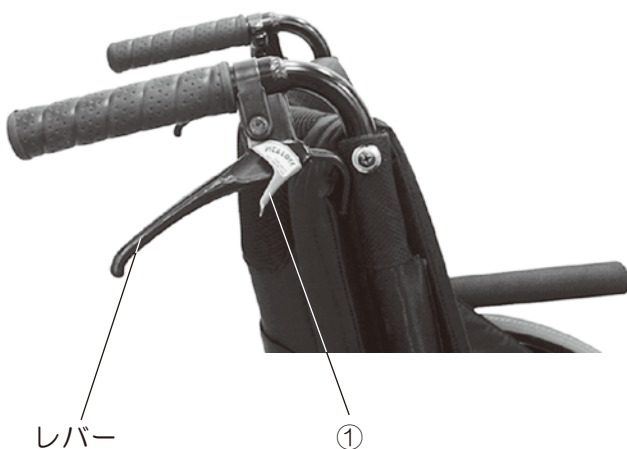
＜介助ブレーキのロック・解除方法＞【図1-19】

- 1) レバーをにぎる。
- 2) レバーをにぎりながら①をにぎる。
- 3) レバーをゆっくり放す。
- 4) レバーが戻らずに固定されていることを確認する。
- 5) 反対側も同様にする。
- 6) 再度レバーをにぎるとロックが解除します。

＜介助ブレーキの調整＞【図1-19】【図1-20】

- 1) 介助ブレーキのロックを解除する。
- 2) ②ナットを緩める。
- 3) ③を回してレバーの引きしろを調整する。
調整の目安：ブレーキレバーをにぎり介助ブレーキがロックでき、かつロックした状態で押してもホイールが回らない。
- 4) ②ナットを締める。
※注意：強く締めると③が破損します。目安としては、手で回らない程度。
- 5) 左右同様に調整する。

②ナット締付けトルク 2N・m(0.2kgf・m)



【図1-19】



【図1-20】

3章

各部の調整・点検

この章では、各部の調整・点検について説明しています。

フットレストの調整・点検

プレートセパレートフットレスト(ターン)の操作

バックレスト及びレザー類の調整・点検

車軸位置の調整・点検

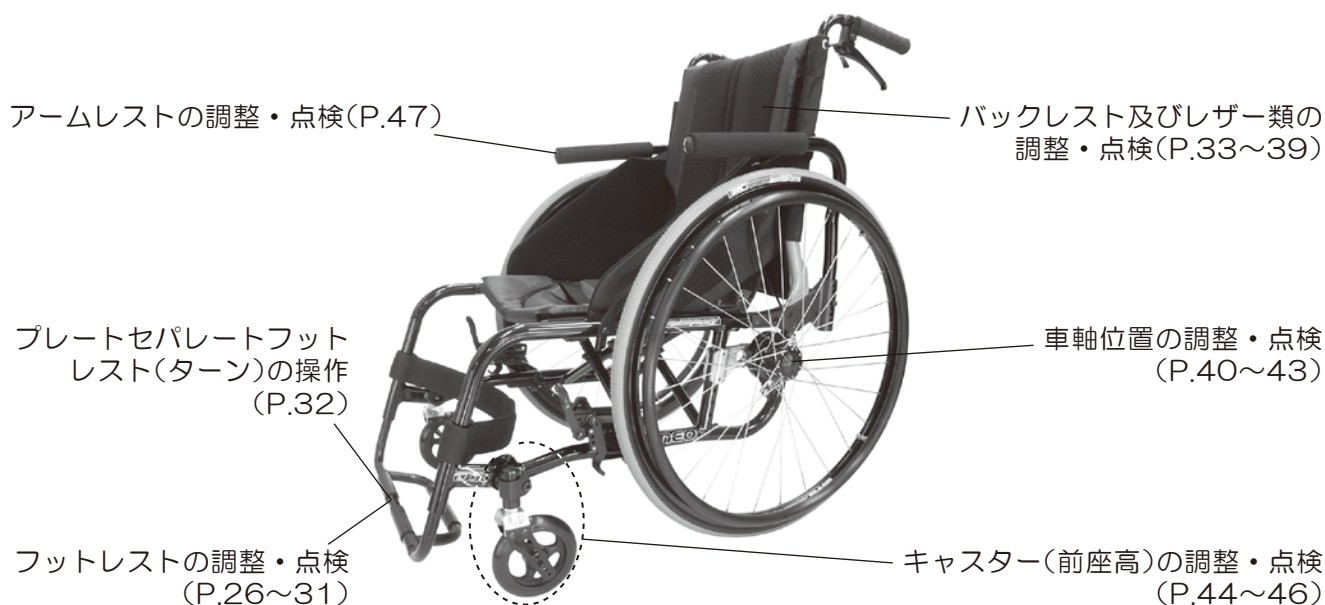
キャスター(前座高)の調整・点検

アームレストの調整・点検

miniNEOの調整

その他の調整・点検

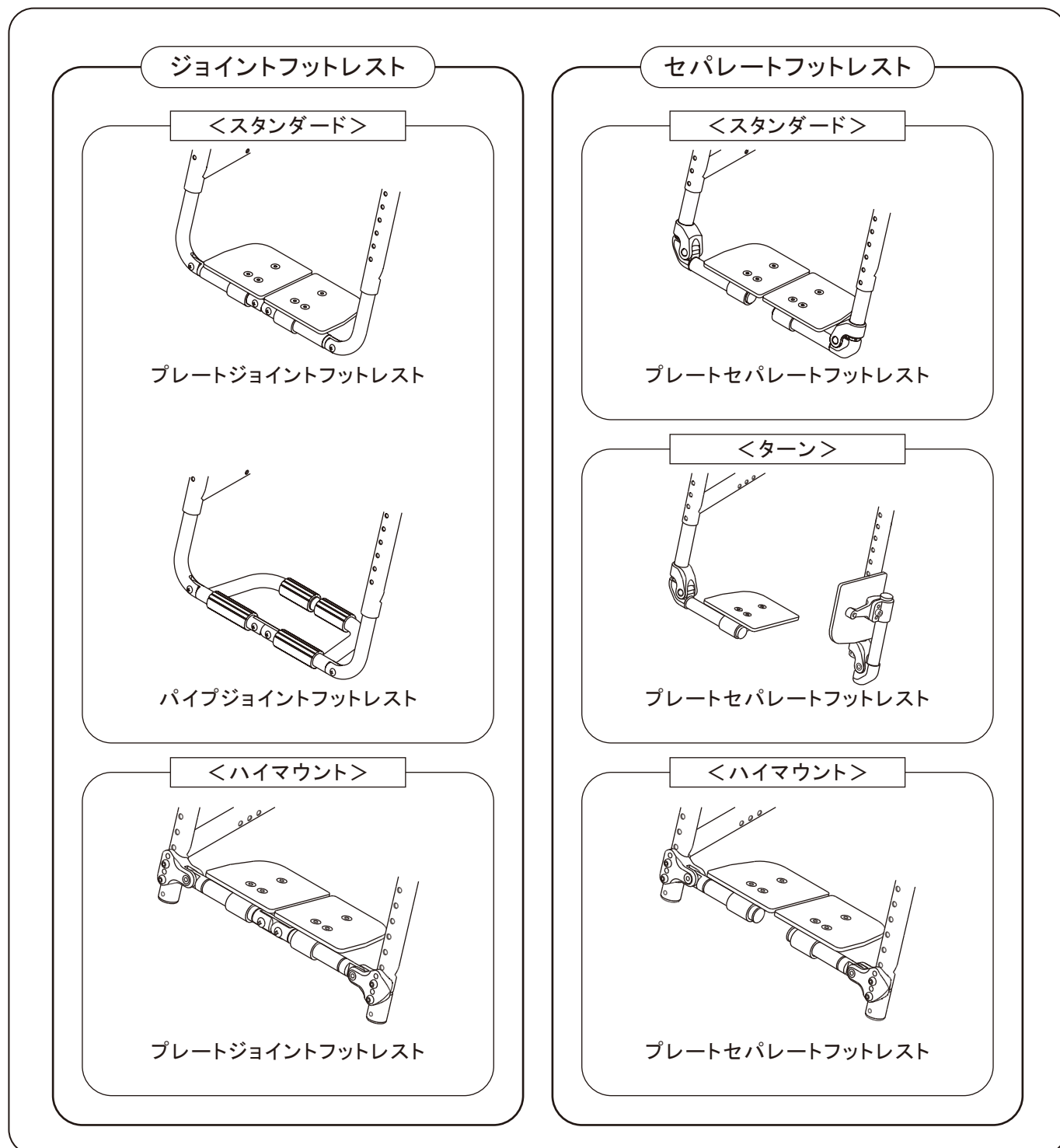
日常・定期点検



フットレストの調整・点検

＜フットレストの種類＞【図2-1】

フットレストにはいくつかのタイプがありますので、ご自分の車いすに装着されているフットレストをご確認の上「フットレストの調整・点検」をお読みください。



【図2-1】

フットレストの調整・点検

＜フットレスト長の調節（スタンダード）＞【図2-2】

車いすのシート部にクッションを敷き、着座して最適なフットレスト長に調節してください。

- 1) レッグベルトを外す。(P.51)
- 2) 左右の取付けネジ(ボルト)を外す。
- 3) フットレストロッドバーを上下にスライドさせ、最適な位置に合わせる。
- 4) 左右同じ位置に合わせ、取付けネジ(ボルト)を締付ける。
- 5) フットレストから足が後方に落ちないように、レッグベルトの張りを調整して取付ける。(P.51)

取付けネジ締付けトルク 6N・m(0.6kgf・m)

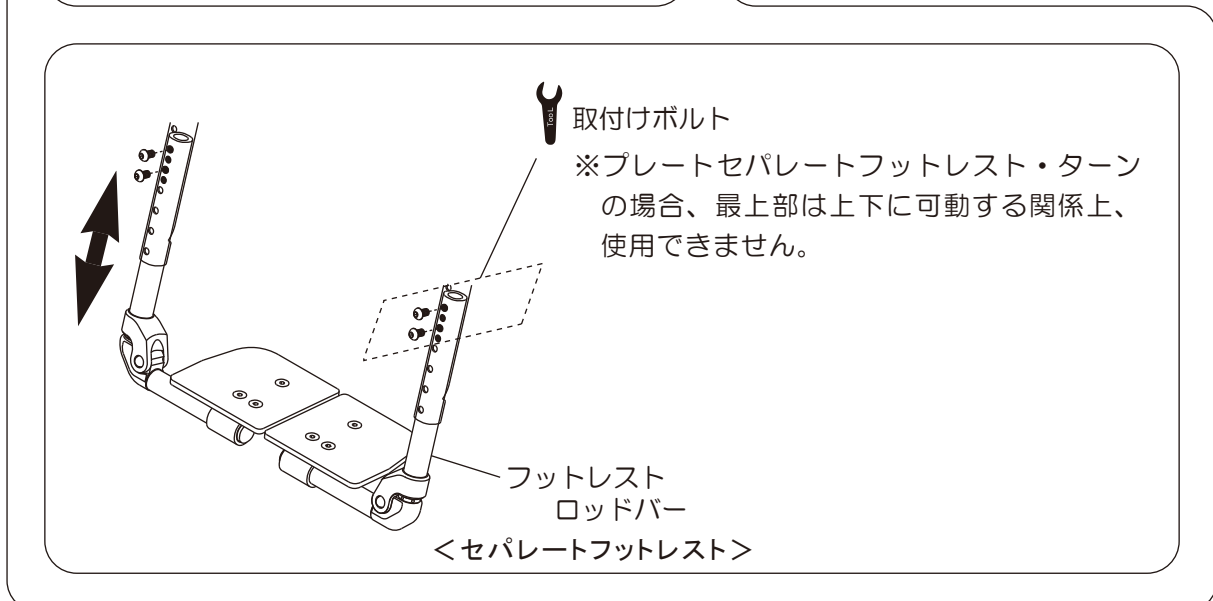
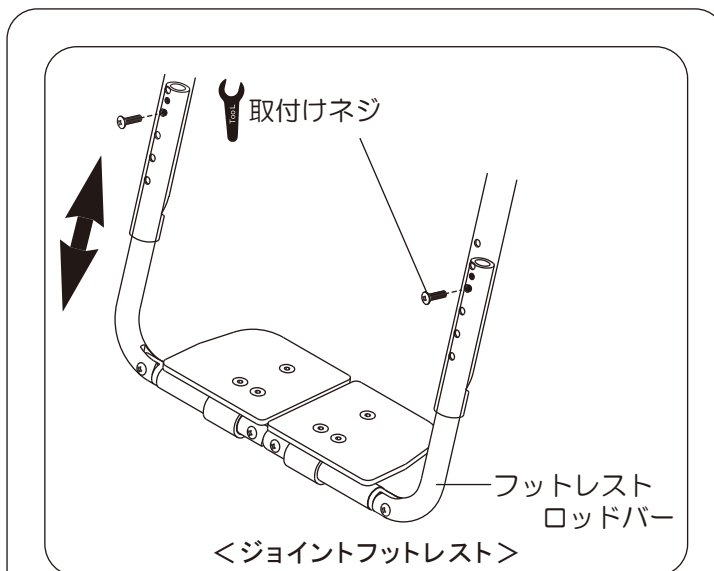
取付けボルト締付けトルク 8N・m(0.8kgf・m)

⚠警告

フットレストと地面の間隔は、十分確保する。
* 段差や石などに当り転倒・転落のおそれがあります。また、車いすが破損します。

⚠注意

ジョイントタイプのフットレストは必ず左右同じ長さに調整する。
* 車いすが破損するおそれがあります。
* 左右のフットレスト長確認は、車いすを折りたたんだ状態でフットレストロッドバー下端の位置を確認してください。



【図2-2】

フットレストの調整・点検

＜フットレスト長の調節（ハイマウント）＞【図2-3】【図2-4】

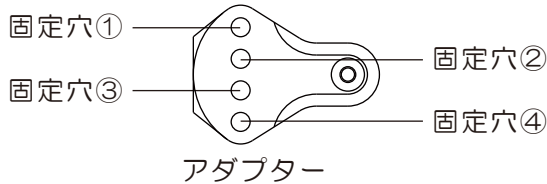
車いすのシート部にクッションを敷き、着座して最適なフットレスト長に調節してください。

- 1) レッグベルトを外す。(P.51)
- 2) 左右2本ずつの取付けボルトを外す。
- 3) アダプターの固定穴①と③、または固定穴②と④に取付けボルトを差込み、最適な位置の調節穴に合わせて取付ける。

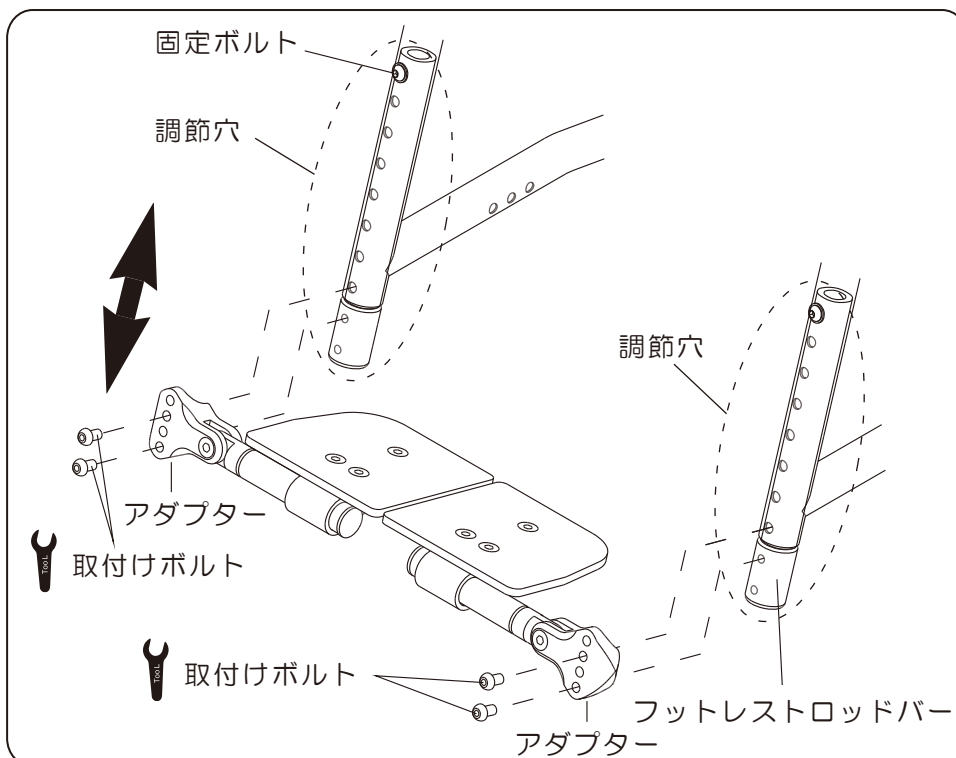
※固定ボルトが邪魔になる場合は、固定ボルトの位置を変えてください。

- 4) 左右2本ずつの取付けボルトで締付ける。
- 5) フットレストから足が後方に落ちないようにレッグベルトの張りを調整して取付ける。(P.51)

取付けボルト締付けトルク 8N・m(0.8kgf・m)



【図2-3】



【図2-4】

⚠警告

フットレストと地面の間隔は、十分確保する。
* 段差や石などに当り転倒・転落のおそれがあります。また、車いすが破損します。

⚠警告

必ず取付けボルト2本で固定する。
* 固定力が低下し、ケガや車いすの破損のおそれがあります。必ず取付けボルト2本で固定するようにしてください。

⚠注意

ジョイントタイプのフットレストは必ず左右同じ長さになるように調節する。
* 車いすが破損するおそれがあります。
* 左右のフットレスト長確認は、車いすを折りたたんだ状態でアダプターの位置を確認してください。

フットレストの調整・点検

＜ハイマウントフットレストの調節可能範囲＞

【図2-5】【図2-6】【図2-7】

ハイマウントフットレストの調節可能範囲は、次の通りです。

最上位置：アダプターの固定穴②と調節穴①及び固定穴④と調節穴②が重なる位置【図2-6】

最下位置：アダプターの固定穴①と調節穴⑨及び固定穴③と調節穴⑩が重なる位置【図2-7】

※固定ボルトが邪魔になる場合は、固定ボルトの位置を変えてください。

⚠警告

フットレストと地面の間隔は、十分確保する。
* 段差や石などに当り転倒・転落のおそれがあります。また、車いすが破損します。

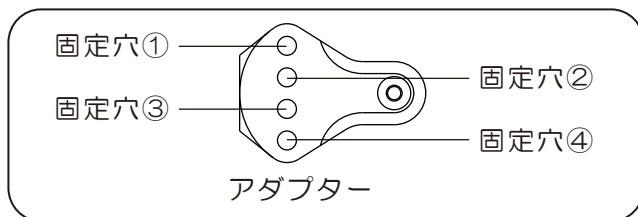
⚠注意

ジョイントタイプのフットレストは必ず左右同じ長さになるように調節する。

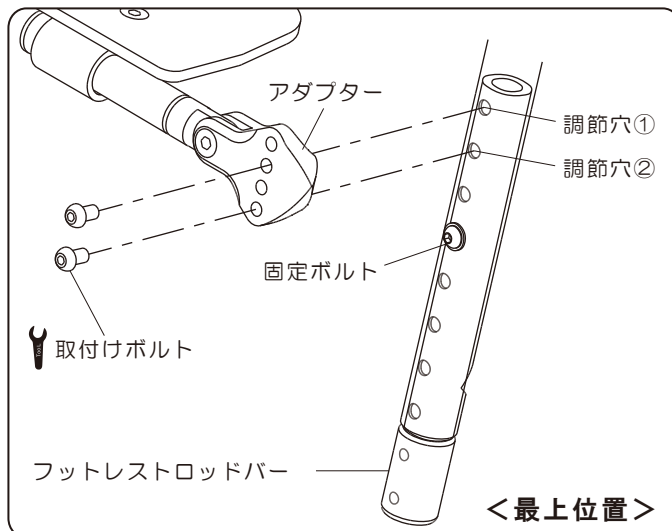
* 車いすが破損するおそれがあります。

* 左右のフットレスト長確認は、車いすを折りたたんだ状態でアダプターの位置を確認してください。

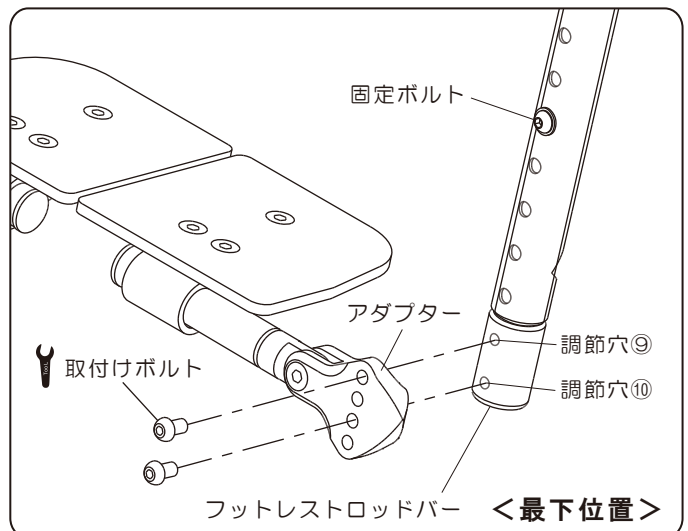
取付けボルト締付けトルク 8N・m(0.8kgf・m)



【図2-5】



【図2-6】



【図2-7】

フットレストの調整・点検

＜フットプレートの角度調整＞【図2-8】【図2-9】【図2-10】

- 1) ①②ボルトを緩める。
- 2) フットプレートを最適な角度にする。【図2-10】
- 3) ①②ボルトを交互に繰り返し締める。
※交互に繰り返し締めないと確実に締まりません。
- 4) 左右同様にする。
- 5) フットプレートと地面の間隔が十分確保できているか確認する。
- 6) 車いすを折りたたみ、左右のフットプレート同士が接触していないか、またフレームに接触していないか確認する。

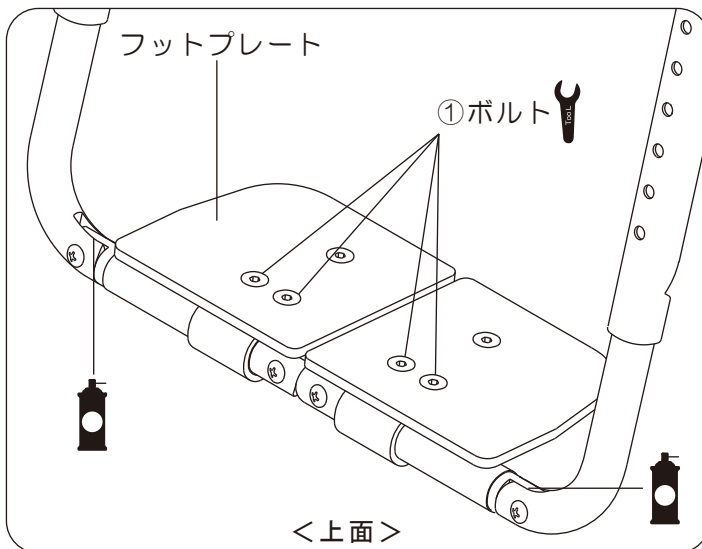
⚠警告

フットレストと地面の間隔は、十分確保する。
* 段差や石などに当り転倒・転落のおそれがあります。また、車いすが破損します。

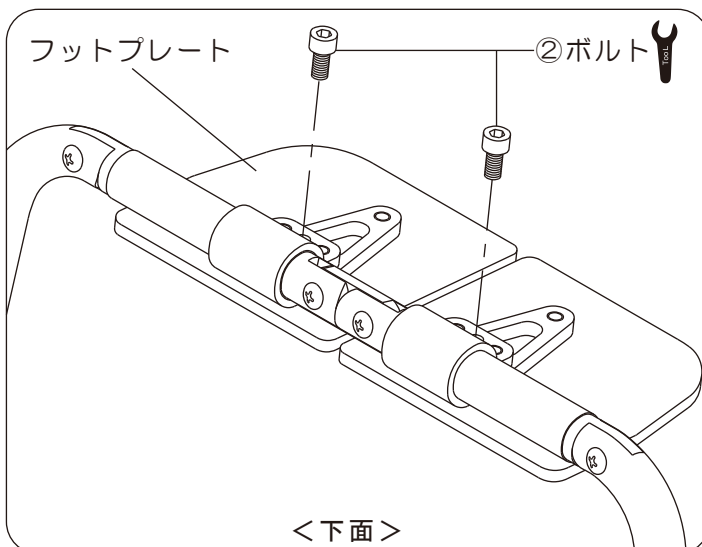
⚠注意

車いすを折りたたんだ状態でフレームや左右のフットプレート同士が接触した状態では使用しない。
* 車いすが破損するおそれがあります。
* 調整後は必ず確認してください。

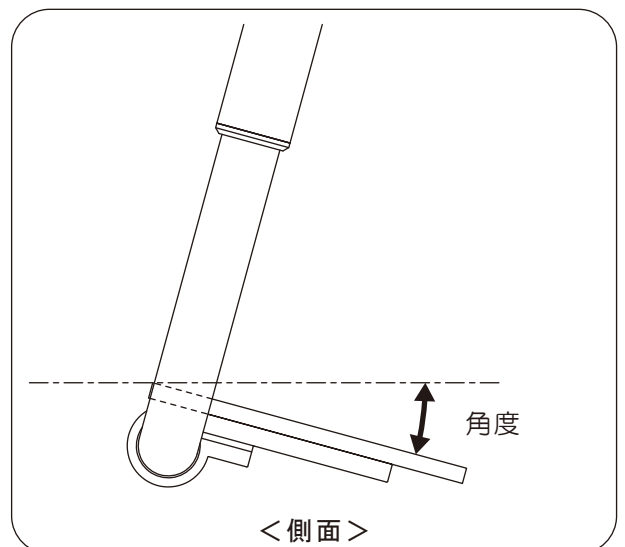
- ①ボルト締め付けトルク 8N・m(0.8kgf・m)
②ボルト締め付けトルク 8N・m(0.8kgf・m)



【図2-8】



【図2-9】



【図2-10】

フットレストの調整・点検

＜セパレートフットレストの角度修正＞

【図2-11】【図2-12】【図2-13】

セパレートフットレストは、フットレストロッドバーとフットプレートの角度を最適な状態に調整することができます。なお、セパレートフットレストのタイプによって調整方法が異なりますので、装着されているフットレストをご確認ください。(P.26)

⚠注意

調整ボルトを緩めすぎない。
 ＊フットレストが破損します。
 ＊フットプレートがフットレストロッドバーに対して90°になるように修正してください。

セパレートフットレスト(スタンダード・ターン)【図2-11】

- 1) フットレストを折りたたむ。
- 2) フットレストロッドバー下端の固定ボルトを外す。
- 3) 調整ボルトを回して最適な角度に調整する。【図2-13】
- 4) 調整ボルト側面のレンチかけに、六角レンチ(2mm)などを差込む。
- 5) 六角レンチ(2mm)などを回らないように支持しながら、固定ボルトを締付ける。
- 6) 左右同様にする。

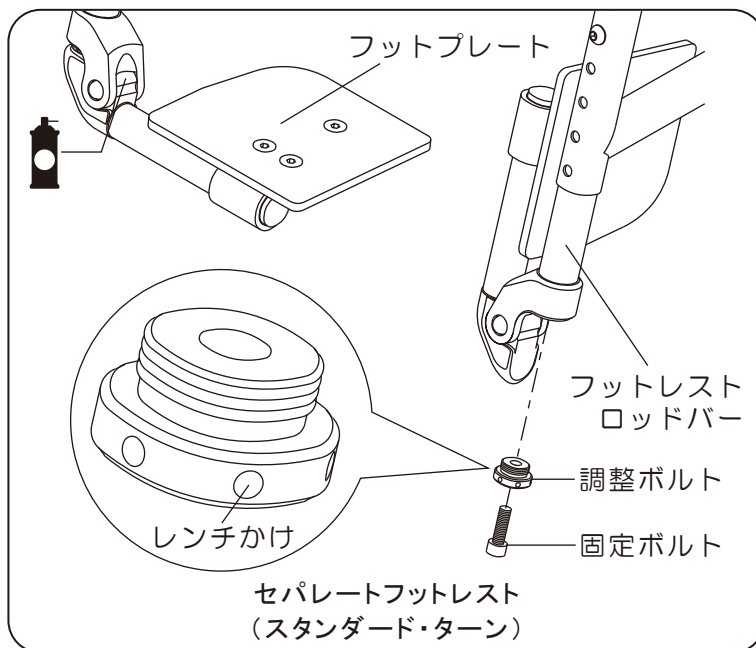
⚠注意

フットレストを折りたたむ際に手をはさまないように注意する。
 ＊フットプレートとフットレストロッドバーやフレームに、手や指をはさまないようにゆっくとたたんでください。

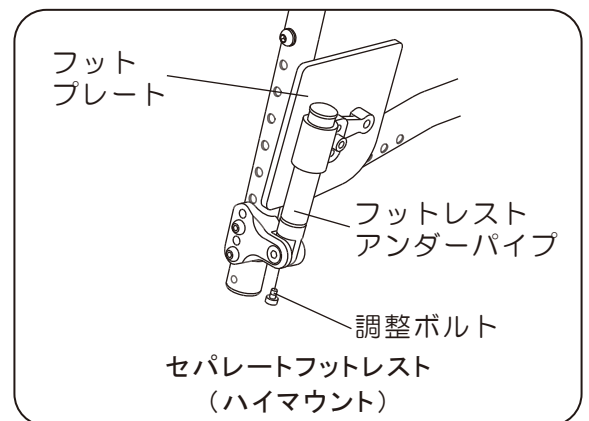
セパレートフットレスト(ハイマウント)【図2-12】

- 1) フットレストを折り上げる。
- 2) フットレストアンダーパイプ下端の調整ボルトを回して最適な角度に調整する。【図2-9】
- 3) 左右同様にする。

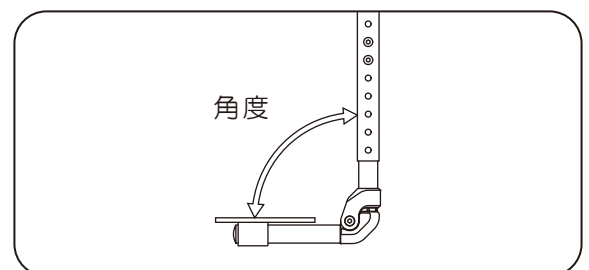
固定ボルト締付けトルク 8N・m(0.8kgf・m)



【図2-11】



【図2-12】



【図2-13】

プレートセパレートフットレスト(ターン)の操作

<開く>【図2-14】

- 1) フットレストを折り上げる。(A)
- 2) フットレストを引き上げながら、外側に回転させる。(B→C)

⚠警告

フットプレート部そのものを前方向へ組換えない。【図2-15】

* キャスターがロックしてしまい、転倒・転落のおそれがあります。

<戻す>【図2-14】

- 1) フットレストを内側へ回転させる。(C)
- ※ フットレストを引き上げる必要はありません。
- 2) フットレストを下げる。(A)

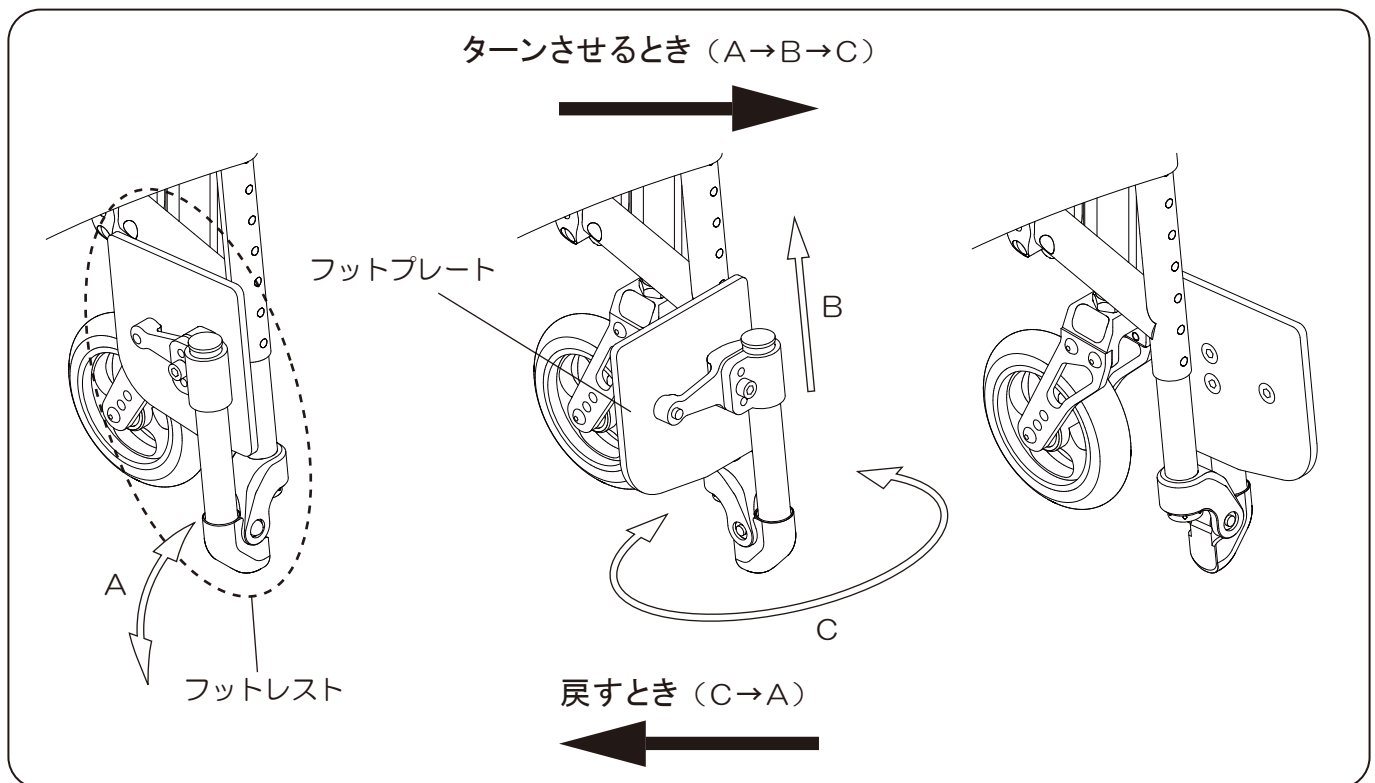
⚠注意

フットレストを外側に開いたまま走行しない。【図2-16】

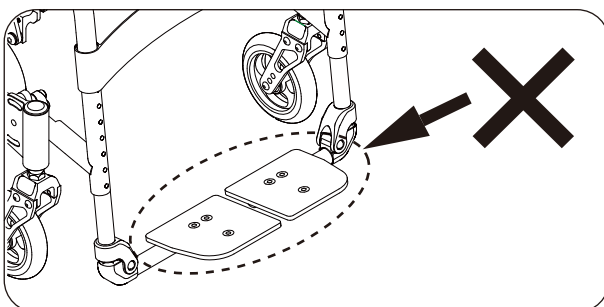
* 周りの人や物等と接触し、事故のおそれがあります。

<フットレストの点検>

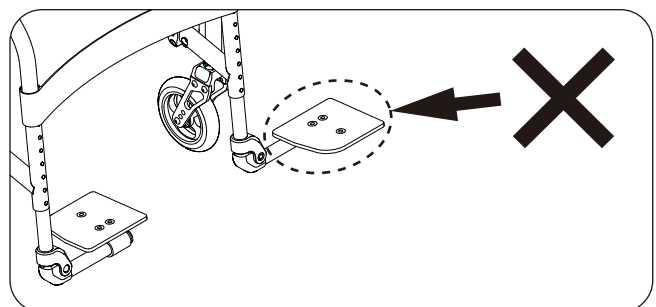
フットプレートにひび割れはないか。
ネジ・ボルトの緩みはないか。



【図2-14】



【図2-15】



【図2-16】

バックレスト 及び レザー類の調整・点検

＜アウターレザーの着脱（NEO/miniNEOボーンレザー）＞

【図2-17】

取外し方

アウターレザー前面下部から矢印の方向に面ファスナーをはがして行き後方もそのままはがします。

取付け方

取外しと逆の手順で行います。楕円形のワッペンが車いす後方の上部にくるようにアウターレザーを取付けてください。

※ボーンレザーは図を参照し、左右のパッドが最適な位置になるよう調整してください。

⚠注意

【図2-17】アウターレザーや【図2-18】アウターレザー1の内蔵スポンジの弾力が無くなってきたら交換する。

* 背中や腰に褥瘡^{じよくそう}などができるおそれがあります。

* スポンジのみの交換はできません。

＜アウターレザーの取外し（NEO plus/miniNEO）＞ 【図2-18】

- 1) アウターレザー1の面ファスナーをはがして取外す。
- 2) アウターレザー2の面ファスナーをはがして取外す。

⚠注意

面ファスナーは確実に貼付ける。

* 固定力が低下して調整状態が変わってしまいます。

＜アウターレザーの取付け（NEO plus/miniNEO）＞ 【図2-18】

アウターレザーの取付け後に、車いすの前後から見てインナーレザーのベルト（P.36）が全て覆い隠されるように取付けてください。

- 1) アウターレザー2をインナーレザーの後側（車いすの真後ろ）に取付ける。
- 2) アウターレザー1をインナーレザー上部にかぶせるように取付ける。（アウターレザー1の楕円形のワッペンが車いすの後方から見えるように取付ける）

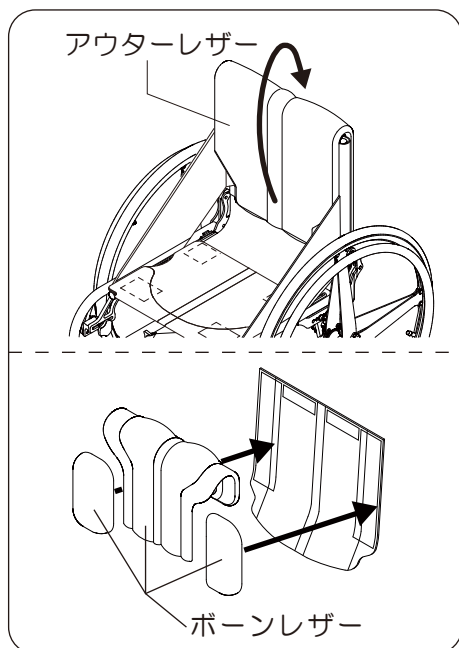
⚠注意

面ファスナーに付着した糸くずなどは取除く。

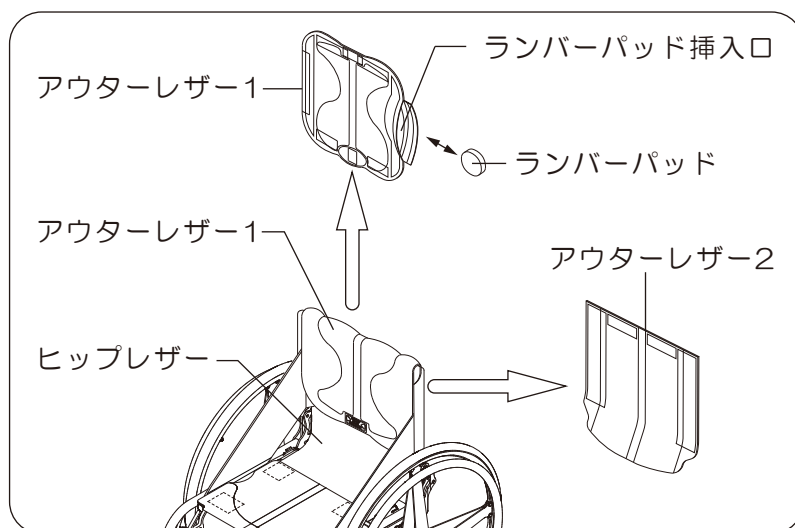
* 固定力が低下して調整状態が変わってしまいます。

＜ランバーパッドの交換（NEO plus/miniNEO）＞ 【図2-18】

アウターレザー1の両側にあるランバーパッド挿入口の面ファスナーをはがし、交換してください。



【図2-17】



【図2-18】

バックレスト及びレザー類の調整・点検

＜ヒップレザーの取外し＞【図2-19】

- 1) アウターレザーを取外す。(P.33)
- 2) カバーシートレザーの後方2箇所の面ファスナーをはがす。
- 3) ヒップレザーのバックレスト側の面ファスナーをはがす。
- 4) ヒップレザーのシート側の面ファスナーをはがす。

⚠注意

ヒップレザーの張りは乗車姿勢に影響するので正しく調整する。

＜ヒップレザーの取付け＞【図2-19】

ヒップレザーには向きがあります。取付けの際は注意してください。

- 1) ヒップレザーのシート側の面ファスナーを貼付ける。
- 2) ヒップレザーを最適な乗車姿勢になるように調整してバックレスト側の面ファスナーを貼付ける。
- 3) カバーシートレザーの面ファスナーを貼付ける。
- 4) アウターレザーを取付ける。(P.33)

⚠注意

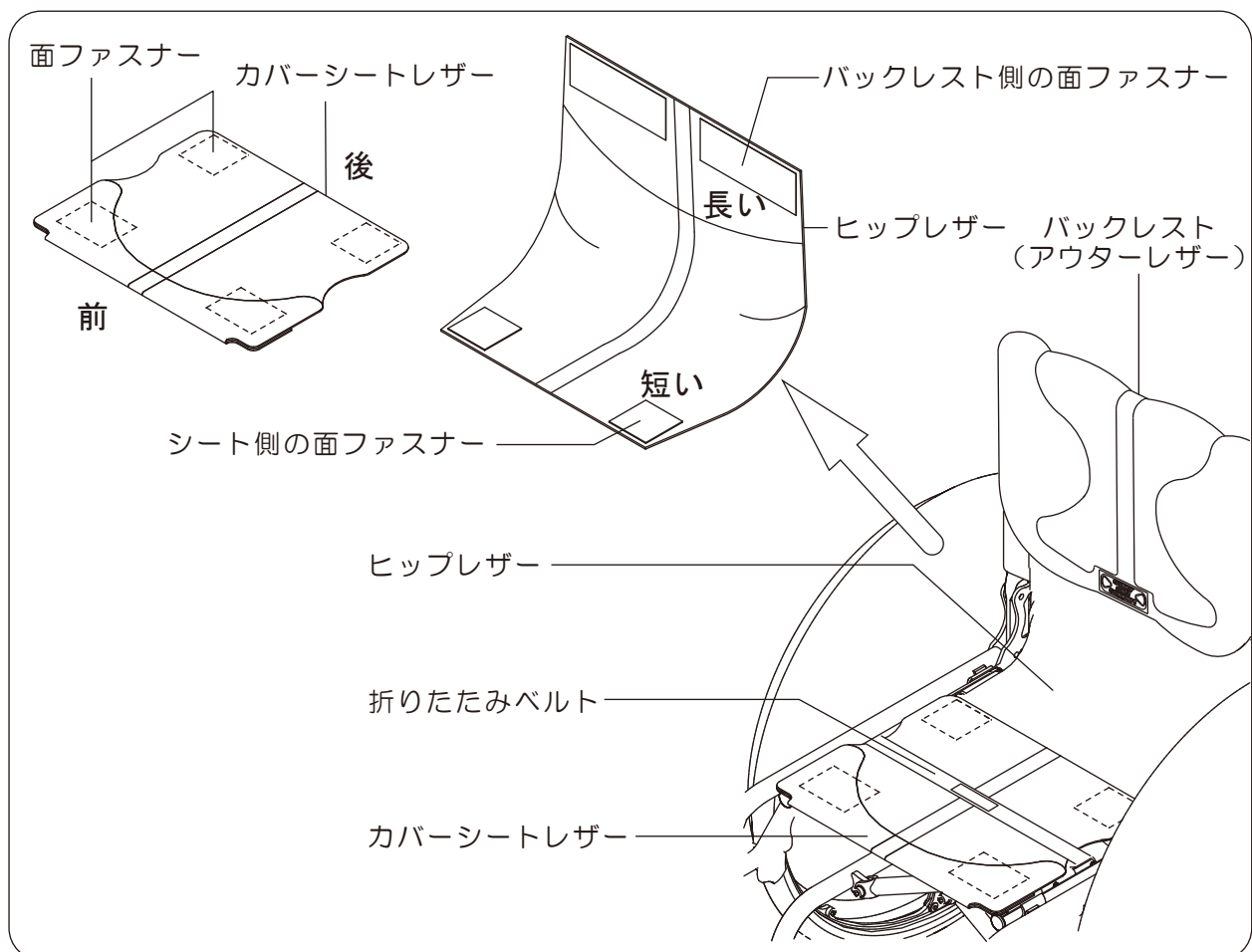
面ファスナーは確実に貼付ける。

* 固定力が低下して調整状態が変わってしまいます。

⚠注意

面ファスナーに付着したほこりや糸くずなどは取除く。

* 固定力が低下して調整状態が変わってしまいます。



【図2-19】

バックレスト及びレザー類の調整・点検

＜サイドレザーの取外し＞【図2-20】

- 1) アウターレザーとヒップレザーを取外す。(P.33・34)
- 2) ベルトの面ファスナーをはがす。
- 3) サイドレザーの面ファスナーをはがす。
- 4) 車いすを少し折りたたんだ状態にする。(P.14)
- 5) 全てのプッシュリベットを取外す。
- 6) サイドレザーからレールを引抜く。

⚠注意

ホイールを回転させて、サイドレザーとタイヤ、スポークが接触しないことを確認する。

* サイドレザーを破損するおそれがあります。

＜サイドレザーの取付け＞【図2-20】

- 1) 車いすを少し折りたたんだ状態にする。(P.14)
- 2) サイドレザーとレールの穴が合うようにレールを差込む。
- 3) 全てのプッシュリベットをサイドレザーの穴に差込み、フレームに取付ける。
- 4) 車いすを開いた状態にする。(P.15)
- 5) サイドレザーを最適な張りにしながら、面ファスナーを貼付ける。
- 6) ベルトを適切な張りや角度にしながら、面ファスナーをバックレスト後部に貼付ける。
- 7) アウターレザーとヒップレザーを取付ける。(P.33・34)

⚠注意

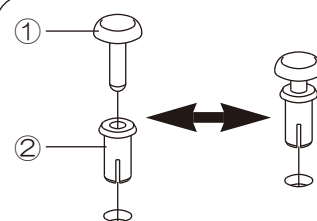
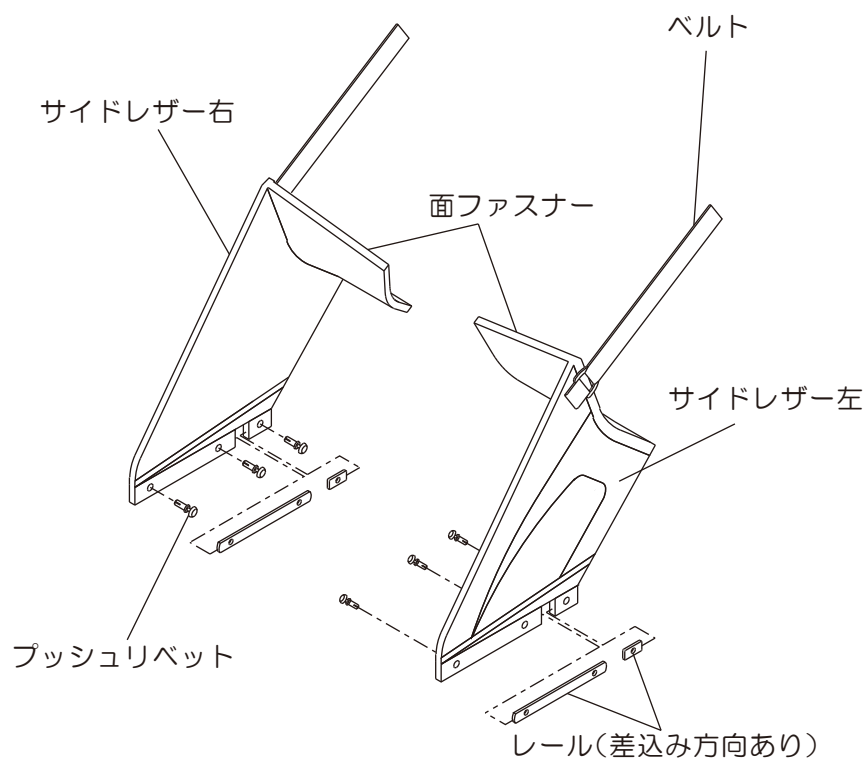
面ファスナーは確実に貼付ける。

* 固定力が低下して調整状態が変わってしまいます。

⚠注意

面ファスナーに付着したほこりや糸くずなどは取除く。

* 固定力が低下して調整状態が変わってしまいます。



プッシュリベット

＜取外し方＞

ペンチなどでプッシュリベットの①を上から引抜いてから②を引抜く。

＜取付け方＞

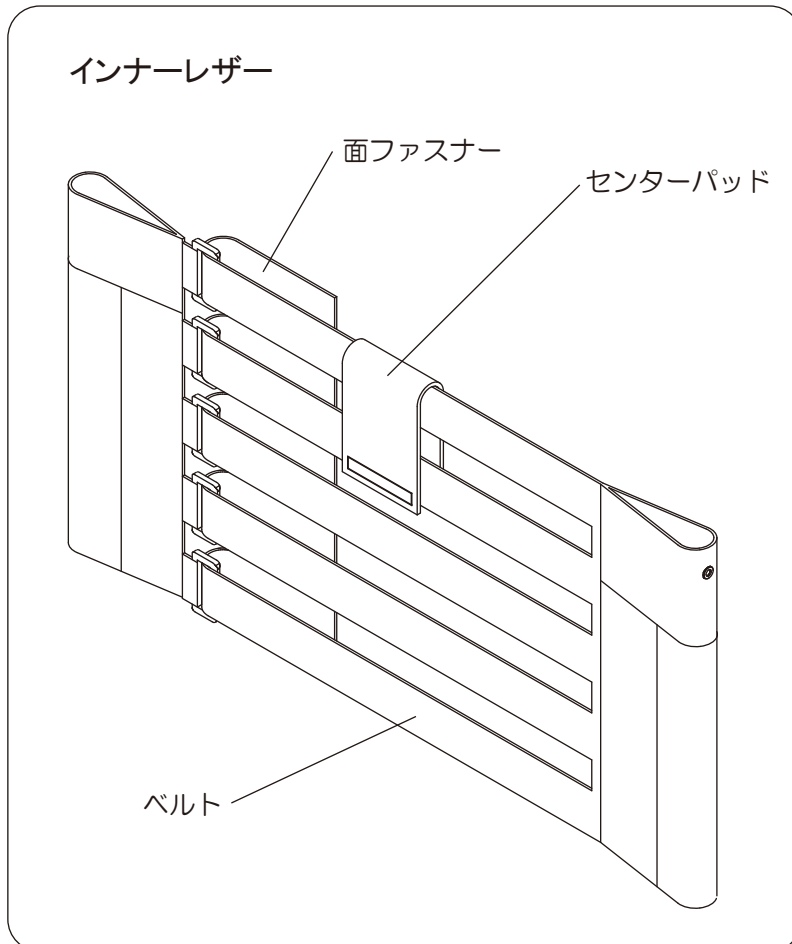
取付け穴に②を差込み②に①を差込む。

【図2-20】

バックレスト 及び レザー類の調整・点検

＜インナーレザーの調整＞【図2-21】

- 1) アウターレザーとヒップレザーを取外す。(P.33・34)
- 2) サイドレザーの面ファスナーとベルトをはがす。(P.35)
- 3) インナーレザー上下各部のベルトを最適な張りに調整する。
- 4) センターパッドを背骨が当たる位置に移動する。
- 5) サイドレザーの面ファスナーとベルトを貼付ける。(P.35)
- 6) アウターレザーとヒップレザーを取付ける。(P.33・34)



【図2-21】

⚠注意

面ファスナーは確実に貼付ける。

* 固定力が低下して調整状態が変わってしまいます。

⚠注意

面ファスナーに付着したほこりや糸くずなどは取除く。

* 固定力が低下して調整状態が変わってしまいます。

⚠注意

インナーレザーの張り調整は「張り過ぎ」「緩め過ぎ」に注意する。

* 車いすが破損するおそれがあります。

* 車いすが開いた状態でしっかりとクロスメンバーがフレームの「受け」に収まっていることを確認してください。(P.15)

バックレスト及びレザー類の調整・点検

＜インナーレザーの取外し＞【図2-22】

- 1) アームレストを取外す。(P.47)
- 2) アウターレザー(P.33)とコーナパッド(グリップ・介助グリップ未装着車のみ)を取外す。
- 3) ヒップレザーを取外す。(P.32)
- 4) サイドレザーのバックレスト側の面ファスナーとベルトをはがす。
(P.35)
- 5) 左右の取付けネジを取外す。
- 6) インナーレザーを上へ引抜く。
※グリップ・介助グリップ装着車の場合は＜バックレスト高の調整＞
(P.38)を参照し、グリップ・介助グリップを引抜いた後、インナー
レザーを上へ引抜く。

⚠注意

面ファスナーは確実に貼付ける。
* 固定力が低下して調整状態が変わってしまいます。

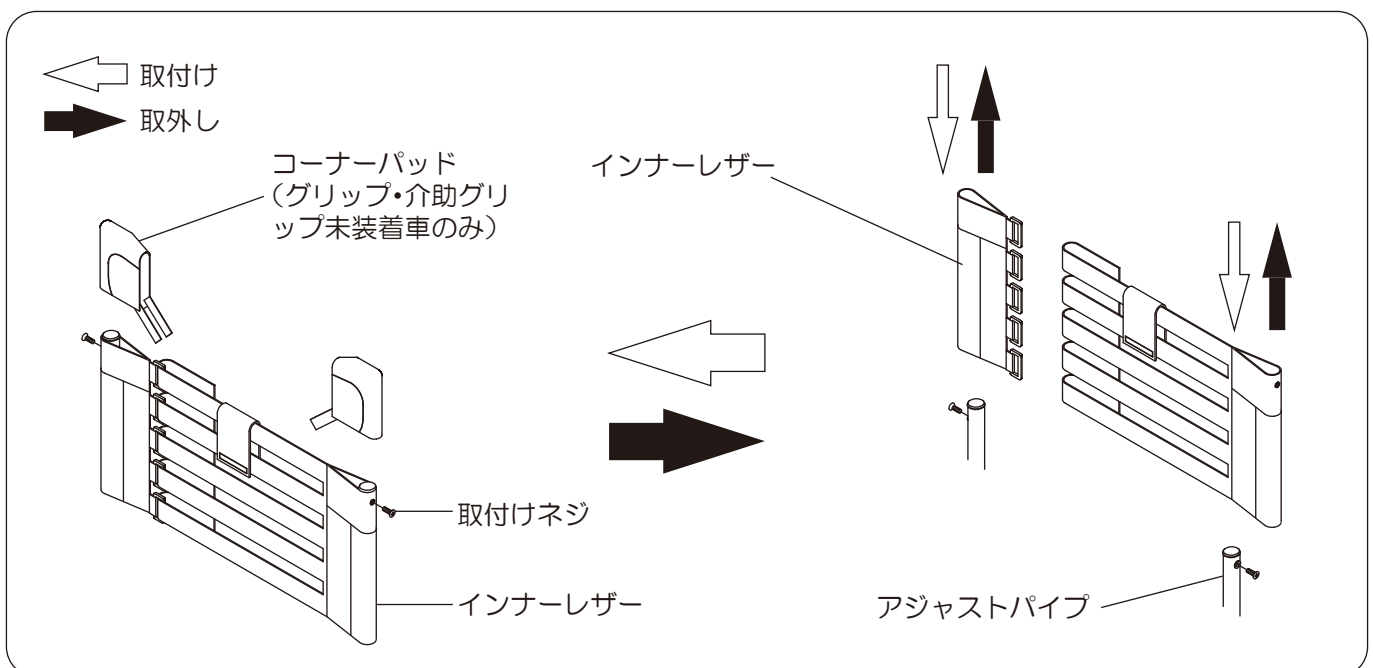
⚠注意

面ファスナーに付着したほこりや糸くずなどは取除く。
* 固定力が低下して調整状態が変わってしまいます。

＜インナーレザーの取付け＞【図2-22】

- 1) バックレストにインナーレザーを差込む。
※グリップ・介助グリップ装着車の場合は、グリップ・介助グリップを差込む。
- 2) インナーレザーの左右を取付けネジでアジャストパイプに固定する。
- 3) ＜インナーレザーの調整＞(P.36)を行う。
- 4) サイドレザー(P.35)とヒップレザー(P.34)を取付ける。
- 5) コーナパッド(グリップ・介助グリップ未装着車のみ)を取付け、アウターレザー(P.33)を取付ける。
- 6) アームレストを取付ける。(P.47)

取付けネジ締付けトルク 4N・m(0.4kgf・m)



【図2-22】

バックレスト及びレザー類の調整・点検

＜バックレスト高の調整＞【図2-23】

オプションの「グリップ・介助グリップ」の付いたバックレストも同様の調整方法です。

- 1) アームレストを取外す。(P.47)
- 2) アウターレザーを取外す。(P.33)
- 3) インナーレザーのフラップの面ファスナーをはがす。
- 4) ③ネジを外して、インナーレザーを押し下げ、①ネジ、②ナット、ワッシャーを露出させる。
- 5) ①ネジ、②ナット、ワッシャーを外す。
- 6) アジャストパイプをスライドさせて最適な高さに調節する。
- 7) ①ネジを固定穴と調節穴に通し、②ナット、ワッシャーで締付ける。
- 8) 反対側も同様に同じ高さに調節する。
- 9) ③ネジを取付ける。
- 10) インナーレザーのフラップの面ファスナーを貼付ける。(P.33)
- 11) アームレストを取付ける。(P.47)

⚠注意

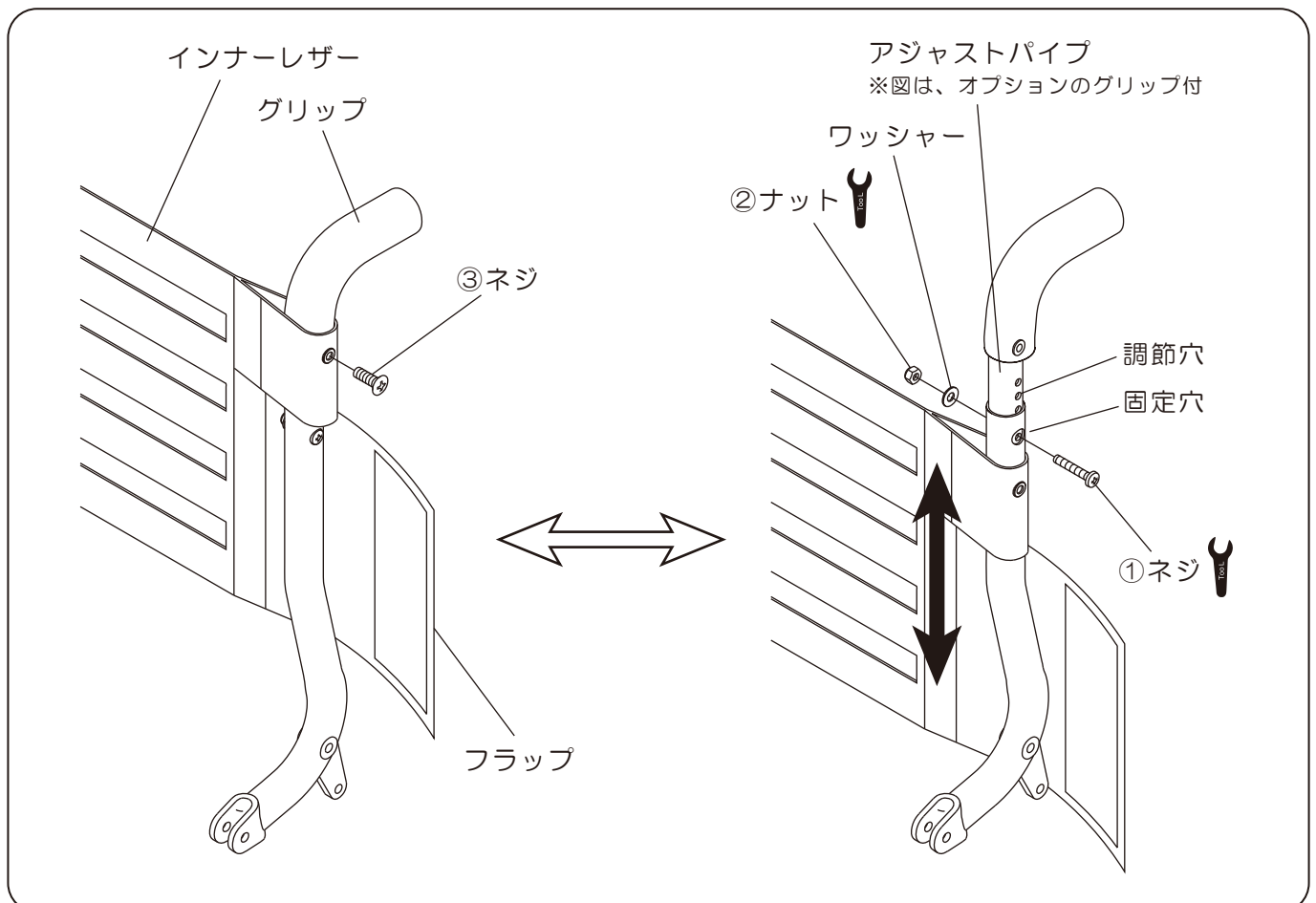
左右のバックレスト高は必ず同じにする。
 * 車いすが破損するおそれがあります。
 * アジャストパイプの調節穴の位置を左右で合わせてください。

⚠注意

フラップの面ファスナーは確実に貼付ける。
 * インナーレザーが破損するおそれがあります。
 * ベルトの張りが適切にならず、褥瘡^{じくそう}などができるおそれがあります。

①ネジ締付けトルク 6N・m(0.6kgf・m)

③ネジ締付けトルク 4N・m(0.4kgf・m)



【図2-23】

バックレスト 及びレザー類の調整・点検

＜シートレザーの張り調整＞【図2-24】

- 1) カバーシートレザーを取外す。
- 2) ベルト(シートレザー)下側の面ファスナーで、前後各部のベルトと折りたたみベルトの張りを調整する。
※miniNEOのクッションサポートベルトは、図のようにバックレストプレート（内側）に通してクッションがずり落ちないように調整してください。
- 3) シートパイプが「受け」にしっかりと乗っていることを確認する。
(P.15)
※シートパイプが浮いていると、クロスメンバーの破損につながります。
必ずシートパイプは「受け」に乗せてください。
- 4) ヒップレザーのシート側の面ファスナーをはがし、ベルト(シートレザー)の張りに合わせて貼りなおす。
- 5) カバーシートレザーを折りたたみベルトの下を通して取付ける。

⚠注意

シートレザーの張り調整は「張り過ぎ」「緩め過ぎ」に注意する。

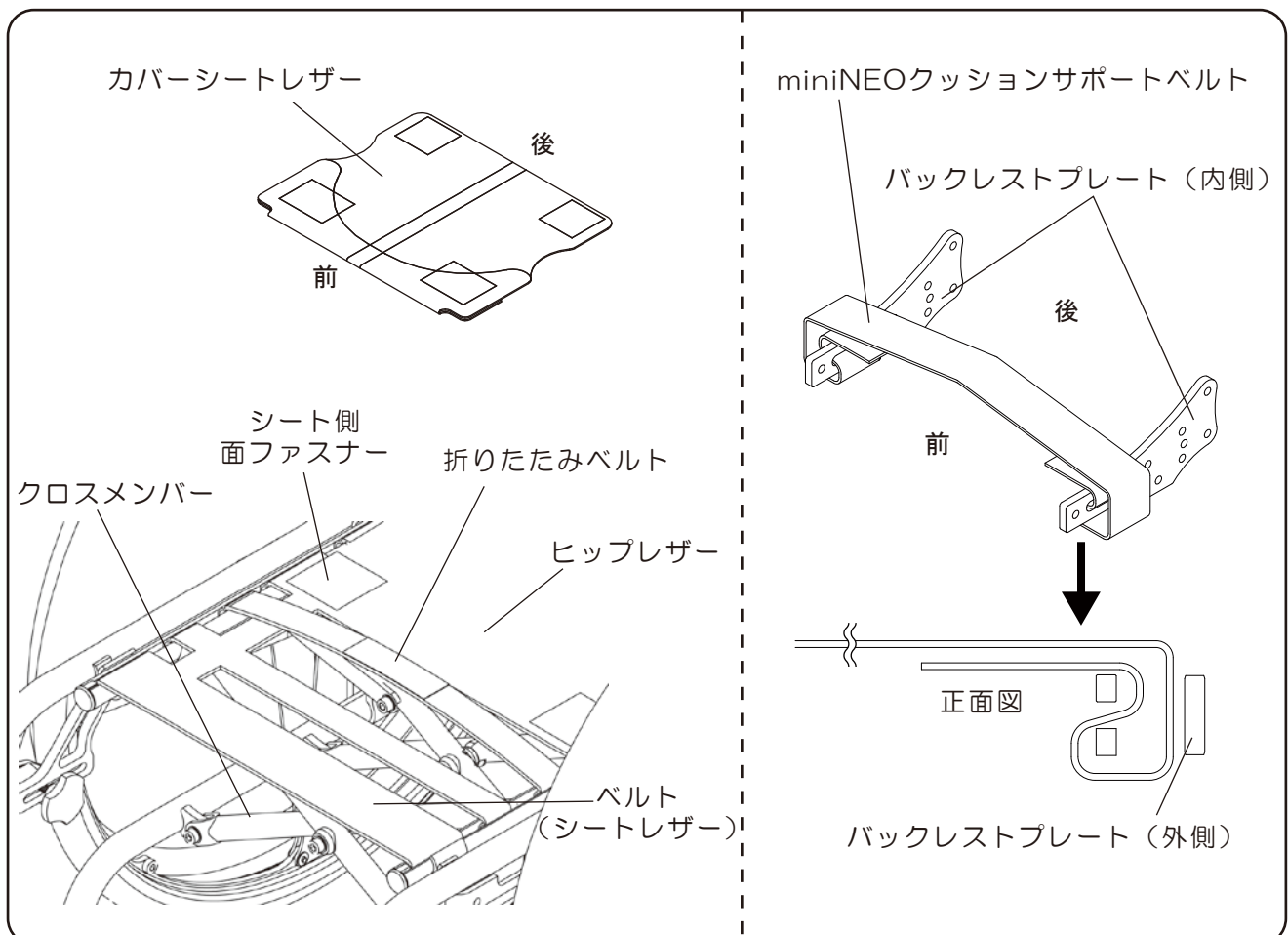
* 車いすが破損するおそれがあります。

* フレームなど硬い部分しよくそうが身体に接触し、褥瘡じよくそうなどができるおそれがあります。

* 車いすが開いた状態でしっかりとクロスメンバーがフレームの「受け」に収まっていることを確認してください。(P.15)

＜レザーの点検＞

乗車前に必ず、自分の状態に最適な張り調整になっているか点検してください。



【図2-24】

車軸位置の調整・点検

＜前後調節穴の変更＞【図2-25】

車軸位置の調節可能範囲は、ご使用の車いす、装備されているブレーキの調整範囲、ホイールサイズ、アクスルブラケットにより異なります。

- 1) ブレーキを解除する。(P.17)
- 2) 車軸を前方へ調整する時は、あらかじめブレーキ位置を前方へ移動する。(P.18～19)
- 3) ホイールを外す。(P.16)
- 4) フレーム内側の①ナットと②ワッシャーを外す。
- 5) フレーム外側から③ボルトと④ナットを抜く。(キャンバー付きの場合、④ナットはありません。)
- 6) アクスルブラケット前後調節穴の最適な位置に、③ボルトをフレーム外側から取り付ける。
- 7) 「キャンバー無し」の場合は④ナットをナットガイドに合わせる。
- 8) フレーム内側から②ワッシャーを入れる。
- 9) ③ボルトの突出しをP.42又はP.43の「ホイール取付け間隔の調整」に従い調整する。
- 10) 必要に応じてカスター角を調整する。(P.45)

①ナット締付けトルク 60N・m(6.0kgf・m)

①ナット締付けトルク(介助ブレーキ付き) 40N・m(4.0kgf・m)

警告

フレーム外側の④ナットは確実にナットガイドに合わせる。

* ③ボルトが抜け、転倒・転落のおそれがあります。

警告

「車軸位置の調整」を行ったときは、必ずアームレストとタイヤが接触していないか確認する。

* ホイールが外れたり車いすが破損し転倒・転落のおそれがあります。

警告

「車軸位置の調整」を行ったときは、必ずブレーキが確実にかかるか確認する。

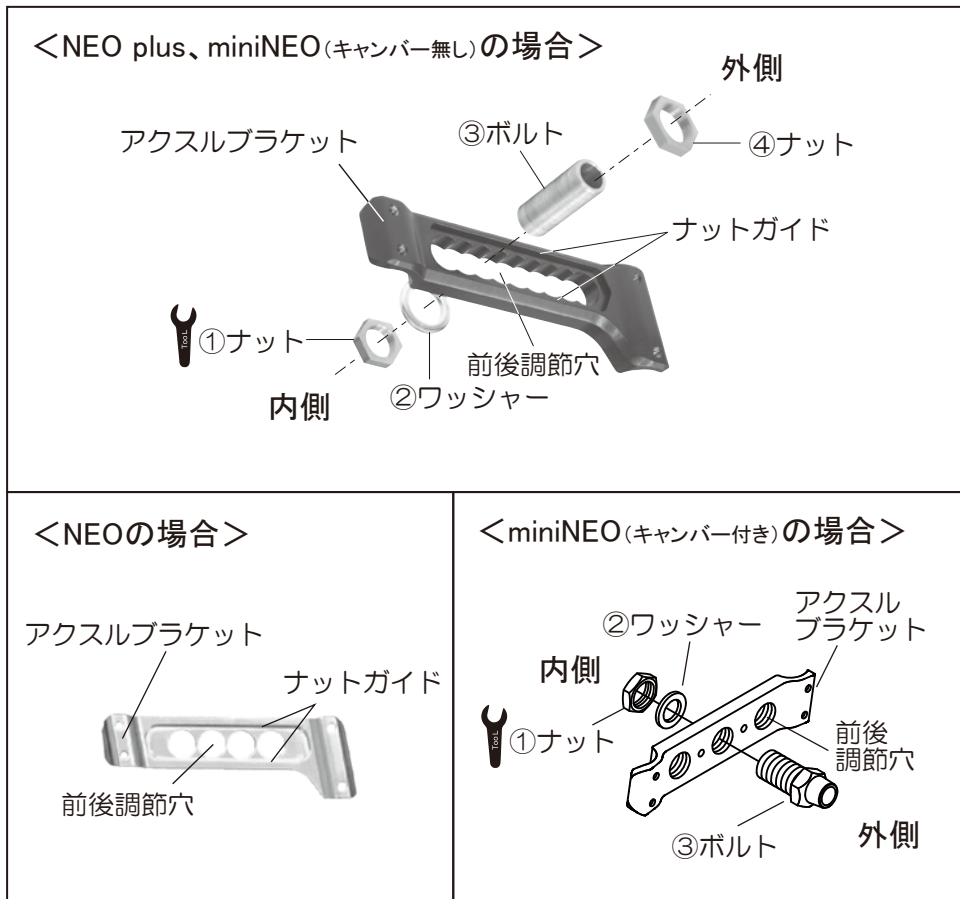
* 転倒・転落のおそれがあります。

警告

車軸を前方へ移動する調整を行った際は、十分注意して車いすに乗車する。

* 後方へ転倒するおそれがあります。

* 調整後初めて乗るときは、ゆっくりと乗車してください。



【図2-25】

車軸位置の調整・点検

＜後座高の調節（の上下移動）＞【図2-26】

※ 後座高の調整は身体状況を考慮して、適切に行ってください。

- 1) ホイールを外す。（P.16）
- 2) フレーム内側から固定ボルトとセットプレートを外す。
- 3) アクスルブラケットを最適な位置に移動させる。
- 4) アクスルブラケットの取付ける向き【図2-26】に注意して、フレーム内側からセットプレートと固定ボルトで仮固定する。
- 5) 4本の固定ボルトを均等に締め、アクスルブラケット、セットプレートを固定する。
- 6) 反対側も同様に同じ位置にする。
- 7) ホイールを付けてブレーキを調整する。（P.16）（P.18～19）
- 8) キャスター角を調整する。（P.45）
- 9) 必要に応じて＜バックレストの角度調節＞を行う。（P.20～22）

警告

アクスルブラケットの移動を行なう際は、下肢により体を支えられない方は、必ずシート部の前端より後端が低くなるように調整する。

* 前方へずり落ち転倒・転落のおそれがあります。

警告

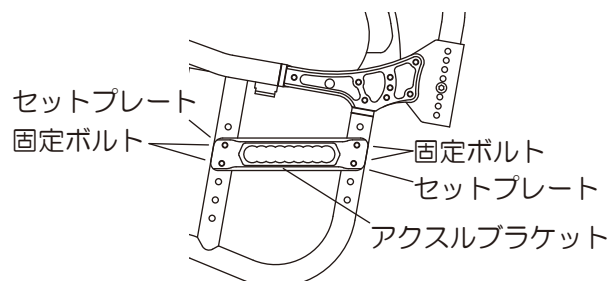
「車軸位置の調整」を行ったときは、必ずアームレストとタイヤが接触していないか確認する。

* ホイールが外れたり車いすが破損し転倒・転落のおそれがあります。

固定ボルト締め付けトルク 10N・m(1.0kgf・m)

アクスルブラケットの取付け方向 ※フレーム外側から見て

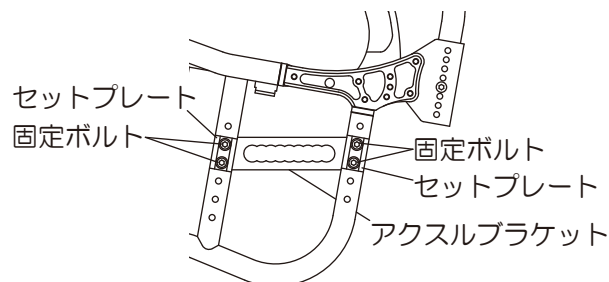
[正常]



必ずこの状態で取付ける。

▲ 次のような取付け方法は絶対にしないこと。

[表裏逆]



警告

「車軸位置の調整」を行ったときは、必ずブレーキが確実にかかるか確認する。

* 転倒・転落のおそれがあります。

警告

【図2-26】のアクスルブラケットの取付け方向を必ず守る。

* ホイールが外れたり車いすが破損し転倒・転落のおそれがあります。

【図2-26】

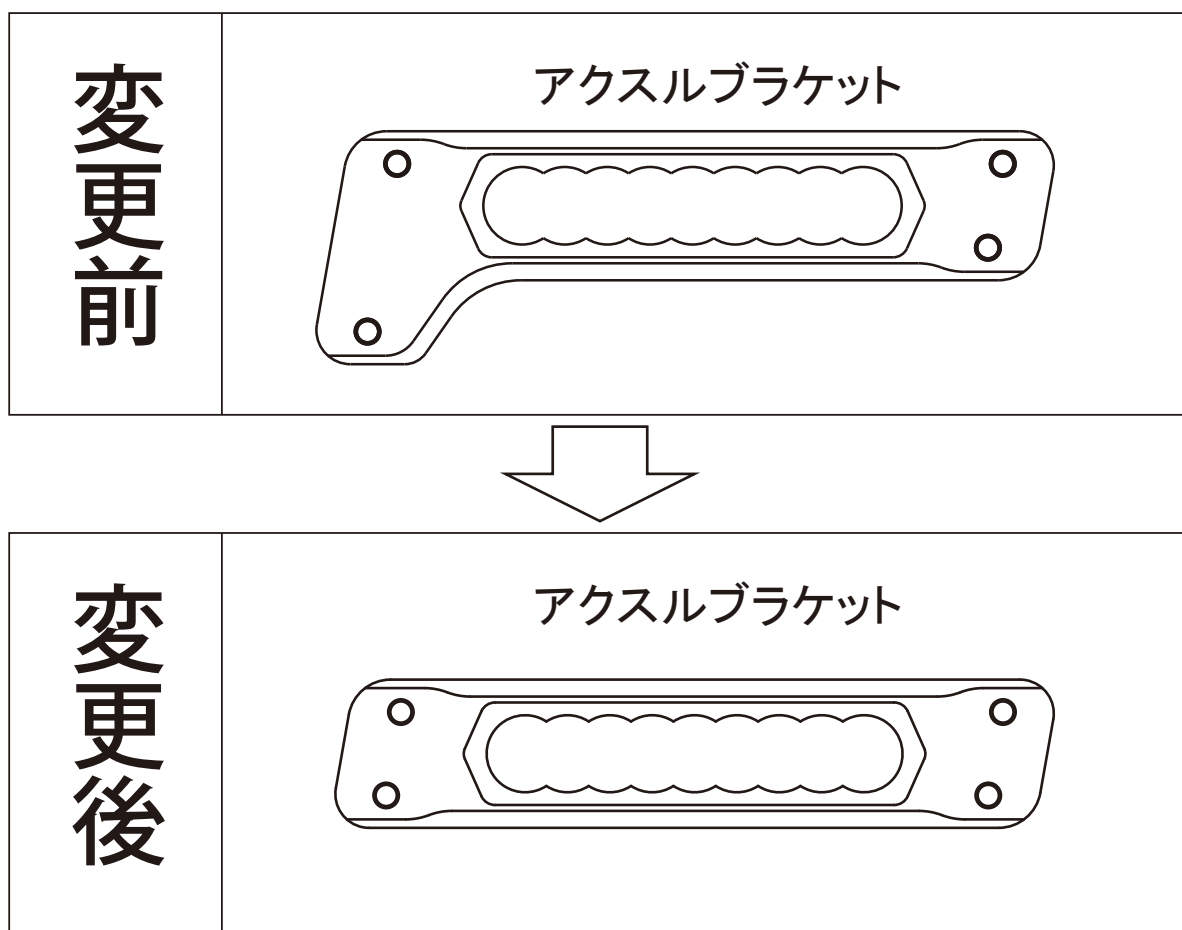
取扱説明書 記載内容訂正のご案内

対象機種／NEO, NEO plus

平素は、弊社製品をご愛顧いただきまして誠に有り難うございます。

対象機種の仕様変更にともない、「NEO / NEO plus / miniNEO 取扱説明書 2021年1月1版 41ページ」の記載内容を訂正いたしましたので、本紙裏面を該当ページと差し替えてご使用ください。

＜仕様変更内容＞ ※アクスルブラケットの形状変更



車軸位置の調整・点検

＜ト一寸法の修正 (miniNEOキャンバー付きのみ)＞【図2-27】

左右のタイヤ前部、後部の全幅寸法を同一の高さで測定し、【図2-27】のAとBが同一寸法になるようにアクスルボルトを回転させて調整します。

- 1) 左右のナットを緩める。
- 2) 左右のアクスルボルトを回転させ、ト一寸法を0mm (A=B) にする。
- 3) 左右のナットを締める。

ナット締め付けトルク 60N・m(6.0kgf・m)

＜ホイール取付け間隔の調整 (miniNEOキャンバー付きのみ)＞ 【図2-27】

ホイール取付間隔は、調整規定に従って調整してください。

- 1) ホイールを外す。(P.16)
- 2) ナットを緩める。
- 3) 調整規定に従い、アクスルボルトを回し最適なホイール取付け間隔にする。
- 4) ナットを締める。
- 5) ホイールを付ける。(P.16)
- 6) ホイール、タイヤがサイドレザーやフレームなどの他の部品に接触していないか確認する。
- 7) ブレーキを確実にかけられるか確認する。
- 8) 左右同様にする。

ナット締め付けトルク 60N・m(6.0kgf・m)

警告

ナットは確実に締付け
る。
* アクスルボルトが抜け、転倒・
転落のおそれがあります。

警告

ボルトの調整は必ず
調整規定に従って調
整する。

* ホイールが外れたり車いす
が破損し転倒・転落のおそ
れがあります。また、事故や
車いすを破損するおそれ
があります。

警告

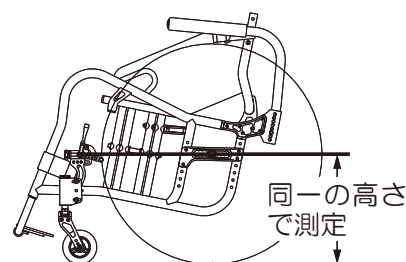
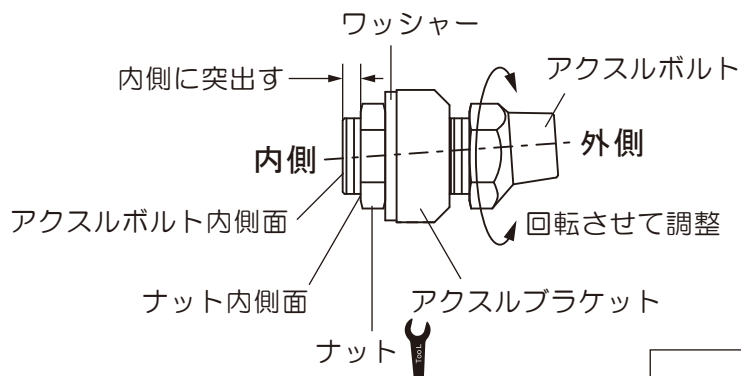
調整後は、必ずブレー
キが確実にかかるか確
認する。

* 転倒・転落のおそれがあり
ます。

警告

調整後は、ホイール
・タイヤが他の部品
に接触していないか
確認する。

* 車いすが破損します。転倒・
転落のおそれがあります。



【調整規定】

次の条件を満たす範囲で調整してください。

- ・アクスルボルト内側面の突出しは、ナット内側面より内側に調整する。
- ・ブレーキが確実にかけられる。
- ・使用時にホイールとタイヤがレザーやフレームなどの他の部品に接触しない。

【図2-27】

車軸位置の調整・点検

＜ホイール取付け間隔の調整＞※キャンバー付き、介助ブレーキ付きを除く

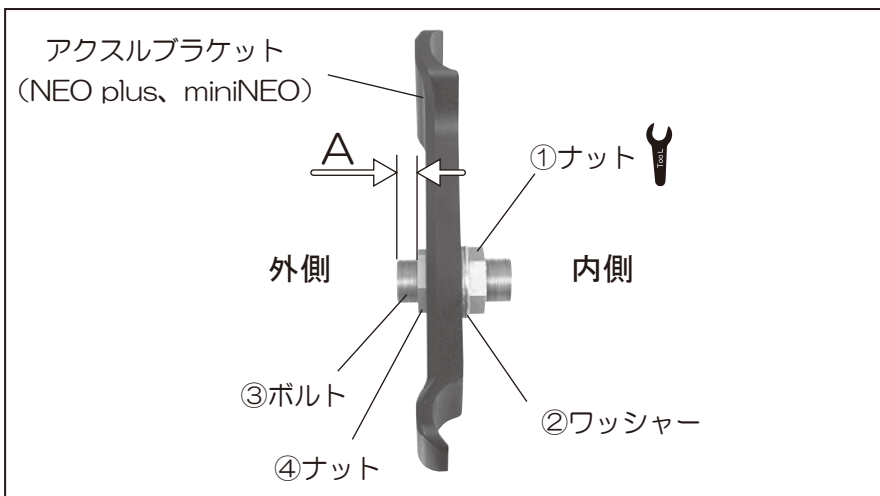
【図2-28】 【図2-29】

※NEO、NEO plus、miniNEOとも、調節方法は同じです。

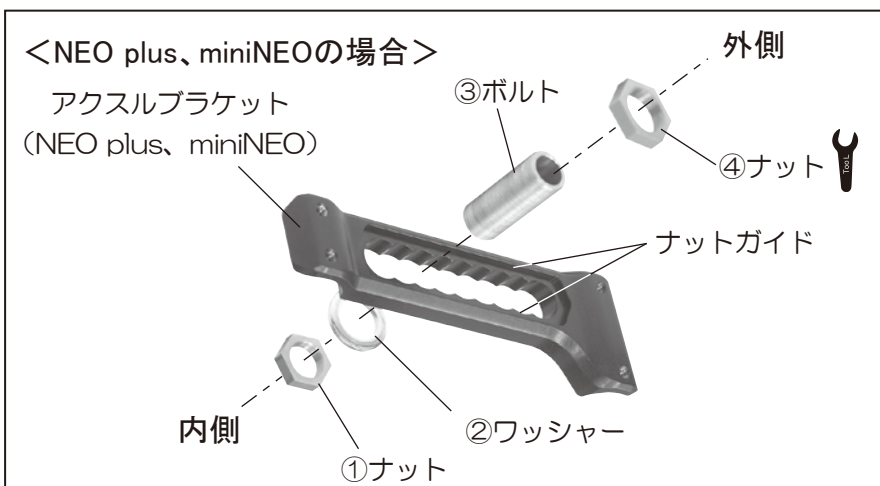
アクスルブラケット外側(フレーム外側)④ナットからの「A」の突出し量は、必ず6～12mmの範囲内で調整してください。

- 1) ホイールを外す。(P.16)
- 2) ①ナットを緩める。
- 3) ③ボルトを回し最適なホイール取付け間隔(A)にする。
- 4) アクスルブラケット外側(フレーム外側)の④ナットをナットガイドに合わせる。
- 5) ①ナットを締める。
- 6) ホイールを付ける。(P.16)
- 7) ホイール、タイヤが他の部品に接触していないか確認する。
- 8) ブレーキを確実にかけられるか確認する。
- 9) 左右同様にする。

①ナット締付けトルク 60N・m(6.0kgf・m)



【図2-28】



【図2-29】

＜NEOの場合＞



警告

内側の①ナットは確実に締付ける。

* ③ボルトが抜け、転倒・転落のおそれがあります。

警告

④ナットは確実にナットガイドに合わせる。

* ③ボルトが抜け、転倒・転落のおそれがあります。

警告

③ボルトの突き出し量「A」は必ず規定範囲内で調整する。

* ホイールが外れ、転倒・転落のおそれがあります。

警告

調整後は、必ずブレーキが確実にかかるか確認する。

* 転倒・転落のおそれがあります。

警告

調整後は、ホイール、タイヤが他の部品に接触していないか確認する。

* 車いすが破損します。

キャスター（前座高）の調整・点検

＜前座高の調節＞【図2-30】【図2-31】

キャスターフォークの調節穴を使用して調節します。

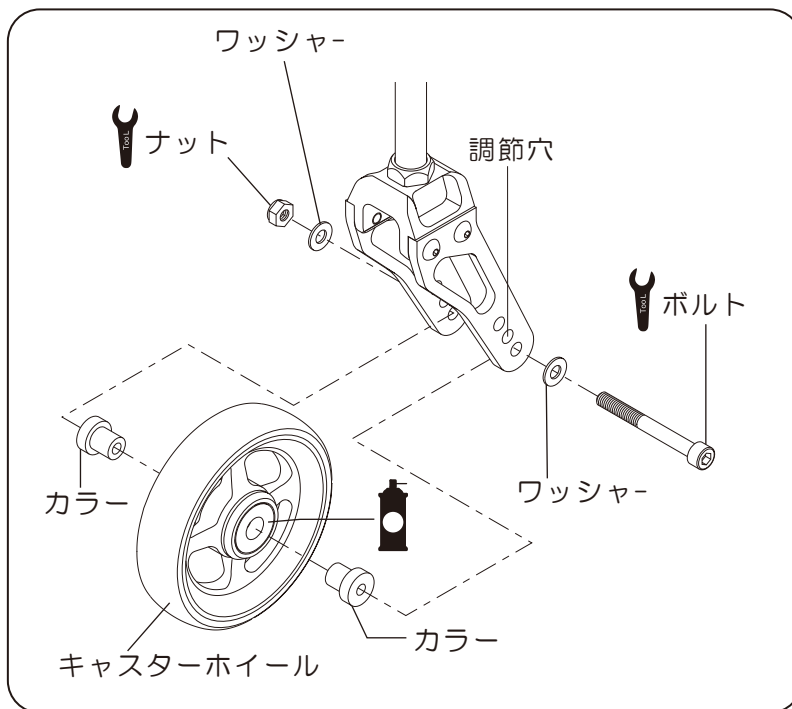
注意:キャスターフォークにSFR2(P.50)を使用している場合、下記のキャスターホイールは部品干渉が発生するおそれがありますので、調節することができません。【図2-31】

出荷時の位置にてご使用ください。

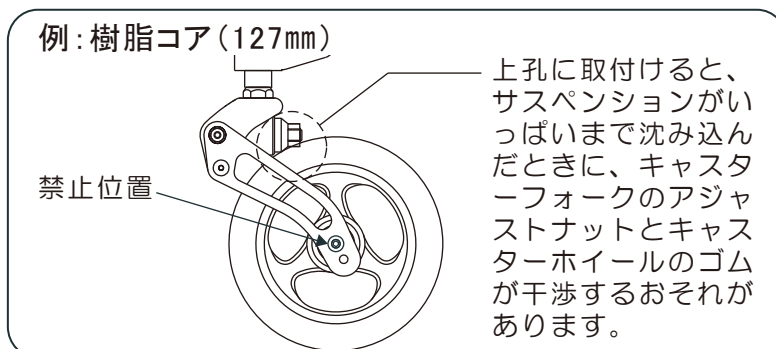
キャスターホイール:樹脂コア(127mm)・LPC4(125mm)

- 1) ボルト、ワッシャー、ナットを外す。
- 2) キャスターホイールの左右にカラーが組み込まれた状態で最適な調節穴に合わせる。
- 3) ボルト、ワッシャー、ナットを締付ける。
- 4) 左右同じ調節穴になるように調節する。
- 5) キャスター角を調整する。(P.45)

ボルト締付けトルク 10N・m(1.0kgf・m)



【図2-30】



【図2-31】

警告

必ず左右同じ高さの調節穴を使用する。

* 車いすが不安定になり転倒・転落のおそれがあります。また、車いすが破損します。

警告

【図2-31】の取付け方はしない。

* キャスターフォークとキャスターホイールが干渉し、転倒・転落のおそれがあります。また、車いすが破損します。

警告

キャスターホルダーは、必ず地面に対して垂直にする。

* 車いすが破損して、事故や転倒・転落のおそれがあります。

キャスターの調整・点検

＜キャスター角の調整＞【図2-32】【図2-33】【図2-34】

- 1) ボルトを緩める。
- 2) 市販のゲージを当てながらキャスターホルダーを垂直にする。
- 3) フレーム内側の突き出し量「A」が規定範囲内（下記＜トレッドの調整＞参照）であることを確認する。
- 4) ボルトを締める。
- 5) 左右同様に調整する。

⚠警告

ボルトは必ず規定トルクで締める。
*キャスターが回転・破損して事故や転倒・転落のおそれがあります。

⚠警告

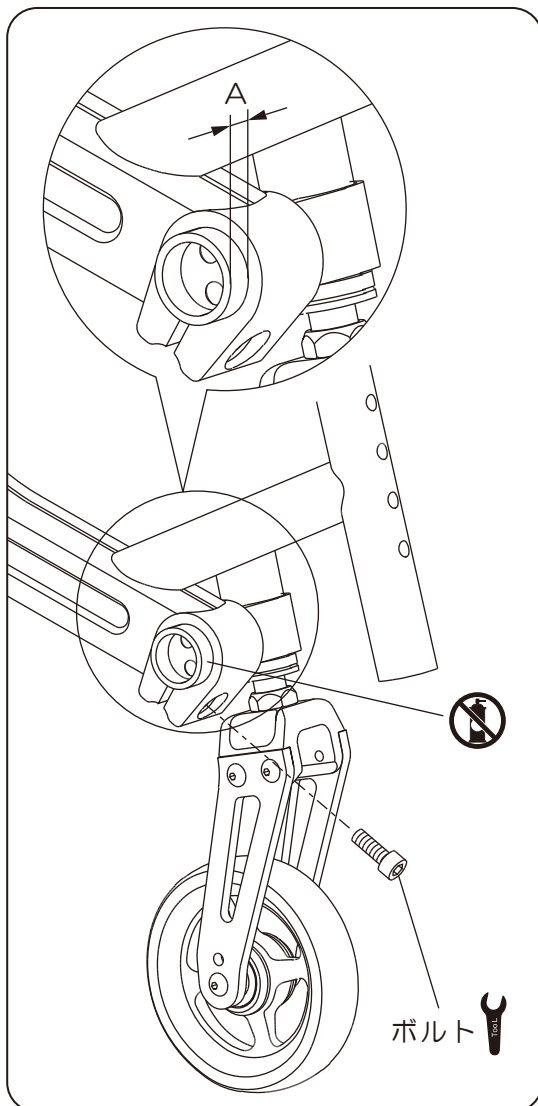
「A」の突き出し量は必ず0～5mm以内にする。
*キャスターが抜け転倒・転落のおそれがあります。

＜トレッドの調整＞【図2-32】【図2-33】

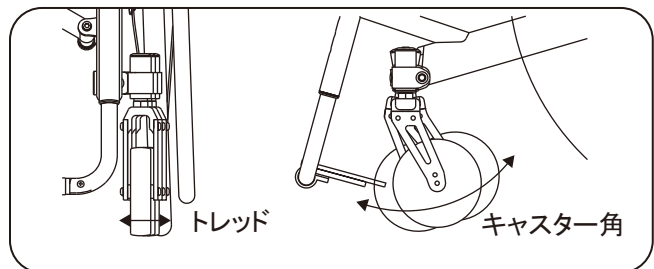
上記＜キャスター角の調整＞同様にボルトを緩め、キャスターのトレッドを調整してボルトを締めます。この時フレーム内側の「A」の突き出し量は、必ず0～5mm以内で調整してください。

調整後は必ず上記＜キャスター角の調整＞を行ってください。

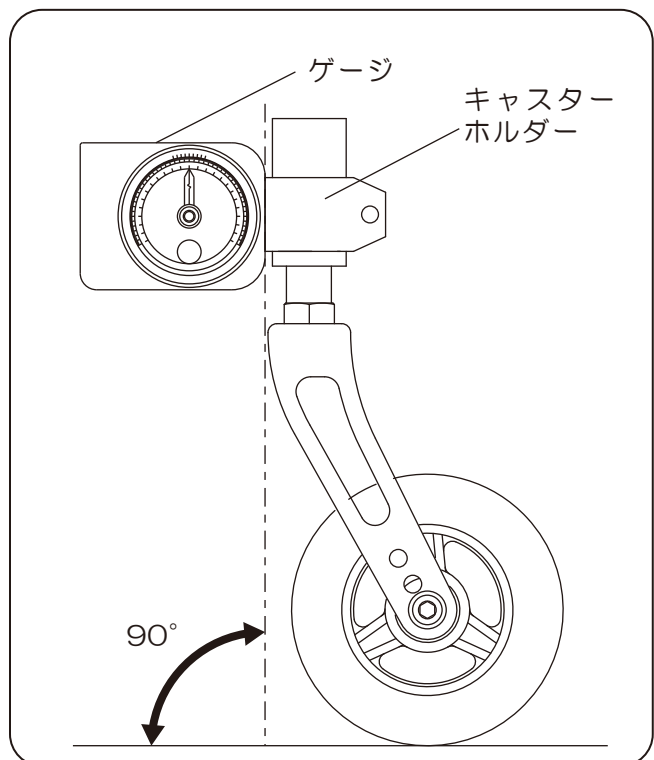
ボルト締付けトルク 25N・m(2.5kgf・m)



【図2-33】



【図2-32】



【図2-34】

キャスターの調整・点検

＜ハイトの調整＞【図2-35】【図2-36】

主に車軸位置やホイール、キャスターホイール径の変更による前後差（前座高と後座高の差）の変化を修正するために行います。

- 1) ボルトを緩める。
- 2) aを下にさげる。
- 3) aの溝からCリングを外す。
- 4) 6箇所の溝の中から最適な高さになる溝にCリングをはめる。
- 5) bの下側の段付き面にCリングが当たるまでaを下から差込む。
- 6) ボルトを締める。
- 7) 反対側も同じ高さになるように調節する。
- 8) キャスター角の調整をする。(P.45)

警告

ボルトは必ず規定トルクで締める。
*キャスターが脱落・破損して事故や転倒・転落のおそれがあります。

警告

必ず段付き面にCリングが当たるまで「a」を差込む。
*キャスターが脱落・破損して事故や転倒・転落のおそれがあります。

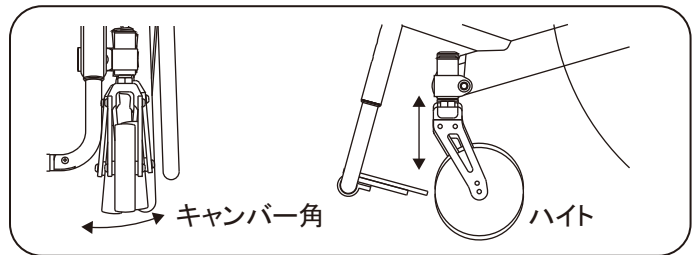
＜キャンバー角の調整＞【図2-35】

通常は必要ありません。調整が必要な場合は、販売店にご依頼ください。

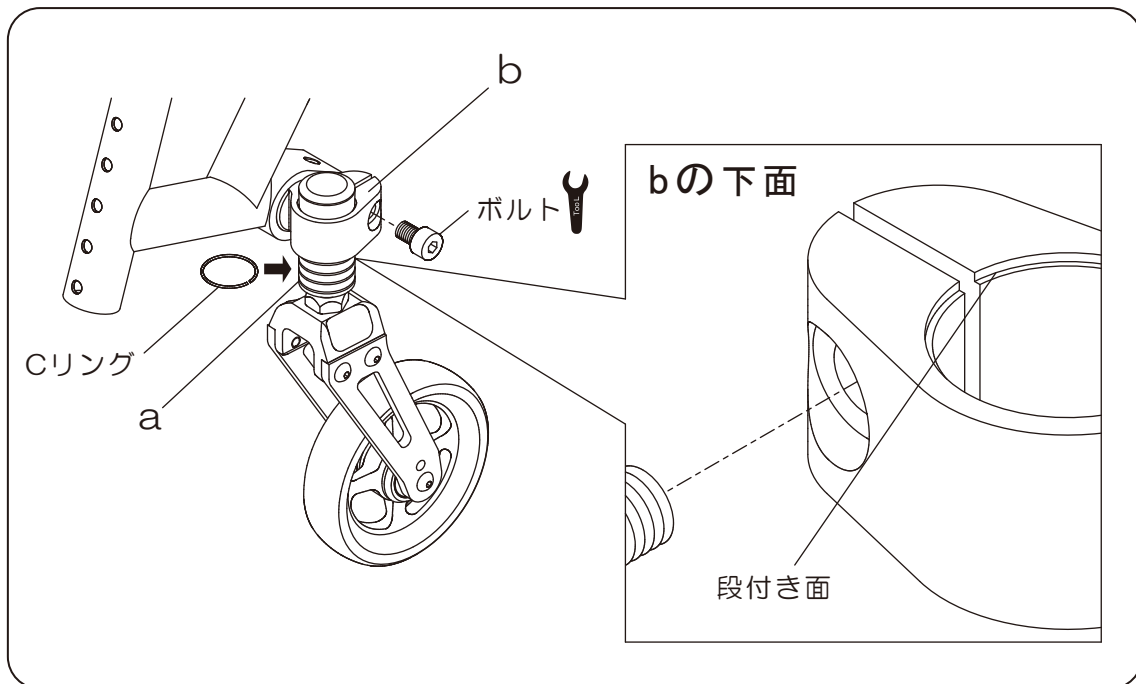
＜キャスターの点検＞

ボルトの緩みはないか。
曲がり、破損、異音、回転不良はないか。
ゴムは十分に残っているか。

ボルト締付けトルク 10N・m(1.0kgf・m)



【図2-35】



【図2-36】

アームレストの調整・点検

＜固定式の調節＞【図2-37】

- 1) ボルト、ナット、ワッシャー、スペーサーを外す。
- 2) 最適な位置の調節穴に固定穴を合わせる。
- 3) ボルト、ナット、ワッシャー、スペーサーで締付ける。
※このときスペーサーがアームレストホルダーの調節穴(大)に収まるように締付けます。
- 4) 反対側も同様に調節する。

警告

ボルトを締付ける際は図の順序で組付ける。
*アームレストが確実に固定されず事故のおそれがあります。

＜着脱式の調節＞【図2-38】

- 1) 取付けボルト、フランジカラー、ナット、ワッシャーを外す。
- 2) アームレストをアームレストホルダーから抜く。
- 3) 先程外したフランジカラーに取付けボルトを図のように通す。
- 4) 最適な位置の調節穴にフランジカラーと取付けボルトを通してワッシャー、ナットで締付ける。
※締め過ぎるとアームレストがささらなくなってしまうので注意してください。
- 5) アームレストホルダーにアームレストを差込む。
- 6) アームレストの固定溝にしっかりと取付けボルトが入っていることを確認する。

警告

固定式アームレストのボルトはスペーサーを調節穴(大)に収めてから締付ける。
*アームレストが確実に固定されず事故のおそれがあります。
*ボルトとアームレストパイプにスペーサーをはさみこむように締付けます。

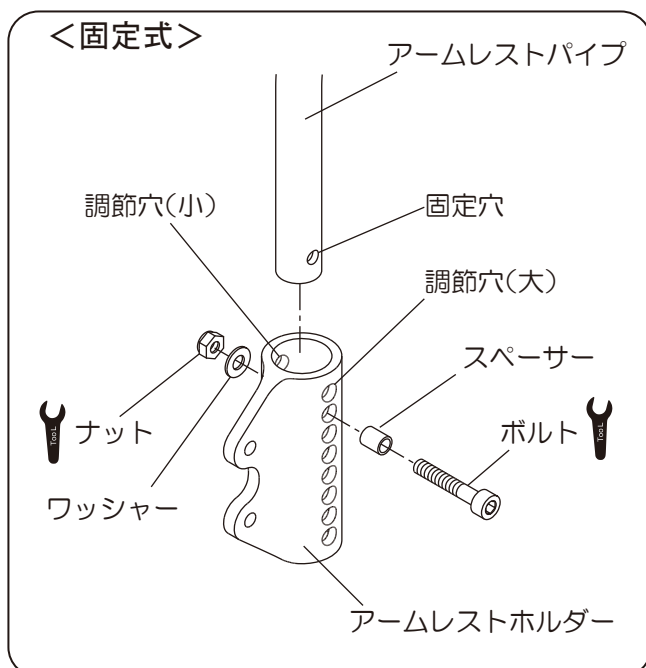
＜アームレストの点検＞

極端に大きなガタつきやネジ・ボルトの緩みがないか点検してください。

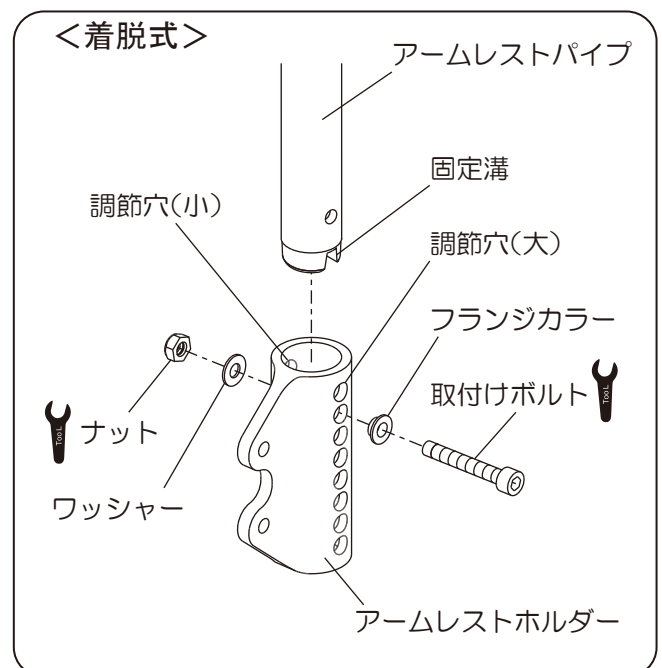
警告

アームレストとタイヤが接触していないことを確認する。
*アームレストやタイヤを損傷させるおそれがあります。

ボルト締付けトルク 10N・m(1.0kgf・m)
取付けボルト締付けトルク 10N・m(1.0kgf・m)



【図2-37】



【図2-38】

miniNEOの調整

＜車軸位置変更時のサイドガードの調整＞【図2-39】

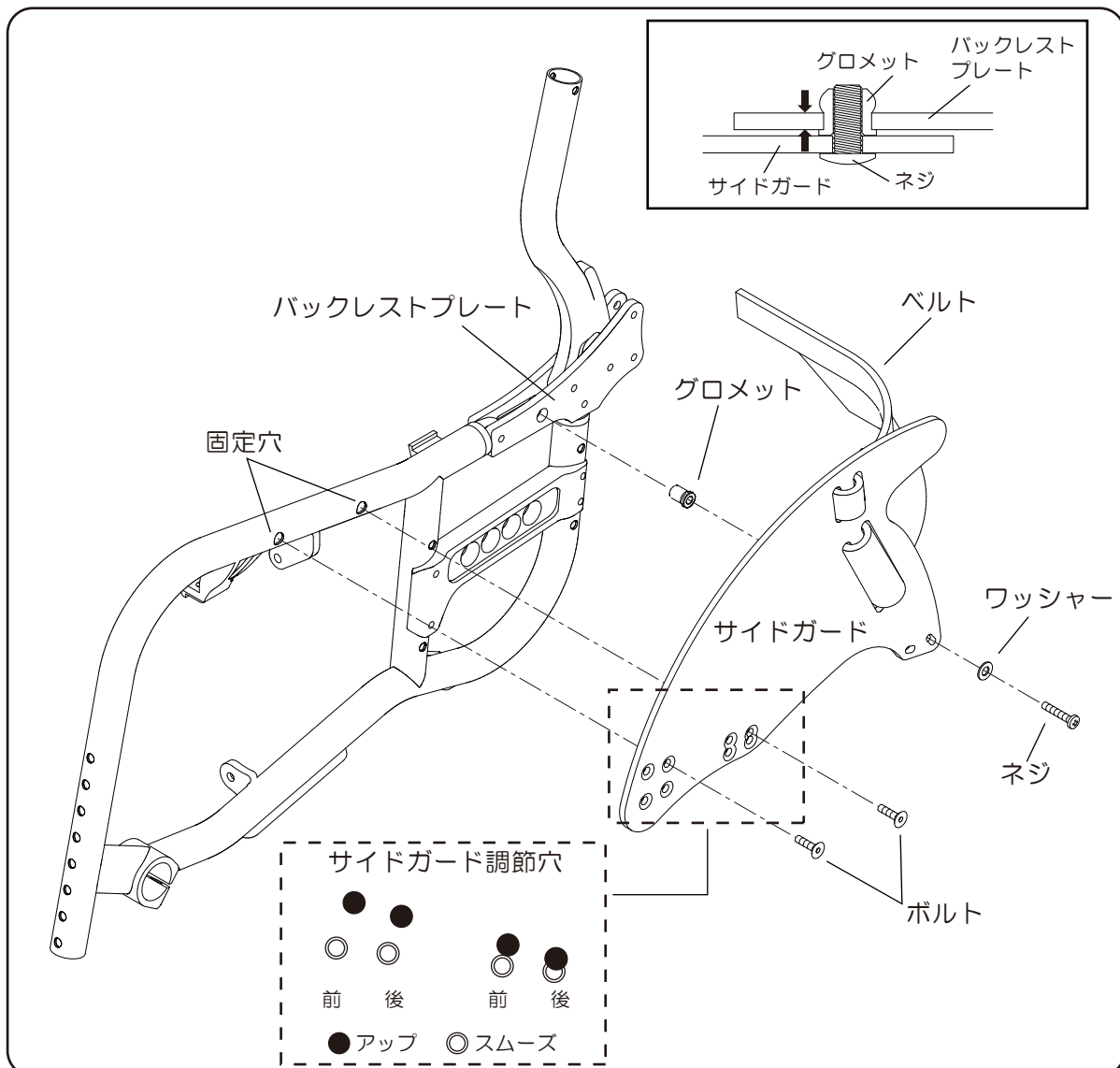
- 1) ボルト、ネジ、ワッシャー、グロメットを取外す。
- 2) ベルトの面ファスナーをはがす。
- 3) サイドガードを最適な位置(前後)に移動する。
※フレームタイプ（アップ/スムーズ）により、使用する調整穴が異なります。図を参照して取付け位置を確認してください。
- 4) ボルト、ネジ、ワッシャー、グロメットを使用し固定する。後部のネジはグロメット（ゴム）が膨らむまで締付けてください。
※グロメットは、図のようにゴムが膨らむことにより締結するため、ネジを回し続けると、ゴムがちぎれたり、サイドガードが破損するまで回り続けてしまいます。ゴムが膨らみ、ガタつかなくなった位置でネジを締付けるのを止めてください。
- 5) ベルトの張りを調整する。
- 6) フェンダー装着車はタイヤとフェンダーが干渉しないか確認する。

⚠注意

ホイールを回転させて、サイドガードとタイヤ、スポークが接触しないことを確認する。

* サイドガードを破損するおそれがあります。

ボルト締付けトルク 10N・m(1.0kgf・m)



【図2-39】

miniNEOの調整

＜プッシュハンドルの調節＞【図2-40】

- 1) アームレストホルダーに固定している①ボルト、ナット、ワッシャー、スペーサーを取外す。
- 2) プッシュハンドルが最適な高さになる調節穴に合わせる。
- 3) ①ボルト、ナット、ワッシャー、スペーサーで締付ける。
※このときスペーサーがアームレストホルダーの調節穴(大)に収まるように締付けます。
- 4) 高さが足りない場合はインナーパイプを固定している②ボルト、ナット、ワッシャーを取外し、下の調節穴を使用して固定する。
※この調節は固定プッシュハンドルのみで行います。
- 5) 必要に応じて再度、1)～3)の作業を行い最適な高さに合わせる。
- 6) アームレストの③ボルトを緩め、最適な高さに合わせて締付ける。
- 7) 反対側も同様に調節する。

⚠警告

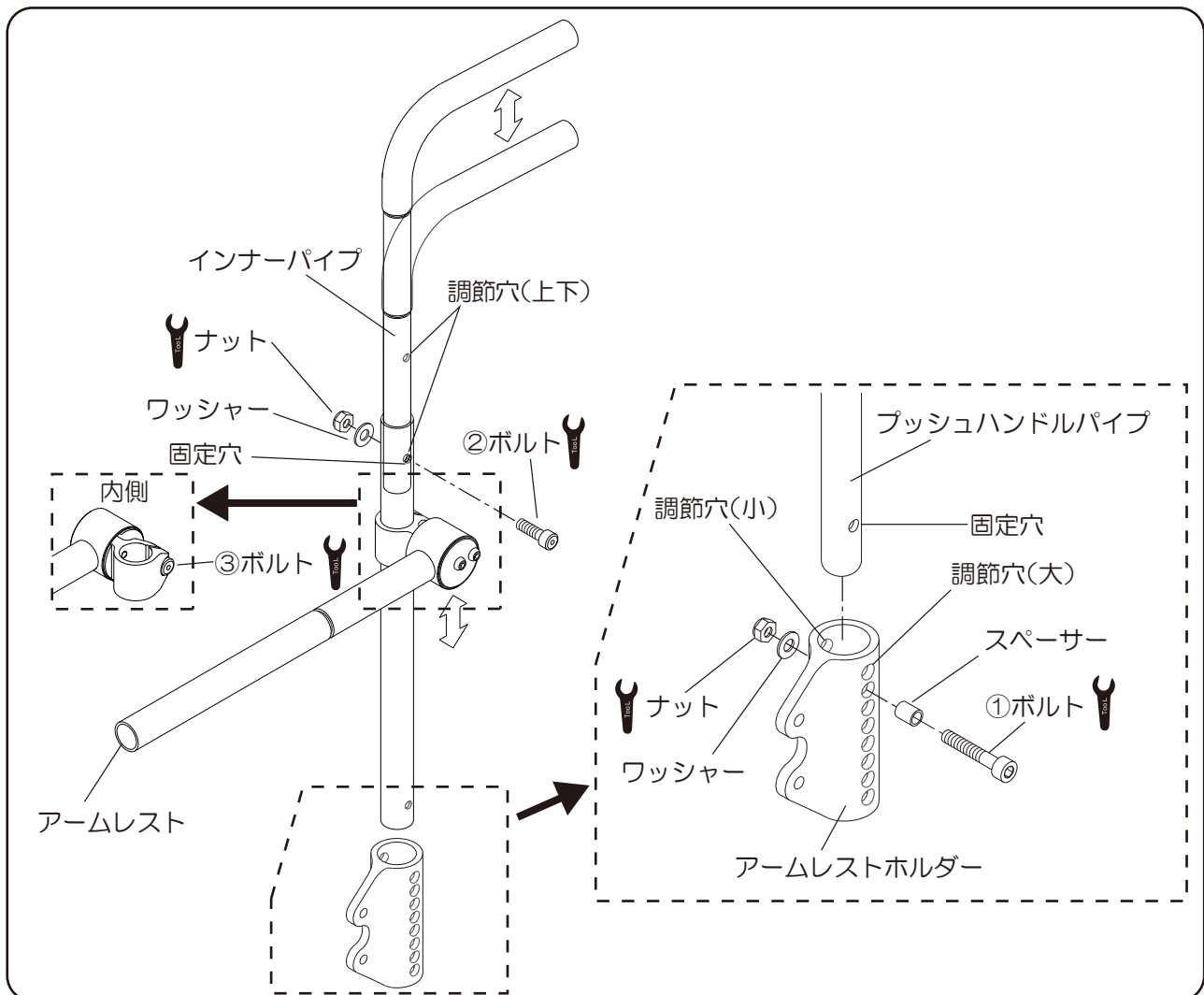
ボルトを締付ける際は図の順序で組付ける。
* プッシュハンドルが確実に固定されず事故のおそれがあります。

⚠警告

プッシュハンドルのボルトはスペーサーを調節穴(大)に収めてから締付ける。
* プッシュハンドルが確実に固定されず事故のおそれがあります。
* ボルトとプッシュハンドルパイプにスペーサーをはさみこむように締付けます。

①②ボルト締付けトルク 10N・m(1.0kgf・m)

③ボルト締付けトルク 20N・m(2.0kgf・m)



【図2-40】

その他の調整・点検

＜SFR2の調整＞【図2-41】【図2-42】

- 1) 車いすに乗らない状態で、左右のSFR2の、【図2-41】で示す「A」の寸法を測定する。
- 2) 普段の乗車姿勢で車いすに乗った状態で、1)と同様に【図2-41】の「A」の寸法を測定する。
※1)と2)の寸法の差は、5mm程度が基本的な硬さです。
- 3) 1)と2)の寸法の差が5mm程度でない場合、アジャストナット【図2-41】を付属の工具を使い、次のとおり調整する。
※5mmより小さい場合：【図2-42】の「柔らかくなる」方向へ回す。
※5mmより大きい場合：【図2-42】の「硬くなる」方向へ回す。
※アジャストナットの調整は1回あたり、1/2～1/4回転までとしてください。
※左右共、基本的な硬さ(上記1)と2)の寸法差が5mm程)となるまで調整を繰り返してください。
- 4) 調整後、実際に車いすを走行させ、乗り移り等も十分考慮したうえで最適な硬さであることを確認する。

警告

測定・調整は介助者等に行ってもらおう。

* 無理な姿勢での作業は、バランスを崩し転落等のおそれがあります。

警告

測定・調整は左右のキヤスターが同様となるようにする。

* 左右の設定が異なった状態では、直進性が低下します。
著しく異なる場合 バランスを崩し、事故・転落等のおそれがあります。

警告

サスペンションの硬さの調整は一度に大きく変えない。

* 硬さが一度に大きく変化するとバランスを崩し、事故・転落等のおそれがあります。

警告

基本の硬さから柔らかくしすぎない。

* 乗り移り等で車いす前方に加重をかけた場合 バランスを崩し、事故・転落等のおそれがあります。

警告

分解・改造等はしない。

* キヤスターフォークが破損し、事故・転落等のおそれがあります。

注意

アジャストナットを無理に回さない。

* アジャストナットの調整範囲をこえて無理に回そうとするとキヤスターフォークを破損するおそれがあります。

＜SFR2の調整範囲＞【図2-42】【図2-43】

「柔らかくなる」方向

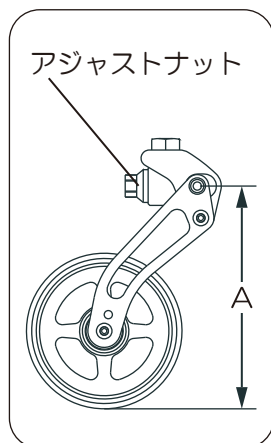
アジャストナットを【図2-42】の「柔らかくなる」方向へあまり力を入れずに回して止まったところが最も柔らかい状態です。それ以上は無理に回さないでください。

「硬くなる」方向

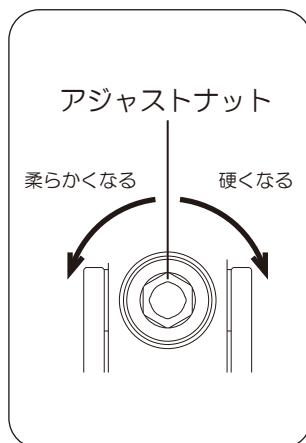
アジャストナットを【図2-42】の「硬くなる」方向へ回して、【図2-43】のMAXラインまでの範囲内で調整してください。

＜ゴムダンパーについて＞

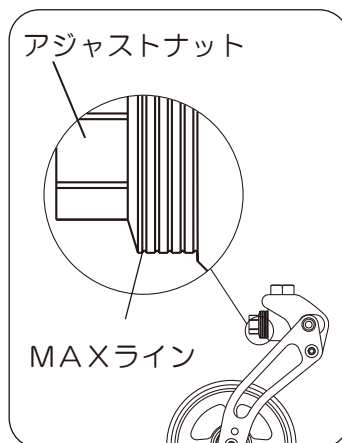
- サスペンションケースのゴムダンパーは、初期のなじみによりサスペンションが柔らかくなりやすいので、適時に上記の調整を行ってください。
- ゴムダンパーは消耗品です。機能が低下した場合は交換してください。



【図2-41】



【図2-42】



【図2-43】

その他の調整・点検

＜レッグベルトの着脱＞【図2-44】

取外し：レッグベルト裏側左右の面ファスナーをはがす。

取付け：最適な位置に面ファスナーを貼付ける。

※面ファスナーの貼付けしろは左右均等な長さになるようにしてください。

⚠注意

「LPC4」キャスターホイールのゴム交換や清掃の際に潤滑剤やワックスなどの油分を使用しない。

*ゴムが外れ事故のおそれがあります。

*ゴムのひび割れなどの原因となります。

＜「LPC4」キャスターホイールのゴム交換＞【図2-45】

「LPC4」キャスターホイールのゴムが、減ってきたり深い亀裂が入った時は、お買い求めの販売店でゴム交換を行ってください。

ご自分で交換される場合は、

1) キャスターフォークからキャスターホイールを取外す。

※P.44の＜前座高の調節＞を参照してください。

2) 軍手など厚みのある手袋を着用して古いゴムをコアから取外す。

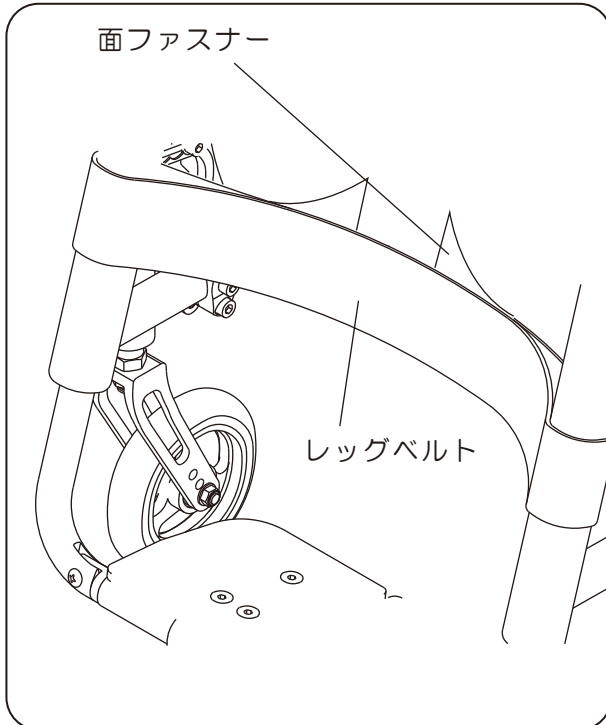
3) 新しいゴムを伸ばしながらコアにはめ込む。

※ある程度の力が必要です。

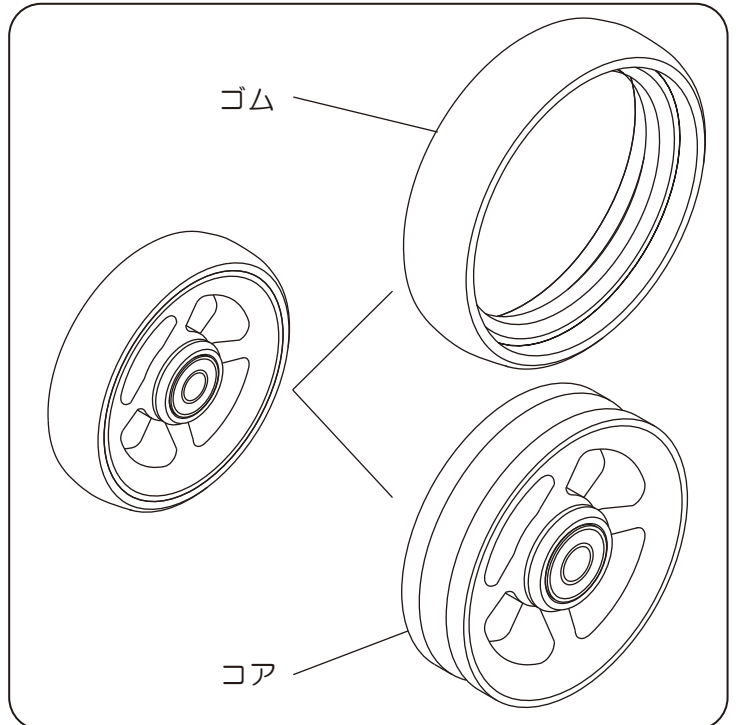
⚠注意

ご自分でゴム交換をされる場合は軍手などを着用する。

*指などはさみ危険です。



【図2-44】

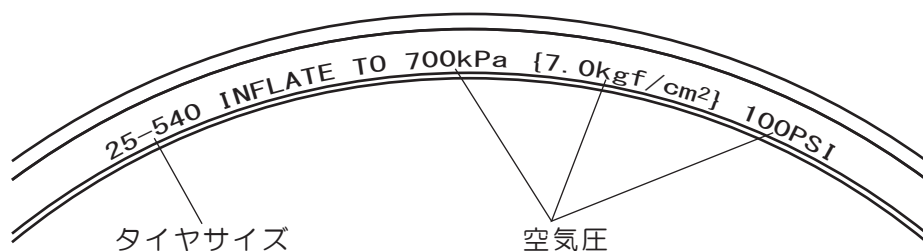


【図2-45】

その他の調整・点検

<タイヤの点検>

1. 亀裂、損傷、異物、溝の深さ、異常な磨耗などを点検します。
2. タイヤに異常がある場合はお買い求めの販売店で点検・整備を受けてください。
3. 空気圧は適切か点検してください。



※十分空気が入っていて、タイヤに表示してある空気圧になっていること。

(図の数値は表示の例)

※使用する空気入れのメーター表記にしたがいタイヤに表示された空気圧の指示に合わせてください。

⚠注意

- パンクしたまま使用しないでください。
- 空気圧が少ないと車いすの操作が重くなり、パンクしやすくなります。
- 空気圧が少なすぎると、リムからタイヤが外れるおそれがあります。
- 空気圧が多すぎると気圧や温度の変化でパンクするおそれがあります。
- 左右の空気圧は同一にしてください。

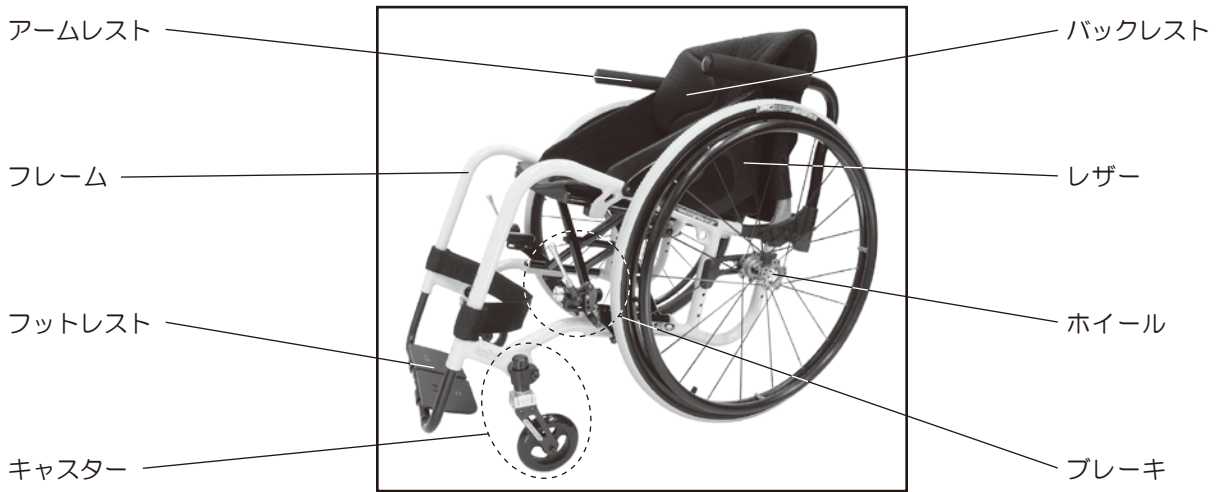
<ホイール回りの点検>

1. ホイールやハンドリムの動きに異常が感じられたら、点検を行い必要に応じて清掃、注油、増し締めを行ってください。
2. ホイールシャフトの動きに異常が感じられたら、点検を行い必要に応じて清掃、注油を行ってください。
3. スポークに緩みがないか点検を行い、異常が感じられたらご使用を止め、販売店または当社営業所までご相談ください。

<その他の点検>

1. Y マークの付いている箇所は1か月に1回点検。
緩み、脱落、破損、異音が無いか点検してください。
2. キャスター回りは1か月に1回点検。
曲がり、破損、異音、回転不良が無いか点検してください。
3. ブレーキは毎日乗車する前に点検。
ブレーキの効き、ボルト・ナット類の緩み、脱落などが無いか点検してください。
4. アームレスト、グリップは毎日乗車する前に点検。
ぐらつき、大きなガタつき、ネジ・ナット類の緩み、異音が無いか点検してください。

日常・定期点検



<日常点検>

乗車前には、必ず次の点検を行ってください。

異常があった場合は、各部の調整を行ってください。

調整に不安がある方や、調整しても直らない場合はご使用を止め、販売店または当社営業所までご相談ください。

また、各部の調整を行った後も、必ず次の点検を行ってください。

- 全体的に極端に大きなガタつきやネジ・ボルトの緩み、ひび割れや極端な変形はないか。
- ブレーキの効き具合は適切か。
- タイヤの空気圧は十分か。
- レザーは自分の状態に最適な張り調整になっているか。

※1か月に1回を目安として、ネジ・ボルトの緩みの点検、注油を行ってください。

<定期点検>

1か月に1回を目安として、必ず次の点検を行ってください。

異常があった場合は、各部の調整を行ってください。

調整に不安がある方や、調整しても直らない場合はご使用を止め、販売店または当社営業所までご相談ください。

また、各部の調整を行った後も、必ず次の点検を行ってください。

- 全体的に極端に大きなガタつきはないか。
- ひび割れや変形している箇所はないか。
- ブレーキの動作に問題はないか。
- タイヤの空気圧は十分か。タイヤの溝は十分残っているか。
- レザーは自分の状態に最適な張り調整になっているか。
- キャスターやホイールに引っ掛かりや大きなブレなどの回転不良はないか。
- ネジ・ボルトの緩みはないか。

4章 その他

この章では、各車いすの仕様諸元とお客様
ご相談窓口のご案内を記載しています。

仕様諸元

お客様ご相談窓口のご案内



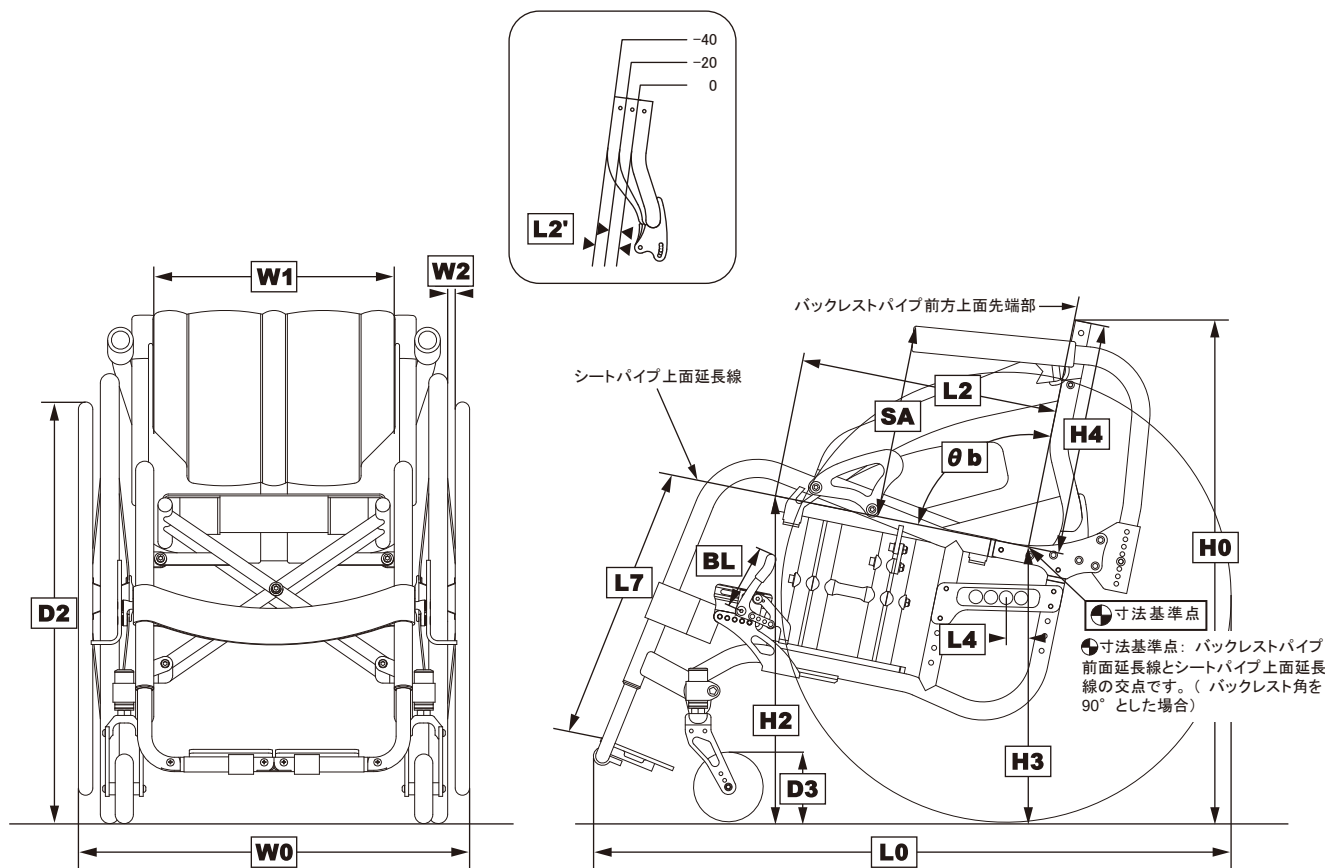
NEO 仕様諸元 (単位: mm)

L0	全長	フレーム: ショート+ロー=840 / ショート+ミディアム=854 / ロング+ロー=873 / ロング+ミディアム=891 / ロング+ハイ=882
H0	全高	フレーム: ロー=639 / ミディアム=637 / ハイ=657
H2	前座高	フレーム: ロー=380 / ミディアム=433 / ハイ=453
H3	後座高	フレーム: ロー=360 / ミディアム=363 / ハイ=383
L2	シート奥行	310~420*バックレストパイプ(前方オフセット寸法0・-20・-40の3タイプ)とシートパイプ長(350・380・420の3タイプ)の組合せによる。
W1	シート幅	275~415(20mmピッチ)*規格寸法は280~420(20mmピッチ)
W0	全幅	530
WH	折りたたみ幅	315
H4	バックレスト高	ロータイプ=280~330 / ミディアムタイプ=330~380 / ハイタイプ=380~430 / スーパーハイタイプ=440~480(10mmピッチ*可変)
θb	バックレスト角	バックレストパイプ前方オフセット寸法: 0=74° ~106° / -20=82° ~114° / -40=90° ~122° (8°ピッチ*可変)
L7	フットレスト長	ハイマウントフットレストでフレーム: ロータイプ=130~270 / ミディアムタイプ=150~290 / ハイタイプ=170~310(10mmピッチ*可変) その他のフットレスト選択でフレーム: ロータイプ=300~340 / ミディアムタイプ=320~410 / ハイタイプ=340~430(10mmピッチ*可変)
D2	タイヤサイズ	25-501(外径:560mm, 幅:22×1-1/4, *22インチ) 25-520(外径:580mm, 幅:24×1-1/8, *23インチ) 25-540(外径:595mm, 幅:24×1-3/8, *24インチ)*ブロックタイヤ装着時は、外径:610mm 25-559(外径:615mm, 幅:26×1.50, *25インチ)
L4	車軸前後位置	バックレストパイプ前方オフセット寸法が 0 の場合=20~80(20mmピッチ*可変) バックレストパイプ前方オフセット寸法が -20 の場合=0~60(20mmピッチ*可変) バックレストパイプ前方オフセット寸法が -40 の場合=-20~40(20mmピッチ*可変)
W3	キャンバー寸法	0
W2	ハンドリム取付間隔	5・10・15・20・25・30
D3	キャスター径	樹脂コア=92・105・127
BL	ブレーキレバー長	NEO・NEO 介助パッケージ=85・120 / NEO Mパッケージ=55・75・110・140
SA	アームレスト高	ロータイプ=260~310 / ハイタイプ=290~350(10mmピッチ*可変)
	重量	NEO: 11.4 kg NEO 介助パッケージ: 12.6 kg 機種、寸法、装着部品により重量は異なります。

※上記仕様諸元表で寸法等の記載の無いものは、次の仕様を元に算出しております。

シート奥行き: 350mm / シート幅: 320mm / バックレストオフセット寸法: 0mm / バックレスト高: 280mm / バックレスト角度: 90° / フットレスト長: ハイとミディアムの場合は 400mm、ローは 330mm / タイヤ: 25-540(24インチ) / 車軸前後位置: 40mm / 車軸上下位置: ハイは上から 2 番目、ミディアムとローは上から 1 番目 / ハンドリム取付間隔: 10mm / キャスター径: 92mm(樹脂コア) / キャスターホルダー上下位置: ハイとミディアムは下から 3 段目、ローは下から 4 段目 / キャスターホイール取付穴: 最下穴 / フットレスト: プレートジョイント(スタンダード) / オプション、アクセサリ無し

下図寸法の記号

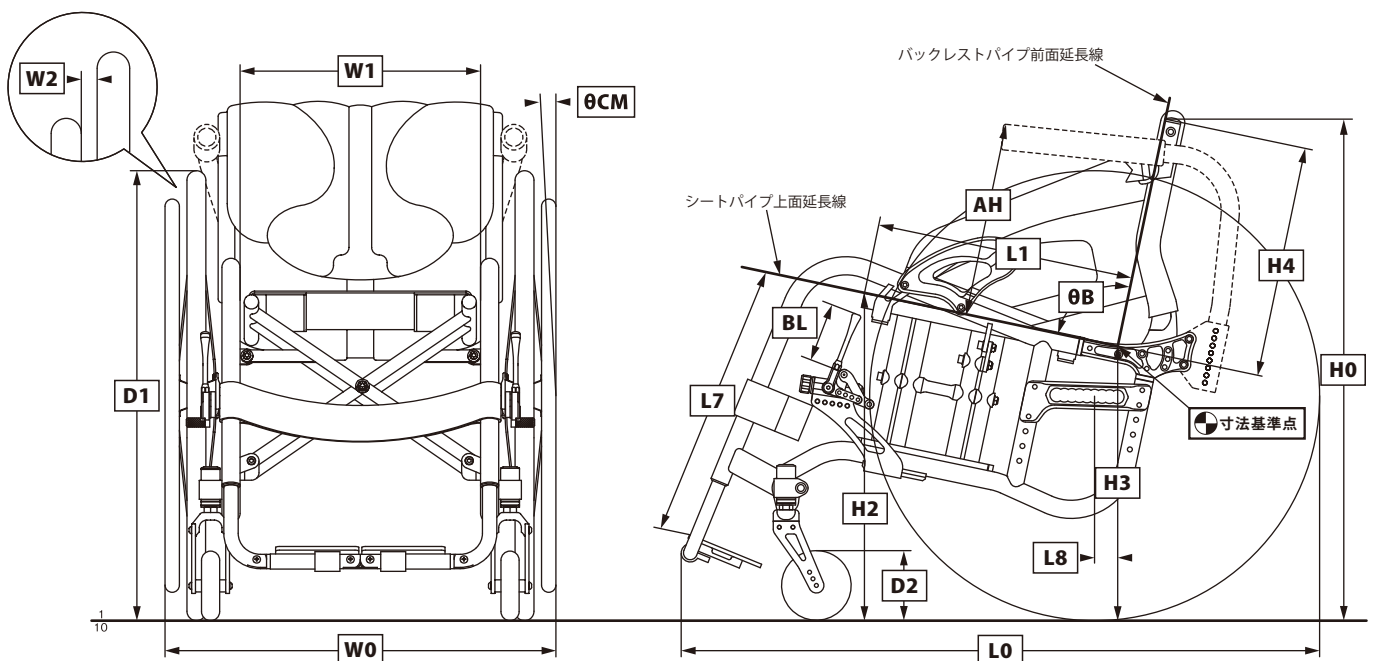


NEOplus 仕様諸元 (単位: mm)

L0	全長	フレーム長&フレーム高: ショート&ロー⇒ 840 / ショート&ミディアム⇒ 854 ロング&ロー⇒ 873 / ロング&ミディアム⇒ 891 / ロング&ハイ⇒ 882
H0	全高	フレーム高: ロー⇒ 639 / ミディアム⇒ 637 / ハイ⇒ 657
H2	前座高	フレーム高: ロー⇒ 380 / ミディアム⇒ 433 / ハイ⇒ 453
H3	後座高	フレーム高: ロー⇒ 360 / ミディアム⇒ 363 / ハイ⇒ 383
W1	シート幅	275 ~ 415 [20mmピッチ] *規格寸法は 280 ~ 420mm [20mmピッチ]
L1	シート奥行	バックレストオフセット寸法: 0 ⇒ 350・380・420 / -20 ⇒ 330・360・400 / -40 ⇒ 310・340・380
W0	全幅	530
WH	折りたたみ幅	315
H4	バックレスト高	バックレストタイプ: ロー⇒ 280 ~ 330 / ミディアム⇒ 330 ~ 380 / ハイ⇒ 380 ~ 430 / スーパーハイ⇒ 440 ~ 480 [10mmピッチ・可変]
θB	バックレスト角	バックレストオフセット寸法: 0 ⇒ 70° ~ 106° / -20 ⇒ 78° ~ 114° / -40 ⇒ 86° ~ 122° [4°ピッチ・可変]
D1	タイヤサイズ	25-501 (外径: 560mm, リムサイズ: 22 × 1-1/4, * 22 インチ) 25-520 (外径: 580mm, リムサイズ: 24 × 1-1/8, * 23 インチ) 25-540 (外径: 595mm, リムサイズ: 24 × 1-3/8, * 24 インチ) ※ブロックタイヤ装着時は外径: 610mm 25-559 (外径: 615mm, リムサイズ: 26 × 1.50, * 25 インチ)
L8	車軸前後位置寸法	バックレストオフセット寸法: 0 ⇒ 90 ~ 10 / -20 ⇒ 70 ~ -10 / -40 ⇒ 50 ~ -30 [10mmピッチ・可変]
θCM	キャンバー角	0°
W2	ハンドリム取付間隔	5・10・15・20・25・30
D2	キャストホイール径	WC R 5 ⇒ 100・125 / L P C 4 ⇒ 80・95・105・125 / ワイドキャスト⇒ 100・125 / 樹脂コア⇒ 92・105・127
BL	ブレーキレバー長	55・75・110・140 (水平を除く)
L7	フットレスト長	プレートジョイント s t d、パイプジョイント s t d、プレートセパレート s t d の場合 フレーム高: ロー⇒ 300 ~ 340 / ミディアム⇒ 320 ~ 410 / ハイ⇒ 340 ~ 430 [10mmピッチ・可変] プレートジョイント h i、プレートセパレート h i の場合 フレーム高: ロー⇒ 130 ~ 270 / ミディアム⇒ 150 ~ 290 / ハイ⇒ 170 ~ 310 [10mmピッチ・可変]
AH	アームレスト高	オプション
	重量	10.3kg

※上記仕様諸元表は、次の仕様を元に算出しております。

シート幅: 320mm / シート奥行: 350mm / バックレストオフセット寸法: 0mm / バックレスト高: 280mm / バックレスト角: 90° / フットレスト長: フレーム高がハイとミディアムの場合は 400mm、ローは 330mm / ホイール: A L - 5 / タイヤ: 25-540 (外径 595mm) / 車軸前後位置寸法: 40mm / 車軸上下位置: フレーム高がハイは上から 2 番目、ミディアムとローは上から 1 番目 / ハンドリム取付間隔: 10mm / キャスターフォーク: C Z 2 - P r o / キャスターホイール径: 92mm / キャスターホルダー上下位置: フレーム高がハイとミディアムは下から 3 段目、ローは下から 4 段目 / キャスターホイール取付穴: 3 穴の下穴 / フットレスト: プレートジョイント s t d / オプション、アクセサリ: 無し

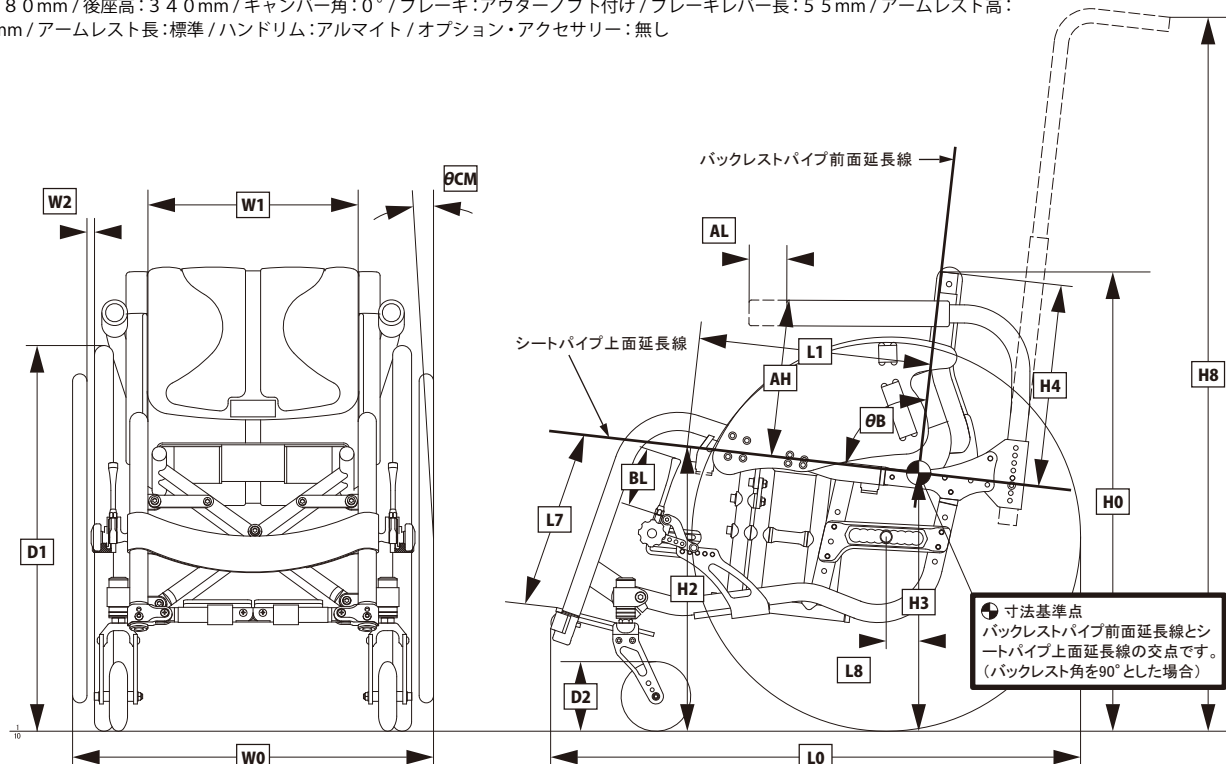


miniNEOキッズ 仕様諸元（単位：mm）

L0	全長	700
H0	全高	607
H2	前座高	キャスターホイール径：92mm、105mm、ワイドキャスター100mm⇒350～390〔10mmピッチ〕 127mm、クッションキャスター125mm、ワイドキャスター125mm⇒360～390〔10mmピッチ〕 *規格寸法です。±5mm程度の誤差が出る場合があります。
H3	後座高	タイヤサイズ：37-400（外径：470mm、リムサイズ：18×1-3/8 *18インチ）⇒300・320・340 23-451（外径：510mm、リムサイズ：20×1-1/8 *20インチ）⇒320・340・360 *規格寸法です。±5mm程度の誤差が出る場合があります。
W1	シート幅	235～335〔20mmピッチ〕 *規格寸法は240～340mmです。
L1	シート奥行	シート奥行調節バックレスト寸法：0⇒280・300 / -20⇒260・280 / -40⇒240・360
W0	全幅	490
H4	バックレスト高	バックレストタイプ：ロー⇒280～330 / ミディアム⇒330～380 / ハイ⇒380～430 スーパーハイ⇒440～480〔10mmピッチ・可変〕
θB	バックレスト角	86～106〔4°ピッチ・可変〕
L7	フットレスト長	90～230〔10mmピッチ・可変〕
D1	タイヤサイズ	37-400（外径：470mm、リムサイズ：18×1-3/8 *18インチ） 23-451（外径：510mm、リムサイズ：20×1-1/8 *20インチ）
L8	車軸前後位置寸法	キャンバー角0°の場合 シート奥行調節バックレスト寸法：0⇒90～10 / -20⇒70～-10 / -40⇒50～-30〔10mmピッチ・可変〕 キャンバー角-4°の場合 シート奥行調節バックレスト寸法：0⇒90～10 / -20⇒70～-10 / -40⇒50～-30〔40mmピッチ・可変〕
θCM	キャンバー角	0°～-4°
W2	ハンドリム取付間隔	5・10・15・20・25・30
D2	キャスターホイール径	樹脂コア（標準装備品）⇒92・105・127 ワイドキャスター（オプション）⇒100・125 / クッションキャスター（オプション）⇒125
BL	ブレーキレバー長	55・75・110・140
AH	アームレスト高	タイヤサイズ37-400（18インチ）の場合 アームレストタイプ：ロー⇒180～220 / ミディアム⇒210～270 / ハイ⇒270～310〔10mmピッチ・可変〕 タイヤサイズ23-451（20インチ）の場合 アームレストタイプ：ミディアム⇒210～270 / ハイ⇒270～310〔10mmピッチ・可変〕
AL	アームレスト長	標準・+50
	重量	エンジョイ⇒10.8kg / スクール⇒13.1kg

※上記仕様諸元表は、次の仕様を元に算出しております。

シート幅：280mm / シート奥行：300mm / シート奥行調節バックレスト寸法：0mm / バックレスト高：280mm / バックレスト角：90° / タイヤ：23-451（外径：510mm、リムサイズ：20×1-1/8 *20インチ） / 車軸前後位置寸法：50mm / ハンドリム取付間隔：10mm / キャスターホイール径：92mm / フットレスト：プレートジョイントhi / フレームタイプ：前方形状アップ / 前座高：380mm / 後座高：340mm / キャンバー角：0° / ブレーキ：アウターノブ下付け / ブレーキレバー長：55mm / アームレスト高：210mm / アームレスト長：標準 / ハンドリム：アルマイト / オプション・アクセサリ：無し



miniNEOジュニア 仕様諸元（単位：mm）		
L0	全長	770
H0	全高	フレーム高：ロー⇒595 / ミディアム⇒640
H2	前座高	キャスターホイール径92mm、105mm、ワイドキャスター100mmの場合 フレーム高：ロー⇒350～390 / ミディアム⇒420～460〔10mmピッチ〕 キャスターホイール径127mm、クッションキャスター125mm、ワイドキャスター125mmの場合 フレーム高：ロー⇒360～390 / ミディアム⇒430～460〔10mmピッチ〕 *規格寸法です。±5mm程度の誤差が出る場合があります。
H3	後座高	フレーム高：ロー⇒340・360・380 / ミディアム⇒370・390・410 *規格寸法です。±5mm程度の誤差が出る場合があります。
W1	シート幅	275～335〔20mmピッチ〕 *規格寸法は280～340mmです。
L1	シート奥行	シート奥行調節バックレスト寸法：0⇒350・380 / -20⇒330・360 / -40⇒310・340
W0	全幅	490
H4	バックレスト高	バックレストタイプ：ロー⇒280～330 / ミディアム⇒330～380 / ハイ⇒380～430 スーパーハイ⇒440～480〔10mmピッチ・可変〕
θB	バックレスト角	86～106〔4°ピッチ・可変〕
L7	フットレスト長	フレーム高：ロー⇒90～250 / ミディアム⇒160～320〔10mmピッチ・可変〕
D1	タイヤサイズ	25・501（外径：560mm、リムサイズ：22×1-1/4 *22インチ）
L8	車軸前後位置寸法	キャンバー角0°の場合 シート奥行調節バックレスト寸法：0⇒90～10 / -20⇒70～10 / -40⇒50～30〔10mmピッチ・可変〕 キャンバー角-4°の場合 シート奥行調節バックレスト寸法：0⇒90～10 / -20⇒70～10 / -40⇒50～30〔40mmピッチ・可変〕
θCM	キャンバー角	0°・-4°
W2	ハンドリム取付間隔	5・10・15・20・25・30
D2	キャスターホイール径	樹脂コア（標準装備品）⇒92・105・127 ワイドキャスター（オプション）⇒100・125 / クッションキャスター（オプション）⇒125
BL	ブレーキレバー長	55・75・110・140
AH	アームレスト高	アームレストタイプ：ミディアム⇒240～270 / ハイ⇒270～310〔10mmピッチ・可変〕
AL	アームレスト長	標準・+50
	重量	エンジョイ⇒11.3kg / スクール⇒13.6kg

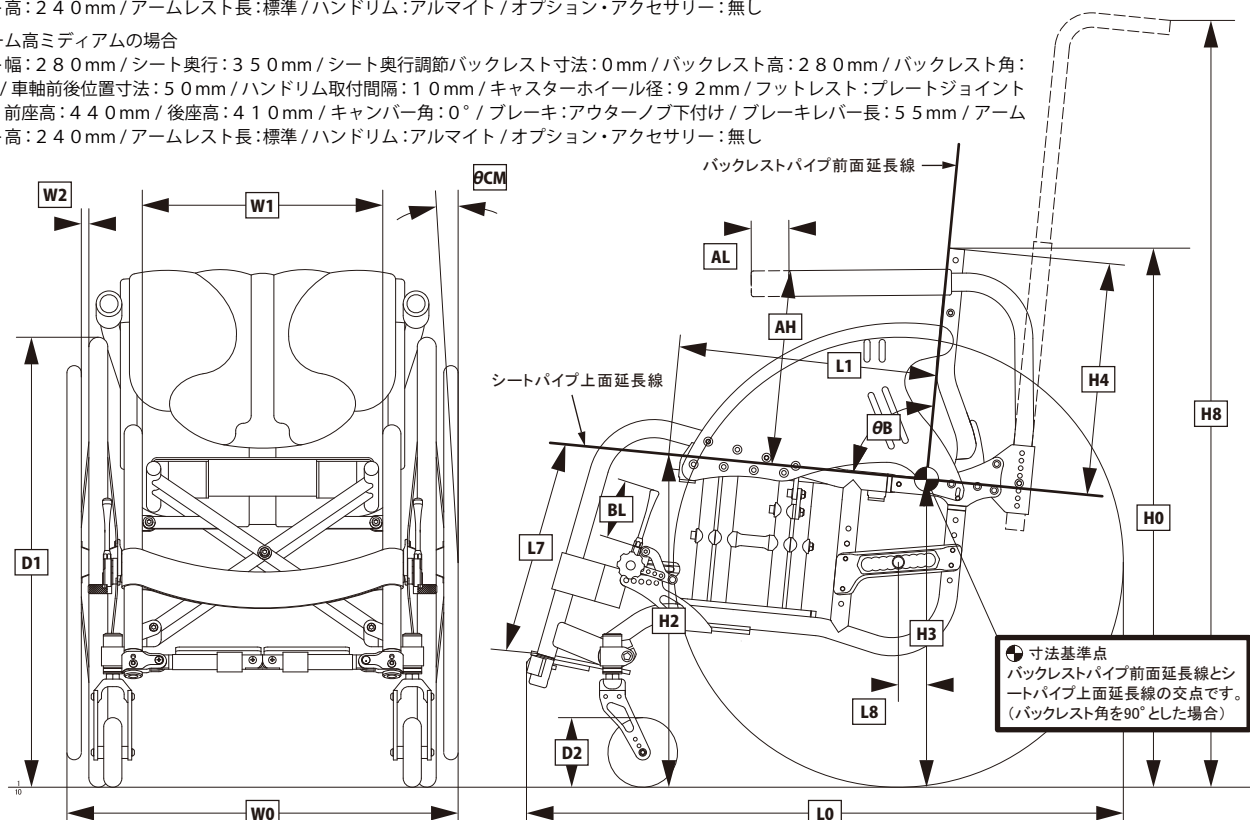
※上記仕様諸元表は、次の仕様を元に算出しております。

フレーム高ローの場合

シート幅：280mm / シート奥行：350mm / シート奥行調節バックレスト寸法：0mm / バックレスト高：280mm / バックレスト角：90° / 車軸前後位置寸法：50mm / ハンドリム取付間隔：10mm / キャスターホイール径：92mm / フットレスト：プレートジョイントhi / 前座高：370mm / 後座高：340mm / キャンバー角：0° / ブレーキ：アウターノブ下付け / ブレーキレバー長：55mm / アームレスト高：240mm / アームレスト長：標準 / ハンドリム：アルマイト / オプション・アクセサリ：無し

フレーム高ミディアムの場合

シート幅：280mm / シート奥行：350mm / シート奥行調節バックレスト寸法：0mm / バックレスト高：280mm / バックレスト角：90° / 車軸前後位置寸法：50mm / ハンドリム取付間隔：10mm / キャスターホイール径：92mm / フットレスト：プレートジョイントhi / 前座高：440mm / 後座高：410mm / キャンバー角：0° / ブレーキ：アウターノブ下付け / ブレーキレバー長：55mm / アームレスト高：240mm / アームレスト長：標準 / ハンドリム：アルマイト / オプション・アクセサリ：無し



お客様ご相談窓口のご案内

《お客様ご相談窓口》

お買い上げいただきました当社の製品やサービスについてご質問・ご意見・ご要望などがございましたらご遠慮なくお寄せください。また、各種オプション・アクセサリ一のお問い合わせもご遠慮なくお寄せください。

株式会社オーエックスエンジニアリング

営業部 お客様ご相談窓口

TEL 043-228-0777 FAX 043-228-3334

《アフターサービスの実施》

お買い上げいただきました販売店が点検・修理をはじめ、アフターサービスのご相談などをお受けいたします。

当社への部品のお問い合わせや、故障箇所をご説明いただくときなどは次の方法でお問い合わせください。

本書をお手元に用意していただき、巻末の記載を確認して、「NEO/NEO plus
〇〇年〇月〇版の〇〇ページの、図〇-〇の、〇〇〇」とご説明ください。

例) 28ページの、図2-4の「取付けボルト」

例) 40ページの、図2-25の「①ナット」

お問い合わせ先

株式会社 オーエックスエンジニアリング

営業部 お客様相談窓口

〒265-0043 千葉県若葉区中田町2186-1

TEL043-228-0777

FAX043-228-3334

《パンクでお急ぎの場合には》

お近くの自転車販売店に修理を依頼してください。

販売元
株式会社オーエックスエンジニアリング

〒265-0043 千葉県若葉区中田町2186-1
URL www.oxgroup.co.jp



不法廃棄はしないでください。